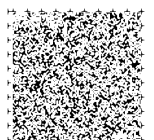
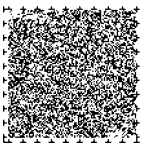


第2章 調査結果 I (18 歳以上／18 歳未満)





第2章 調査結果 I (18歳以上/18歳未満)

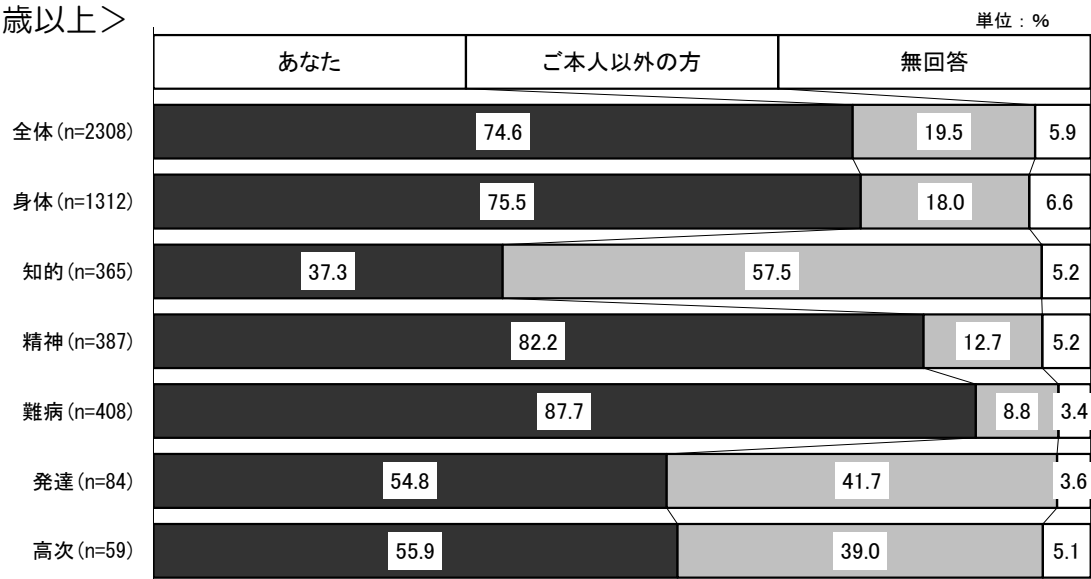
1 基本属性

(1) 調査票の記入者 (18歳以上 問1 / 18歳未満 問1)

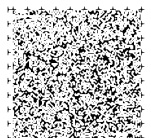
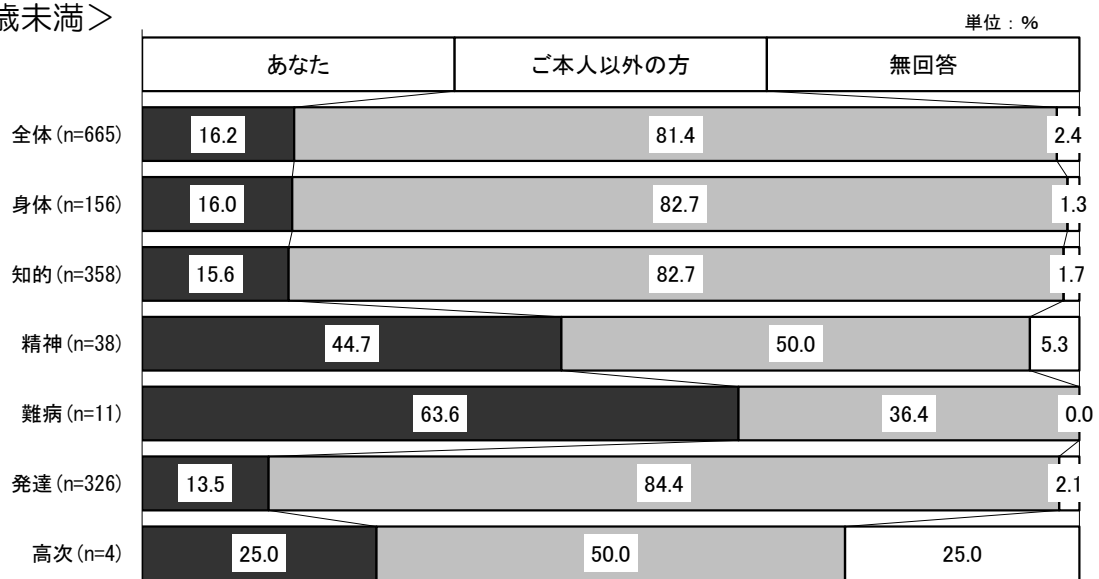
問 この調査はどなたが記入されますか。次のうち、当てはまるものをお答えください。
ただし、ご本人の回答をそのまま、どなたかが代筆される場合は、「1.あなた (あて名のご本人)」をお選びください。(○は1つ)

■障がいの分類別結果

<18歳以上>



<18歳未満>

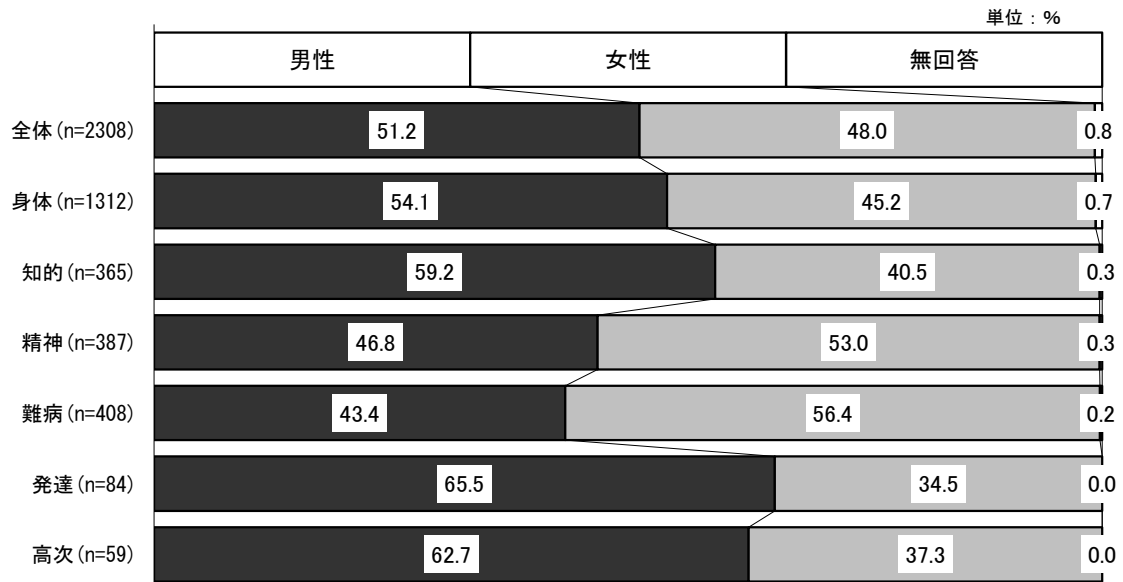


(2) 性別 (18 歳以上 問2 / 18 歳未満 問2)

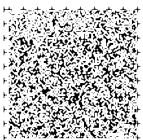
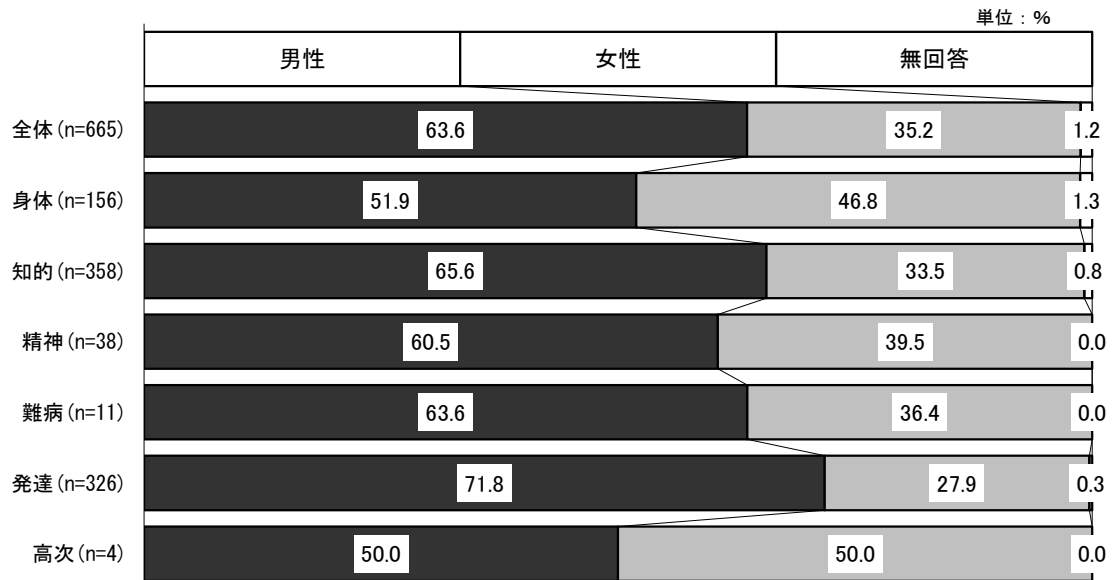
問 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

■ 障がいの分類別結果

<18 歳以上>



<18 歳未満>

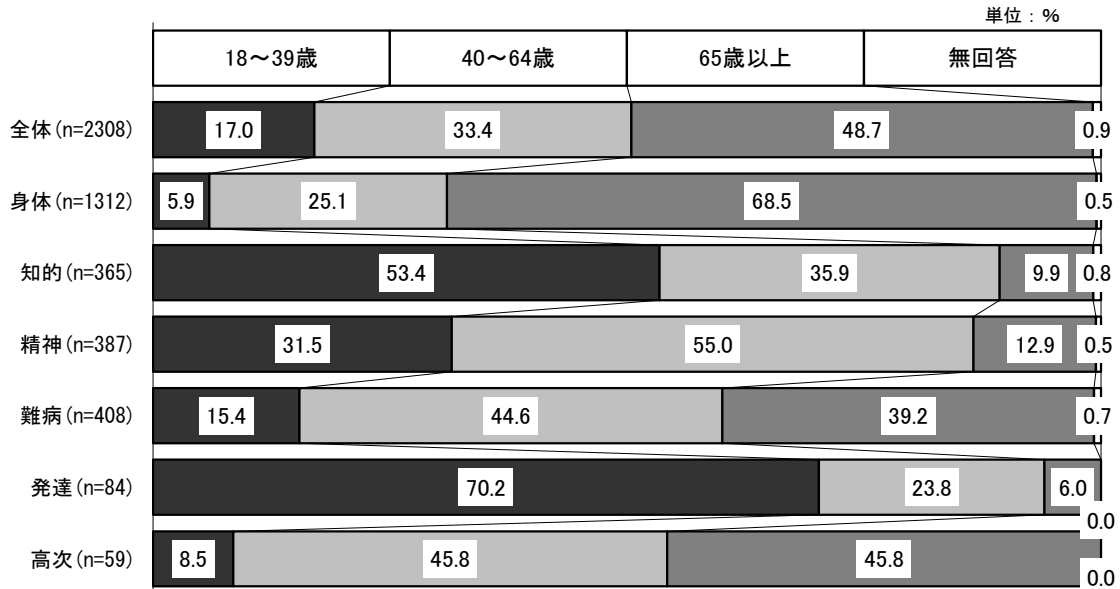


(3) 年齢 (18 歳以上 問3 / 18 歳未満 問3)

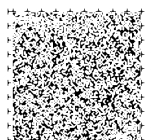
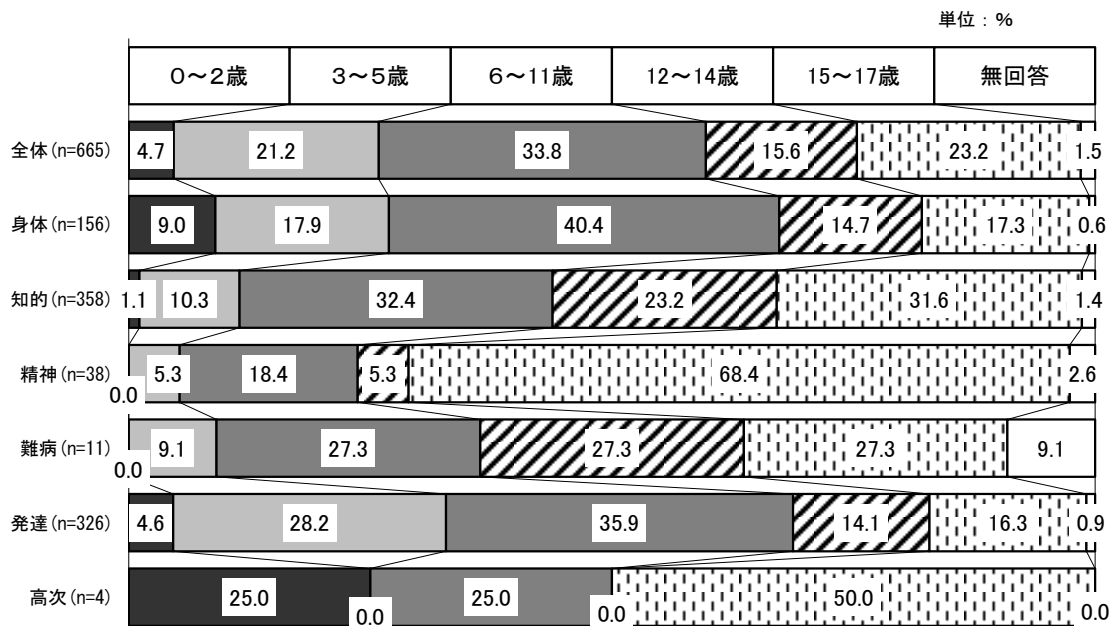
問 あなたの年齢 (平成 28 年 4 月 1 日現在) をお答えください。(○は1つ)

■ 障がいの分類別結果

<18 歳以上>



<18 歳未満>

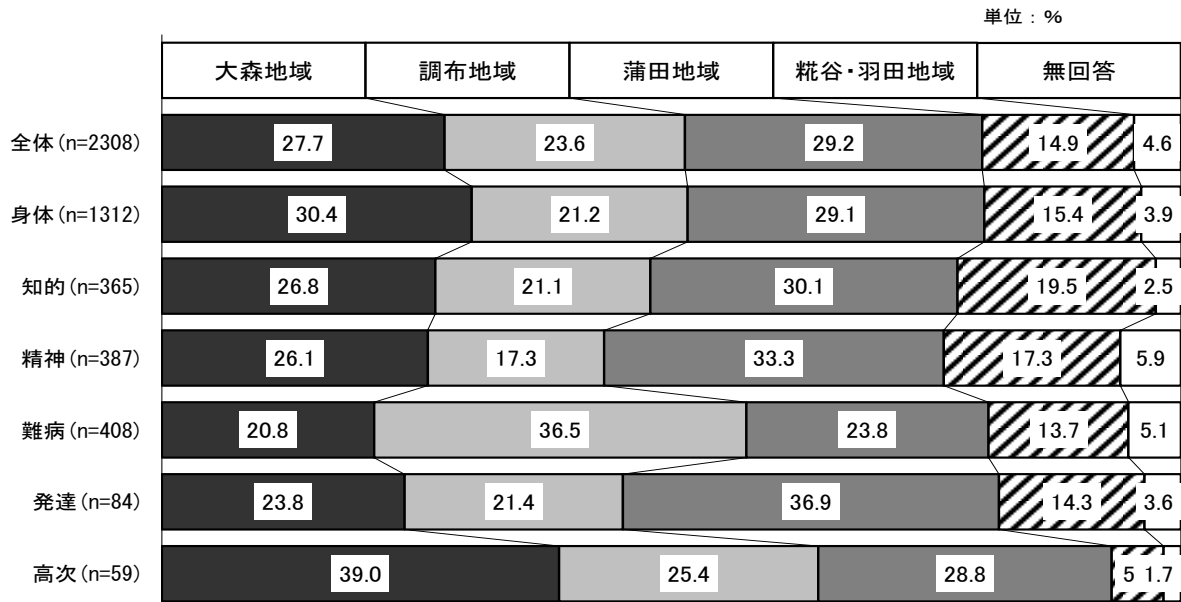


(4) 居住場所 (18 歳以上 問4 / 18 歳未満 問4)

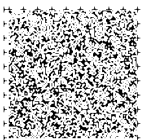
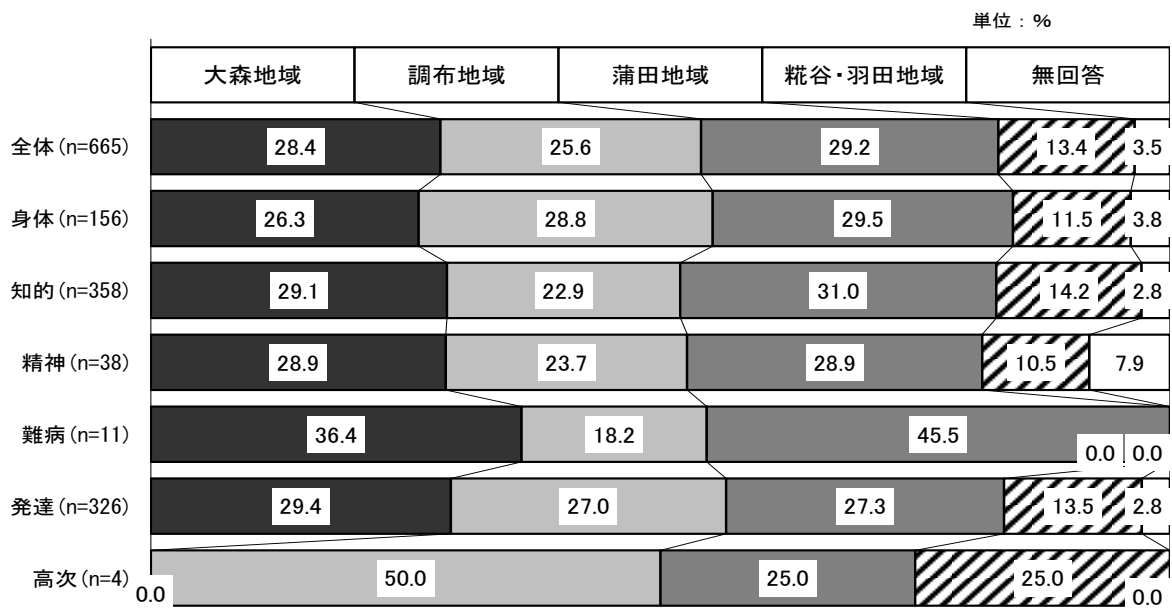
問 あなたがお住まいの地域はどこですか。(〇は1つ)

■ 障がいの分類別結果

<18 歳以上>



<18 歳未満>



(5) 手帳等の種類 (18歳以上 問5 / 18歳未満 問5)

問 あなたがお持ちの手帳・受給者証をお答えください。(〇はいくつでも)

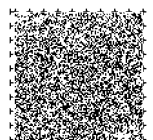
■ 障がいの分類別結果

<18歳以上> (単位: %)

	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療受給者証	特定医療費受給者証	その他	無回答
全体 (n=2308)	57.0	15.8	10.8	12.0	17.8	0.1	1.9
身体 (n=1312)	100.0	6.3	0.8	1.4	5.0	0.0	0.0
知的 (n=365)	22.5	100.0	2.5	9.9	2.5	0.0	0.0
精神 (n=387)	6.2	10.9	64.6	71.8	2.8	0.0	0.0
難病 (n=408)	15.9	2.2	1.5	2.7	100.0	0.0	0.0
発達 (n=84)	15.5	63.1	31.0	28.6	0.0	0.0	0.0
高次 (n=59)	86.4	5.1	16.9	6.8	3.4	0.0	0.0

<18歳未満> (単位: %)

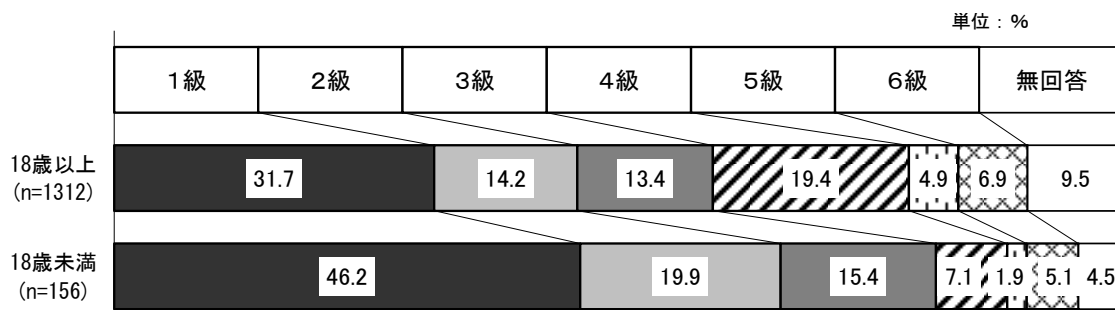
	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療受給者証	特定医療費受給者証	通所受給者証	その他	無回答
全体 (n=665)	23.5	53.8	2.4	3.6	1.7	31.1	0.8	1.4
身体 (n=156)	100.0	38.5	0.6	0.6	0.6	8.3	2.6	0.0
知的 (n=358)	16.8	100.0	0.3	1.7	0.6	8.7	0.3	0.0
精神 (n=38)	5.3	18.4	42.1	63.2	0.0	10.5	2.6	0.0
難病 (n=11)	9.1	18.2	0.0	0.0	100.0	9.1	0.0	0.0
発達 (n=326)	6.7	45.7	4.9	3.4	0.3	53.1	0.0	0.6
高次 (n=4)	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0



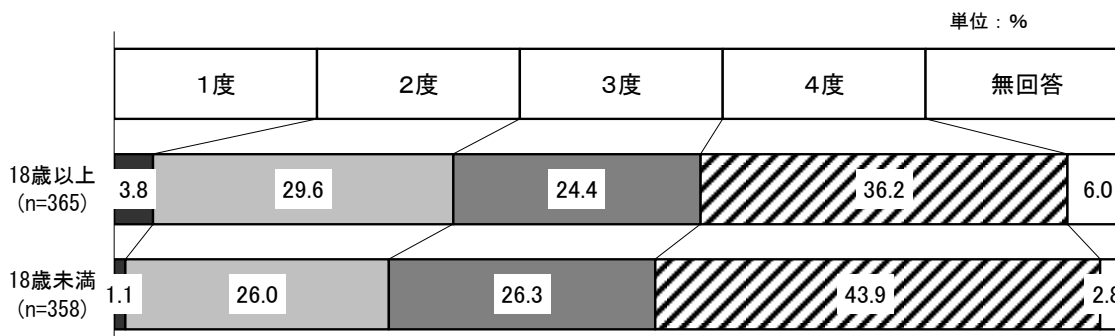
◇手帳の等級

■全体結果

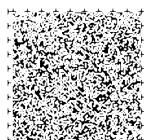
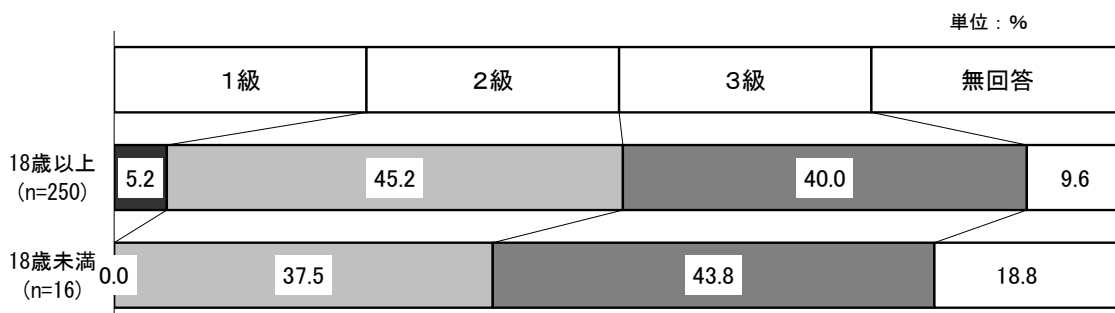
<身体障害者手帳>



<愛の手帳>



<精神保健者福祉手帳>



(6) 障がいの種類 (18歳以上 問6 / 18歳未満 問6)

問 あなたが障がい福祉のサービスを利用したり、上記の手帳や受給者証を取得したりするきっかけとなったのは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

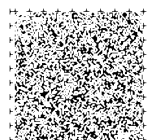
■ 障がいの分類別結果

<18歳以上> (単位：%)

	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	体幹や上肢下肢などの運動機能障がい	内臓や免疫機能などの内部障がい	知的障がい	精神疾患	発達障がい	難病	高次脳機能障がい	その他	無回答
全体 (n=2308)	9.1	9.9	4.8	20.0	15.1	13.6	14.8	3.6	17.1	2.6	1.3	3.3
身体 (n=1312)	15.3	16.2	7.2	33.4	24.2	4.7	2.4	1.0	5.9	3.9	1.2	2.6
知的 (n=365)	3.6	1.4	3.8	15.3	2.2	83.6	6.3	14.5	1.9	0.8	0.5	3.3
精神 (n=387)	1.3	0.8	1.6	2.6	0.5	8.5	80.6	9.0	2.6	3.1	1.8	2.3
難病 (n=408)	3.4	2.2	0.5	6.9	10.0	2.0	2.5	0.0	89.0	0.5	0.0	1.0
発達 (n=84)	3.6	1.2	4.8	10.7	1.2	46.4	21.4	100.0	0.0	1.2	0.0	0.0
高次 (n=59)	10.2	5.1	23.7	37.3	3.4	1.7	6.8	1.7	3.4	100.0	0.0	0.0

<18歳未満> (単位：%)

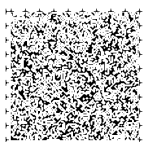
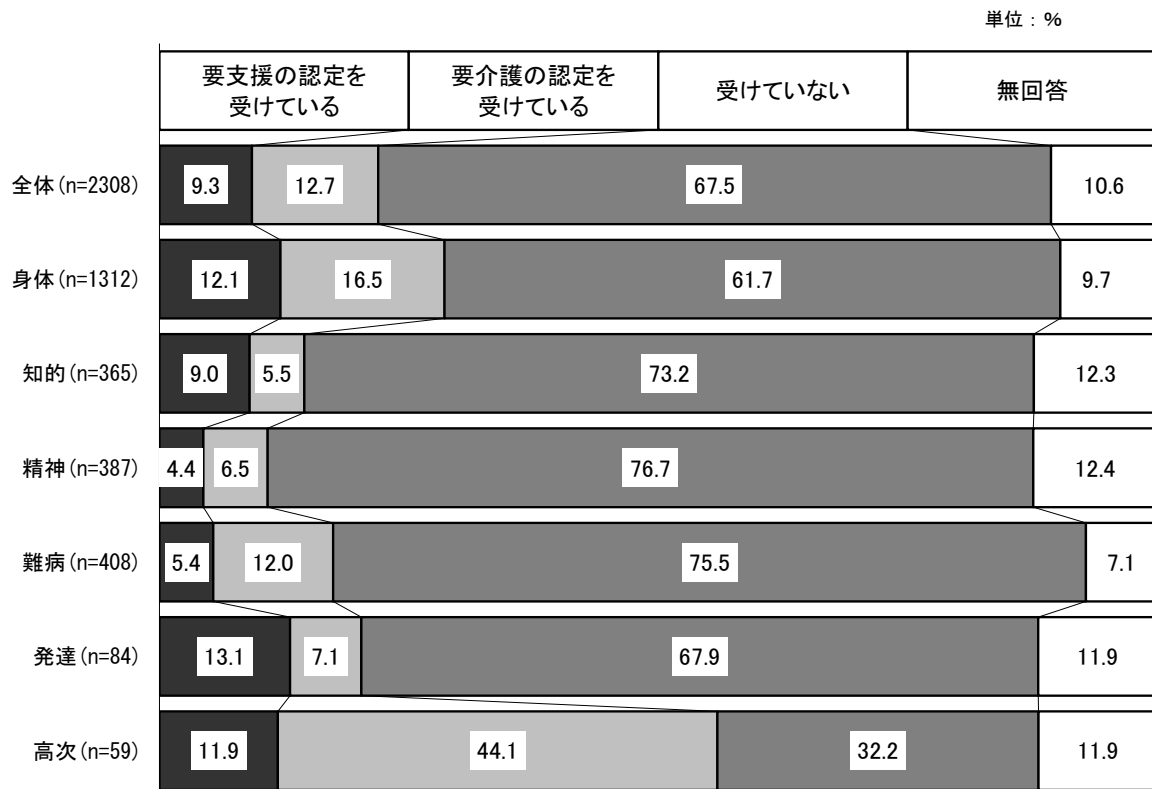
	視覚障がい	聴覚・平衡機能障がい	音声・言語・そしゃく機能障がい	体幹や上肢下肢などの運動機能障がい	内臓や免疫機能などの内部障がい	知的障がい	精神疾患	発達障がい	難病	高次脳機能障がい	その他	無回答
全体 (n=665)	1.2	3.8	2.7	14.9	5.6	47.1	1.5	49.0	2.3	0.6	4.8	1.1
身体 (n=156)	5.1	16.0	2.6	60.9	22.4	31.4	0.0	14.1	5.1	1.3	5.8	0.0
知的 (n=358)	0.6	1.1	2.2	14.2	2.0	82.1	0.6	41.6	1.4	0.6	3.9	0.3
精神 (n=38)	2.6	0.0	0.0	5.3	0.0	15.8	23.7	65.8	0.0	2.6	5.3	0.0
難病 (n=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0	9.1	63.6	0.0	18.2	0.0
発達 (n=326)	0.9	0.9	3.1	5.5	0.6	34.4	0.3	100.0	0.3	0.6	1.2	0.0
高次 (n=4)	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0



(7) 要介護認定 (18 歳以上 問7)

問 あなたは、介護保険制度で要支援または要介護の認定を受けていますか。(○は1つ)

■ 障がいの分類別結果



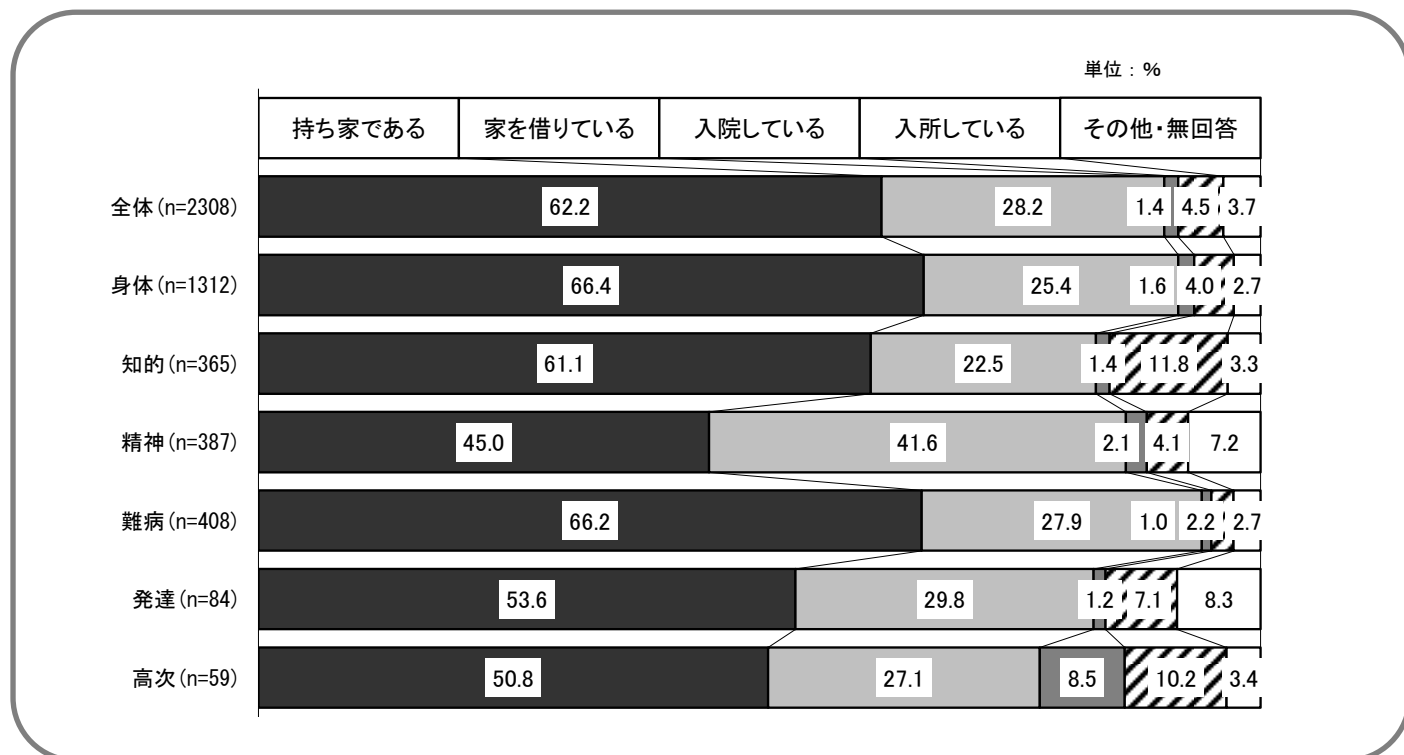
2 日常生活

(1) 住まいの形態 (18 歳以上 問8)

問 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれですか。(○は1つ)

- 「持ち家」が最も高く、次いで「家を借りている」の順。

■ 障がいの分類別結果

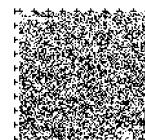


住まいについては、いずれの障害の分類においても「持ち家である」との回答が最も高く、全体でも 62.2% となっています。

[精神]の方では、「持ち家である」(45.0%) が最も低く、一方で「家を借りている」(41.6%) では、各分類の中で最も高くなっています。

「入所している」との回答については、[知的]、[高次]で高くなっています。

(→詳細な調査結果は 170 ページ)

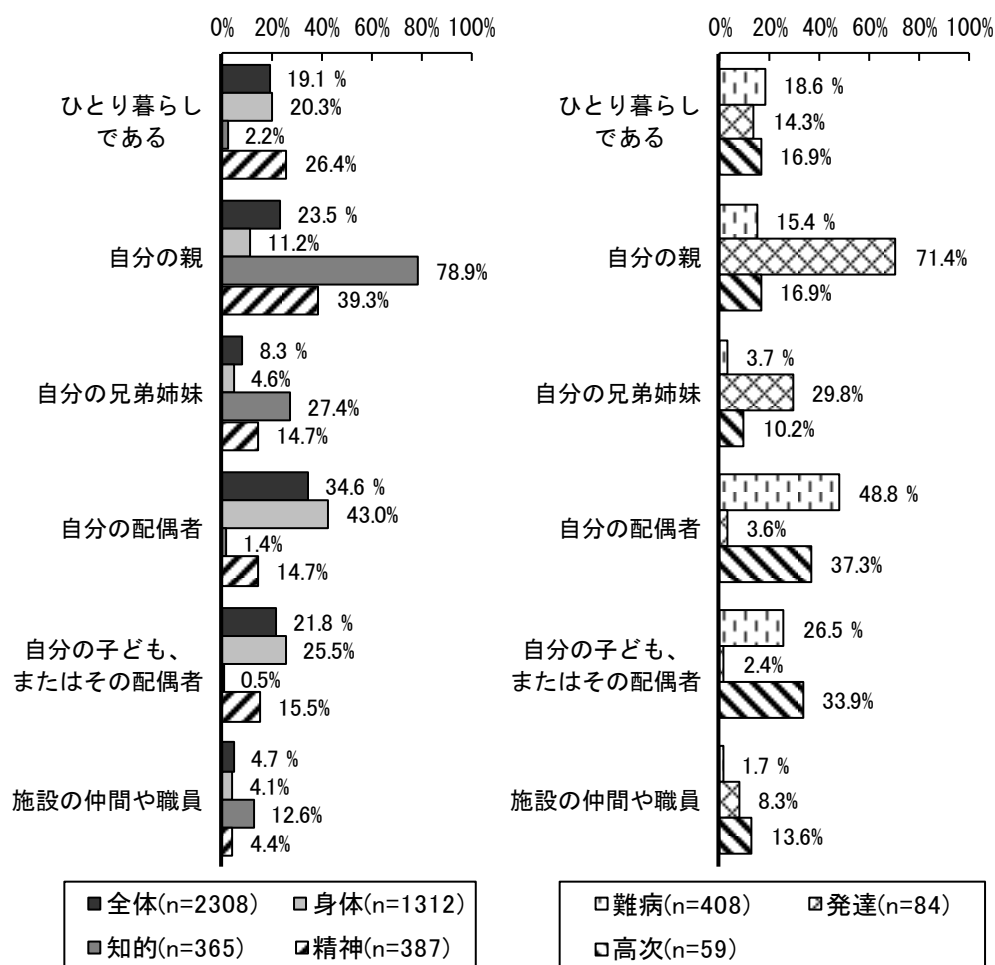


(2) 同居者について (18歳以上 問9)

問 現在、あなたは、どなたと暮らしていますか。(〇はいくつでも)

●身体や難病では「自分の配偶者」が、知的や発達、精神では「自分の親」が高い。

■障がいの分類別結果 (グラフは主な6選択肢)

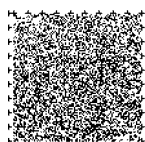


同居者については、全体では「自分の配偶者」が34.6%と最も高く、次いで、「自分の子ども、またはその配偶者」、「自分の親」となっています。

分類別に見ると、「自分の配偶者」との回答では[難病] (48.8%)、[身体] (43.0%) が、「自分の親」との回答では[知的] (78.9%)、[発達] (71.4%)、[精神] (39.3%) が全体よりも高くなっています。

「ひとり暮らしである」との回答については、[精神]が26.4%と全体より高い一方、[知的]は2.2%となっています。

(→詳細な調査結果は171ページ)



(3) 生活収入 (18歳以上 問10)

問 あなたの生活費は、主に何で得ていますか。(○は1つ)

●自分と家族の、就労または年金が主要な収入源。

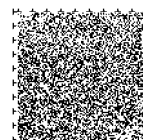
■障がいの分類別結果 (上位5回答、単位：%)

分類	1 番目	2 番目	3 番目	4 番目	5 番目
全体 (n=2308)	自分の年金 37.9	自分の就労 19.5	家族の就労 16.0	家族の年金 12.1	生活保護 5.2
身体 (n=1312)	自分の年金 48.7	自分の就労 15.7	家族の年金 11.8	家族の就労 10.7	生活保護 4.6
知的 (n=365)	自分の年金 27.4	家族の就労 25.8	自分の就労 19.5	家族の年金 16.2	家族の資産 3.8
精神 (n=387)	自分の年金 22.7	家族の就労 21.7	自分の就労 17.3	生活保護 14.2	家族の年金 10.9
難病 (n=408)	自分の就労 32.8	自分の年金 25.7	家族の就労 21.8	家族の年金 12.0	自分の資産 3.9
発達 (n=84)	家族の就労 27.4	自分の就労 22.6	自分の年金 17.9	家族の年金 15.5	家族の資産 4.8
高次 (n=59)	自分の年金 50.8	家族の就労 20.3	家族の年金 10.2	自分の資産 6.8	自分の就労 5.1

生活費については、「自分の年金」との回答が、[高次]、[身体]、[知的]、[精神]でもっとも高くなっています。[難病]では「自分の就労」(32.8%)、[発達]では「家族の就労」(27.4%)が最も高くなっています。

すべての分類で、「自分の就労」、「自分の年金」、「家族の就労」、「家族の年金」の4選択肢がいずれも上位5回答に入っています。

(→詳細な調査結果は171ページ)



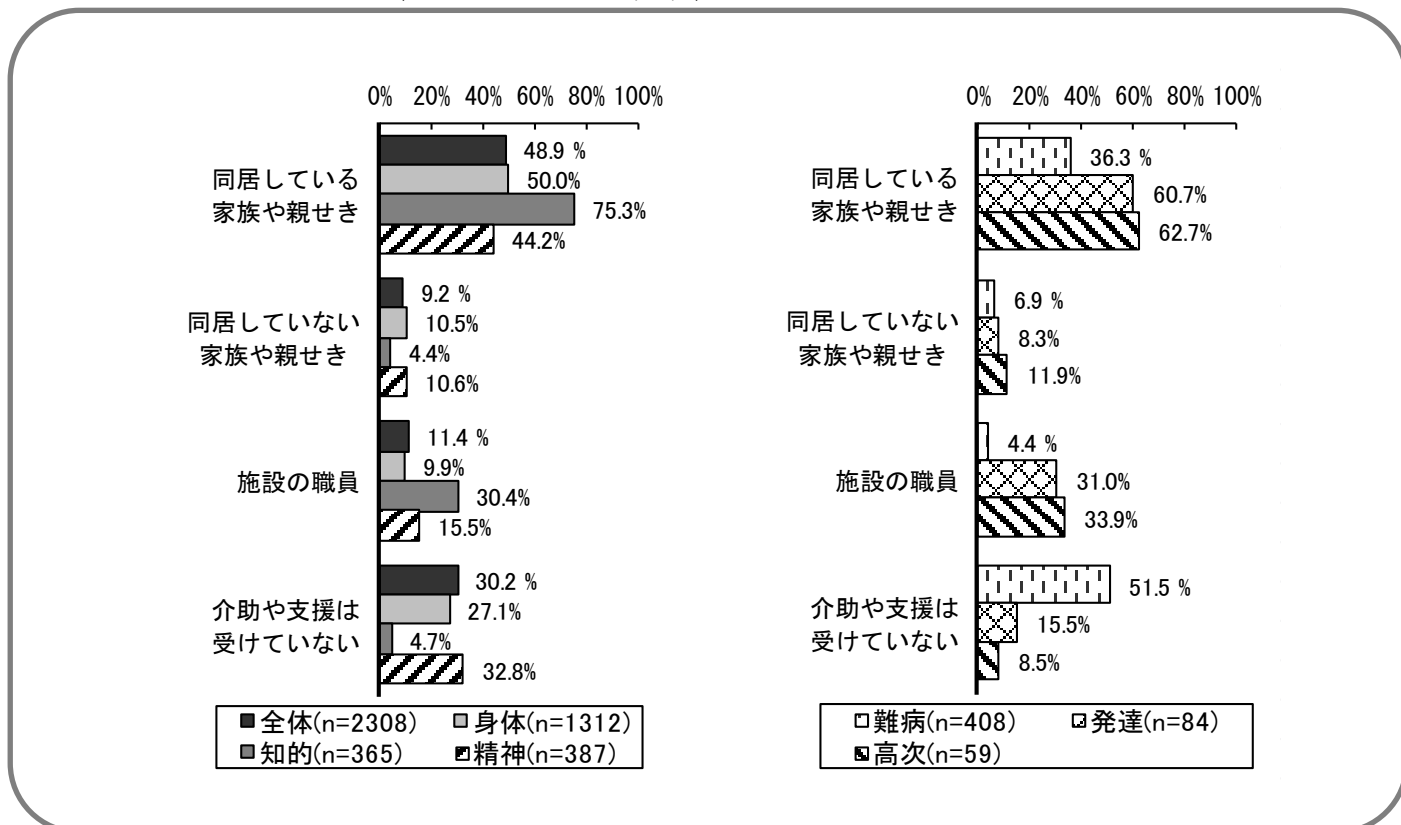
(4) 主な介助者・支援者（18歳以上 問11/18歳未満 問7）

問 ふだん、あなたを主に介助・支援しているのはどなたですか。（〇はいくつでも）

<18歳以上>

●知的・発達・高次で「同居している家族や親せき」との回答が高い。

■障がいの分類別結果（グラフは主な選択肢）



主な介助者については、「同居している家族や親せき」との回答が[難病]を除くすべての分類で高くなっています。[難病]では、「介助や支援は受けていない」との回答が51.5%で高くなっています。

[知的]、[発達]、[高次]では「同居している家族や親せき」との回答が全体よりも高く、一方で「介助や支援は受けていない」との回答が低いという同じ傾向が見て取れます。

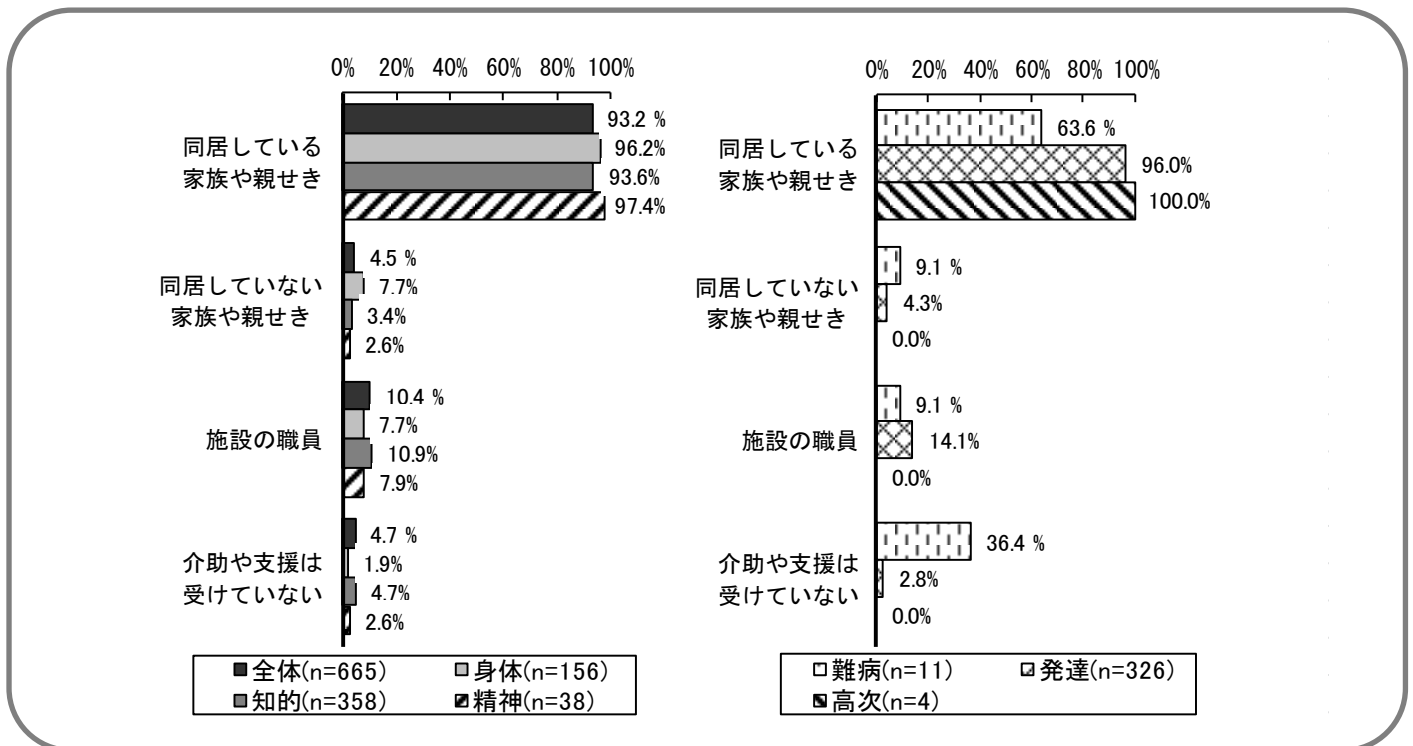
(→詳細な調査結果は171ページ)



<18歳未満>

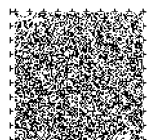
●いずれも「同居している家族や親せき」との回答が高い。

■障がいの分類別結果（グラフは主な選択肢）



18歳未満では、[難病]で「介助や支援は受けていない」との回答が36.4%みられるものの、いずれも「同居している家族や親せき」が最も高く、「難病以外」ではすべて9割を超えて極めて高くなっています。

(→詳細な調査結果は187ページ)



(5) 主な介助者・支援者が不在時の対応 (18歳以上 問12/18歳未満 問8)

問 あなたは、介助や支援をしてくれる人がいない場合、どのようにしていますか。
(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●同居の家族に頼む場合が全体の2割、精神・難病では「特に対応はしていない」が半数。

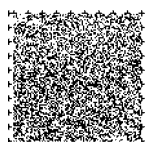
■障がいの分類別結果 (単位：%)

	同居している 他の家族に頼む	同居していない 他の家族や親せきに頼む	緊急一時保護を利用する	介護や家事援助などを行う ホームヘルプサービスを利用する	短期入所(ショートステイ)を 利用する	近所の人や友人・知人に頼む	ボランティアに頼む	その他	特に対応はしていない	無回答
全体 (n=2308)	20.8	17.1	3.7	9.1	6.1	5.2	1.0	5.1	40.6	7.8
身体 (n=1312)	21.1	17.7	3.4	12.1	5.3	5.6	0.9	4.8	38.0	7.6
知的 (n=365)	32.3	18.9	14.0	7.9	20.3	3.8	1.6	7.7	21.6	6.6
精神 (n=387)	15.8	14.7	2.1	5.2	3.6	6.2	1.6	7.0	50.1	7.8
難病 (n=408)	15.2	18.4	1.2	7.1	5.1	3.2	0.7	2.7	52.0	6.9
発達 (n=84)	36.9	17.9	10.7	9.5	14.3	8.3	1.2	7.1	36.9	4.8
高次 (n=59)	32.2	13.6	6.8	11.9	6.8	6.8	1.7	8.5	27.1	6.8

介助者がいない場合の対応については、全体では「特に対応はしていない」との回答が最も高くなっており、中でも[難病](52.0%)、[精神](50.1%)では半数を超える回答となっています。

他の選択肢では、「同居している他の家族に頼む」が[難病]以外の分類で最も多くなっており、[発達]、[知的]、[高次]では全体よりも高い傾向が見られます。

また、[知的]と[発達]において、「短期入所を利用する」、「緊急一時保護を利用する」についての回答が高くなっています。



<18歳未満>

●同居の家族、または同居していない家族や親族との回答が18歳以上に比べ、高い。

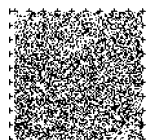
■障がいの分類別結果（単位：％）

	同居している 他の家族に頼む	同居していない 他の家族や親せきに頼む	緊急一時保護を利用する	介護や家事援助などを行う ホームヘルプサービスを利用する	短期入所（ショートステイ）を 利用する	近所の人や友人・知人に頼む	ボランティアに頼む	その他	特に対応はしていない	無回答
全体 (n=665)	42.0	35.0	7.5	4.5	8.0	5.6	1.7	6.8	23.0	4.4
身体 (n=156)	45.5	39.7	15.4	10.3	16.0	7.7	3.8	10.3	14.7	2.6
知的 (n=358)	46.1	32.1	11.2	6.1	12.6	4.2	2.2	6.7	21.5	2.8
精神 (n=38)	26.3	15.8	7.9	5.3	5.3	2.6	2.6	18.4	36.8	5.3
難病 (n=11)	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	18.2
発達 (n=326)	41.4	37.4	5.5	3.4	6.4	4.6	0.9	6.7	23.0	4.9
高次 (n=4)	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

18歳未満でも、[難病]（54.5％）と[精神]（36.8％）で「特に対応はしていない」との回答が最も高くなっています。

一方、18歳未満ということもあり、回答者全体で「同居している他の家族に頼む」、「同居していない他の家族に頼む」についての回答は、18歳以上の割合に比べ非常に高い割合となっています。

他の選択肢では[身体]において、「短期入所を利用する」、「緊急一時保護を利用する」についての回答が高くなっています。



(6) 生活における不安・困っていること (18歳以上 問13/18歳未満 問9)

問 あなたは、ご自身の生活のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●「健康や医療のこと」、「経済的なこと」がすべての分類で高い。

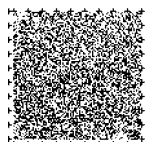
■障がいの分類別結果 (上位5回答と「特にない」、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=2308)	健康や医療のこと 42.1	経済的なこと 36.0	親が亡くなった後の過ごし方 17.8	家族のこと 16.9	仕事のこと 15.4	特にない 20.1
身体 (n=1312)	健康や医療のこと 41.6	経済的なこと 31.4	家族のこと 15.3	思うように意思疎通ができないこと 11.1	仕事のこと 9.8	特にない 23.6
知的 (n=365)	親が亡くなった後の過ごし方 60.3	健康や医療のこと 30.1	思うように意思疎通ができないこと 28.5	経済的なこと 22.5	余暇の過ごし方 21.6	特にない 12.3
精神 (n=387)	経済的なこと 57.6	健康や医療のこと 45.5	仕事のこと 32.3	親が亡くなった後の過ごし方 32.3	家族のこと 27.4	特にない 8.0
難病 (n=408)	健康や医療のこと 52.7	経済的なこと 38.5	仕事のこと 19.4	家族のこと 17.4	親が亡くなった後の過ごし方 9.8	特にない 23.8
発達 (n=84)	親が亡くなった後の過ごし方 54.8	思うように意思疎通ができないこと 47.6	経済的なこと 40.5	健康や医療のこと 39.3	仕事のこと 31.0	特にない 7.1
高次 (n=59)	経済的なこと 50.8	健康や医療のこと 45.8	家族のこと 33.9	思うように意思疎通ができないこと 32.2	施設やサービスのこと 18.6	特にない 10.2

生活のことでの困りごととしては、いずれの分類でも「健康や医療のこと」と「経済的なこと」が上位4位までに入っており、高くなっています。

[知的]と[発達]では「親が亡くなった後の過ごし方」が最も高く、「思うように意思疎通ができないこと」も[発達]で2番目、[知的]で3番目と高くなっています。

「特にない」との回答については、[精神]と[発達]がそれぞれ1割以下にとどまっており、ほとんどの方が生活において何かしらの困りごとを抱えていることがうかがえます。(→詳細な調査結果は172ページ)



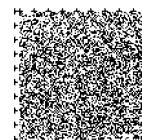
■[身体]の「手帳を取るきっかけ（問6）」別結果（上位5回答と「特にない」、単位：%）

分類	1 番目	2 番目	3 番目	4 番目	5 番目	
身体 (n=1312)	健康や医療のこと 41.6	経済的なこと 31.4	家族のこと 15.3	思うように意思疎通ができないこと 11.1	仕事のこと 9.8	特にない 23.6
視覚 (n=211)	健康や医療のこと 47.4	経済的なこと 28.9	家族のこと 20.4	親が亡くなった後の過ごし方 10.4	施設やサービスのこと 10.0	特にない 18.0
聴覚 (n=228)	健康や医療のこと 37.7	経済的なこと 31.6	思うように意思疎通ができないこと 22.4	家族のこと 14.5	困ったときの相談先がないこと 12.7	特にない 22.4
音声 (n=110)	思うように意思疎通ができないこと 47.3	経済的なこと 37.3	健康や医療のこと 37.3	家族のこと 18.2	仕事のこと 16.4	特にない 12.7
運動 (n=462)	健康や医療のこと 44.6	経済的なこと 33.3	家族のこと 18.4	親が亡くなった後の過ごし方 13.9	施設やサービスのこと 12.1	特にない 21.9
内部 (n=348)	健康や医療のこと 45.1	経済的なこと 34.5	家族のこと 13.5	仕事のこと 10.6	施設やサービスのこと 6.0	特にない 28.2

[身体]の「手帳を取るきっかけ（問6）」別にみると、[音声]では「思うように意思疎通ができないこと」と考えている方が47.3%と最も高くなっています。[聴覚]でも22.4%で3番目となっており、さらに[聴覚]の方では5番目に「困ったときの相談先がないこと」（12.7%）との回答が入っています。

「施設やサービスのこと」については、[視覚]、[運動]、[内部]でそれぞれ5番目に入っています。

（→詳細な調査結果は172ページ）



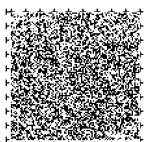
■年齢別に見た傾向（単位：％）

	学校のこと	経済的なこと	仕事のこと	家族のこと	健康や医療のこと	近所付き合いのこと	困ったときの相談先がないこと	進路や就職のこと	施設やサービスのこと	親が亡くなった後の過ごし方	余暇の過ごし方	いやがらせや暴力などを受けること	思うように意思疎通ができないこと	特にない	その他	無回答
全体 (n=2308)	0.4	36.0	15.4	16.9	42.1	3.8	8.8	4.6	7.8	17.8	7.8	2.3	12.7	20.1	3.0	3.2
18～39歳 (n=393)	1.5	39.4	32.1	19.1	37.2	4.6	10.7	14.0	7.9	46.3	16.3	3.3	23.2	11.7	2.5	1.5
40～64歳 (n=772)	0.4	42.5	24.2	18.4	43.4	5.4	11.1	6.3	6.3	25.9	6.3	3.8	12.8	15.5	3.0	1.7
65歳以上 (n=1123)	0.1	30.5	3.5	15.2	43.1	2.4	6.6	0.2	8.9	2.1	5.8	1.0	9.1	26.2	3.1	4.6

年齢別の傾向を見ると、[18～39歳]では、「特にない」との回答が11.7%と全体と比べて低く、それに伴い、「親が亡くなった後の過ごし方」、「仕事のこと」、「思うように意思疎通ができないこと」、「余暇の過ごし方」、「就職や進路のこと」等の項目では高くなっています。

[40～64歳]では、「経済的なこと」との回答が42.5%と全体と比べて高く、他にも「親が亡くなった後の過ごし方」、「仕事のこと」が高くなっています。

[65歳以上]では、「特にない」との回答が26.2%となっています。



<18歳未満>

●「進路や就職」、「学校」、「親亡き後の過ごし方」が4割を超える。

■障がいの分類別結果（上位5回答と「特にない」、単位：%）

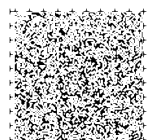
分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=665)	進路や就職のこと 44.2	学校のこと(保育園や幼稚園も含む) 44.1	親が亡くなった後の過ごし方 43.2	思うように意思疎通ができないこと 35.0	経済的なこと 20.9	特にない 13.5
身体 (n=156)	親が亡くなった後の過ごし方 44.9	学校のこと(保育園や幼稚園も含む) / 進路や就職のこと 41.7		健康や医療のこと / 思うように意思疎通ができないこと 31.4		特にない 8.3
知的 (n=358)	親が亡くなった後の過ごし方 59.8	進路や就職のこと 49.2	思うように意思疎通ができないこと 43.0	学校のこと(保育園や幼稚園も含む) 30.7	余暇の過ごし方 26.5	特にない 12.3
精神 (n=38)	進路や就職のこと 52.6	学校のこと(保育園や幼稚園も含む) 47.4	親が亡くなった後の過ごし方 44.7	経済的なこと 34.2	思うように意思疎通ができないこと 31.6	特にない 10.5
難病 (n=11)	学校のこと(保育園や幼稚園も含む) 27.3	経済的なこと 18.2	進路や就職のこと 18.2	健康や医療のこと / 困ったときの相談先がないこと 9.1		特にない 54.5
発達 (n=326)	学校のこと(保育園や幼稚園も含む) 53.7	進路や就職のこと 47.2	親が亡くなった後の過ごし方 42.9	思うように意思疎通ができないこと 41.1	経済的なこと 21.5	特にない 9.5
高次 (n=4)	学校のこと(保育園や幼稚園も含む) / 家族のこと / 施設やサービスのこと 50.0			健康や医療のこと / 経済的なこと / 困ったときの相談先がないこと / 近所付き合いのこと / 進路や就職のこと / 親が亡くなった後の過ごし方 25.0		特にない 0.0

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています

18歳未満では、回答者全体で「進学や就職のこと」(44.2%)、「学校のこと」(44.1%)、「親が亡くなった後の過ごし方」(43.2%)、が4割を超えて高くなっています。

他の選択肢では、[知的]で「余暇の過ごし方」が5番目となっており、この項目は18歳以上でも5番目に入っています。

(→詳細な調査結果は187ページ)

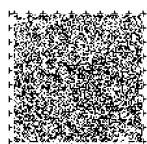


■年齢別に見た傾向（単位：％）

	学校のこと（保育園や幼稚園も含む）	経済的なこと	健康や医療のこと	家族のこと	困ったときの相談先がないこと	近所付き合いのこと	施設やサービスのこと	進路や就職のこと	余暇の過ごし方	親が亡くなった後の過ごし方	思うように意思疎通ができないこと	いやがらせや暴力などを受けること	その他	特にない	無回答
全体 (n=665)	44.1	20.9	20.5	8.6	8.7	3.6	17.1	44.2	17.6	43.2	35.0	8.4	3.6	13.5	0.8
0～2歳 (n=31)	77.4	32.3	32.3	9.7	16.1	9.7	48.4	29.0	12.9	32.3	22.6	19.4	0.0	6.5	0.0
3～5歳 (n=141)	73.0	19.9	14.9	8.5	10.6	3.5	19.1	36.2	3.5	35.5	39.7	9.2	4.3	9.9	0.0
6～11歳 (n=225)	43.6	17.3	17.3	6.7	6.2	2.2	14.2	36.9	17.3	40.0	39.1	7.1	3.1	12.0	0.4
12～14歳 (n=104)	34.6	21.2	22.1	7.7	9.6	5.8	18.3	56.7	31.7	48.1	32.7	10.6	4.8	17.3	1.0
15～17歳 (n=154)	18.8	24.7	26.0	11.7	8.4	3.2	13.0	57.8	23.4	53.2	29.9	5.8	3.2	18.8	0.0

年齢別の傾向を見ると、[0～2歳]では、「特にない」との回答が6.5%と全体と比べて低く、それに伴い、「学校のこと」、「施設やサービスのこと」「経済的なこと」、「健康や医療のこと」、「困った時の相談先がないこと」等の項目では高くなっており、乳児期であることやこれから障害を知って、対応していく段階として困りごとが多くある状況がうかがえます。[3～5歳]でも「学校のこと」が73.0%と高くなっています。

[12歳以上]では、「進路や就職のこと」や「余暇の過ごし方」との回答が全体と比べて高くなっており、学齢期に差し掛かった状況に伴う困りごとであることがうかがえます。[15～17歳]では、「親が亡くなった後の過ごし方」との回答が53.2%と高くなっています。



(7) 健康や医療についての不安・困っていること (18歳以上 問14/18歳未満 問10)

問 あなたは、ご自身の健康や医療のことで、困っていることや不安に思っていることがありますか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●すべての分類で「障がいの重度化や病気の悪化」が最も高い。

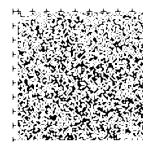
■障がいの分類別結果 (上位5回答と「特にない」、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=2308)	障がいの重度化や病気の悪化 37.8	医療費の負担が大きい 19.3	栄養管理が難しい 12.1	気軽に相談ができない 11.1	薬の管理が難しい 8.3	特にない 28.9
身体 (n=1312)	障がいの重度化や病気の悪化 39.4	医療費の負担が大きい 17.9	栄養管理が難しい 11.1	気軽に相談ができない 7.9	薬の管理が難しい 6.3	特にない 29.6
知的 (n=365)	障がいの重度化や病気の悪化 27.7	薬の管理が難しい 18.4	栄養管理が難しい 17.0	治療の説明が十分に理解できない 15.3	気軽に相談ができない 14.5	特にない 31.2
精神 (n=387)	障がいの重度化や病気の悪化 35.1	気軽に相談ができない 25.1	医療費の負担が大きい 20.9	栄養管理が難しい 17.6	薬の管理が難しい 12.4	特にない 22.5
難病 (n=408)	障がいの重度化や病気の悪化 48.8	医療費の負担が大きい 28.9	栄養管理が難しい 9.6	気軽に相談ができない 6.9	薬の管理が難しい 5.4	特にない 26.2
発達 (n=84)	障がいの重度化や病気の悪化 33.3	気軽に相談ができない 28.6	障がい専門の医療機関がない 22.6	医療費の負担が大きい 21.4	薬の管理が難しい 20.2	特にない 20.2
高次 (n=59)	障がいの重度化や病気の悪化 42.4	医療費の負担が大きい 30.5	気軽に相談ができない 18.6	薬の管理が難しい/治療の説明が十分に理解できない/通院のための介助者確保が難しい 16.9		特にない 18.6

※複数の枠にまたがっている項目は、同数だったことを示しています (以下同様)

健康や医療での困りごととしては、いずれの分類でも「障がいの重度化や病気の悪化」がもっとも高くなっています。

上位項目以外の回答としては、[知的]で「治療の説明が十分に理解できない」が4番目、[発達]で「障がい専門の医療機関がない」が3番目、などが特徴的です。(→詳細な調査結果は172ページ)



■年齢別に見た傾向（単位：％）

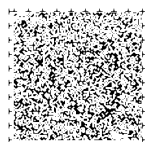
	病気の悪化 障がい の重度化や	栄養管理が難しい	薬の管理が難しい	障がい専門の 医療機関がない	気軽に相談ができない	治療の説明が 十分に理解できない	医療費の負担が大きい	通院のための 介助者確保が難しい	休日や夜間に対応して くれる医療機関がない	その他	特にな い	無回 答
全体 (n=2308)	37.8	12.1	8.3	5.0	11.1	6.1	19.3	5.5	4.9	3.7	28.9	4.8
18～39歳 (n=393)	32.8	14.8	13.5	9.4	18.8	9.4	15.5	6.6	9.9	5.3	28.8	3.6
40～64歳 (n=772)	43.1	14.2	8.0	5.6	14.5	6.0	20.6	3.9	4.3	2.6	24.9	3.0
65歳以上 (n=1123)	35.8	9.5	6.5	2.9	6.1	5.1	19.8	6.3	3.4	4.0	31.9	6.3

年齢別の傾向を見ると、[18～39歳]では、「気軽に相談ができない」、「薬の管理が難しい」「休日や夜間に対応してくれる医療機関がない」との回答が高くなっています。[40～64歳]では、「障害の重度化や病気の悪化」が43.1%と高くなっています。

■地区別に見た傾向（単位：％）

	病気の悪化 障がい の重度化や	栄養管理が難しい	薬の管理が難しい	障がい専門の 医療機関がない	気軽に相談ができない	治療の説明が 十分に理解できない	医療費の負担が大きい	通院のための 介助者確保が難しい	休日や夜間に対応して くれる医療機関がない	その他	特にな い	無回 答
全体 (n=2308)	37.8	12.1	8.3	5.0	11.1	6.1	19.3	5.5	4.9	3.7	28.9	4.8
大森地域 (n=640)	39.4	14.7	9.1	4.8	12.3	6.3	19.1	5.2	4.4	3.4	27.7	3.9
調布地域 (n=545)	39.1	9.0	7.5	4.2	8.8	6.2	18.5	5.5	4.2	4.2	31.4	4.6
蒲田地域 (n=673)	37.4	11.1	8.2	5.6	12.5	6.1	18.4	6.4	5.3	4.0	27.9	4.3
糀谷・羽田地 域(n=344)	35.5	14.5	9.3	6.1	10.2	5.8	21.2	4.9	4.7	2.3	29.7	5.8

地区別に傾向を見たところ、「障害専門の医療機関がない」、「休日や夜間に対応してくれる医療機関がない」といった、地域的な特性が表れやすい点についての大きな差は見られません。



<18歳未満>

●「専門の医療機関がない」、「重度化や病気の悪化」、「気軽に相談ができない」が高い。

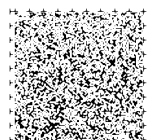
■ 障がいの分類別結果（上位5回答と「特にない」、単位：％）

分類	1 番目	2 番目	3 番目	4 番目	5 番目	
全体 (n=665)	障がい専門の医療機関がない	障がいの重度化や病気の悪化	気軽に相談ができない	栄養管理が難しい／治療の説明が十分に理解できない		特にない
	22.7	19.4	14.6	8.7		37.0
身体 (n=156)	障がいの重度化や病気の悪化	障がい専門の医療機関がない	気軽に相談ができない	医療費の負担が大きい／通院のための介助者確保が難しい		特にない
	50.6	16.0	9.6	9.0		23.7
知的 (n=358)	障がい専門の医療機関がない	障がいの重度化や病気の悪化	気軽に相談ができない	治療の説明が十分に理解できない	栄養管理が難しい	特にない
	25.1	19.8	14.2	12.0	10.1	34.1
精神 (n=38)	薬の管理が難しい／気軽に相談ができない		医療費の負担が大きい	障がいの重度化や病気の悪化	栄養管理が難しい／障がい専門の医療機関がない	特にない
	23.7		21.1	15.8	10.5	34.2
難病 (n=11)	障がいの重度化や病気の悪化／薬の管理が難しい		栄養管理が難しい／気軽に相談ができない／医療費の負担が大きい／休日や夜間に対応してくれる医療機関がない			特にない
	18.2		9.1			54.5
発達 (n=326)	障がい専門の医療機関がない	気軽に相談ができない	障がいの重度化や病気の悪化	栄養管理が難しい	薬の管理が難しい	特にない
	27.3	16.6	13.2	12.3	11.0	38.7
高次 (n=4)	障がいの重度化や病気の悪化／障がい専門の医療機関がない／気軽に相談ができない			/		特にない
	25.0					25.0

18歳未満では、回答者全体では「障がい専門の医療機関がない」との回答が22.7%で最も高く、次いで「障がいの重度化や病気の悪化」(19.4%)、「気軽に相談ができない」(14.6%)と続いています。[難病]では「障がい専門の医療機関がない」が上位となっていないものの、他はいずれの分類でもこの3項目が上位回答となっています。

他の選択肢では「薬の管理が難しい」について、[精神]と[難病]では最も高く、[発達]でも5番目となっています。

(→詳細な調査結果は188ページ)

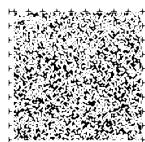


■年齢別に見た傾向（単位：％）

	障がいの重度化や病気の悪化	栄養管理が難しい	薬の管理が難しい	障がい専門の医療機関がない	気軽に相談ができない	治療の説明が十分に理解できない	医療費の負担が大きい	通院のための介助者確保が難しい	休日や夜間に対応してくれる医療機関がない	その他	特にない	無回答
全体 (n=665)	19.4	8.7	8.4	22.7	14.6	8.7	6.9	5.6	4.7	6.8	37.0	3.8
0～2歳 (n=31)	48.4	25.8	6.5	32.3	12.9	0.0	6.5	12.9	3.2	6.5	22.6	0.0
3～5歳 (n=141)	18.4	5.7	3.5	26.2	16.3	5.0	5.0	6.4	3.5	6.4	38.3	5.7
6～11歳 (n=225)	20.9	7.6	8.9	25.3	12.0	9.3	1.8	4.4	4.4	8.9	33.3	4.4
12～14歳 (n=104)	19.2	9.6	10.6	20.2	19.2	12.5	3.8	5.8	6.7	4.8	34.6	3.8
15～17歳 (n=154)	13.0	9.1	11.0	14.9	13.6	9.1	17.5	5.2	3.9	5.2	46.8	1.9

年齢別の傾向を見ると、[0～2歳]では、「障がいの重度化や病気の悪化」が48.4%である他、「障がい専門の医療機関がない」、「栄養管理が難しい」、「通院のための介助者確保が難しい」など、「(6)生活における不安」と同様に、乳児期であることやこれから障害を知って、対応していく段階として困りごとが多くあることがうかがえます。

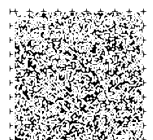
[15～17歳]では「医療費の負担が大きい」が高くなっています。



■ 地区別に見た傾向（単位：％）

	障がいの重度化や病気の悪化	栄養管理が難しい	薬の管理が難しい	障がい専門の医療機関がない	気軽に相談ができない	治療の説明が十分に理解できない	医療費の負担が大きい	介護者確保が難しい	通院のための	休日や夜間に対応してくる医療機関がない	その他	特にない	無回答
全体 (n=665)	19.4	8.7	8.4	22.7	14.6	8.7	6.9	5.6	4.7	6.8	37.0	3.8	
大森地域 (n=189)	14.3	6.9	10.1	19.6	11.1	7.4	6.3	6.3	4.8	6.9	40.7	6.3	
調布地域 (n=170)	21.2	8.8	8.2	25.3	18.2	8.8	4.1	3.5	4.1	5.9	35.3	2.4	
蒲田地域 (n=194)	22.2	8.8	4.6	24.7	13.9	7.7	8.8	5.7	3.6	8.2	36.1	3.1	
糀谷・羽田地域 (n=89)	18.0	10.1	12.4	16.9	14.6	10.1	7.9	7.9	5.6	5.6	36.0	2.2	

地区別に傾向を見たところ、「障害専門の医療機関がない」においては[糀谷・羽田地域]が全体と比べて低い結果となっています。「障がいの重度化や病気の悪化」については[大森地域]が全体と比べて低い結果となっています。



3 日中の過ごし方

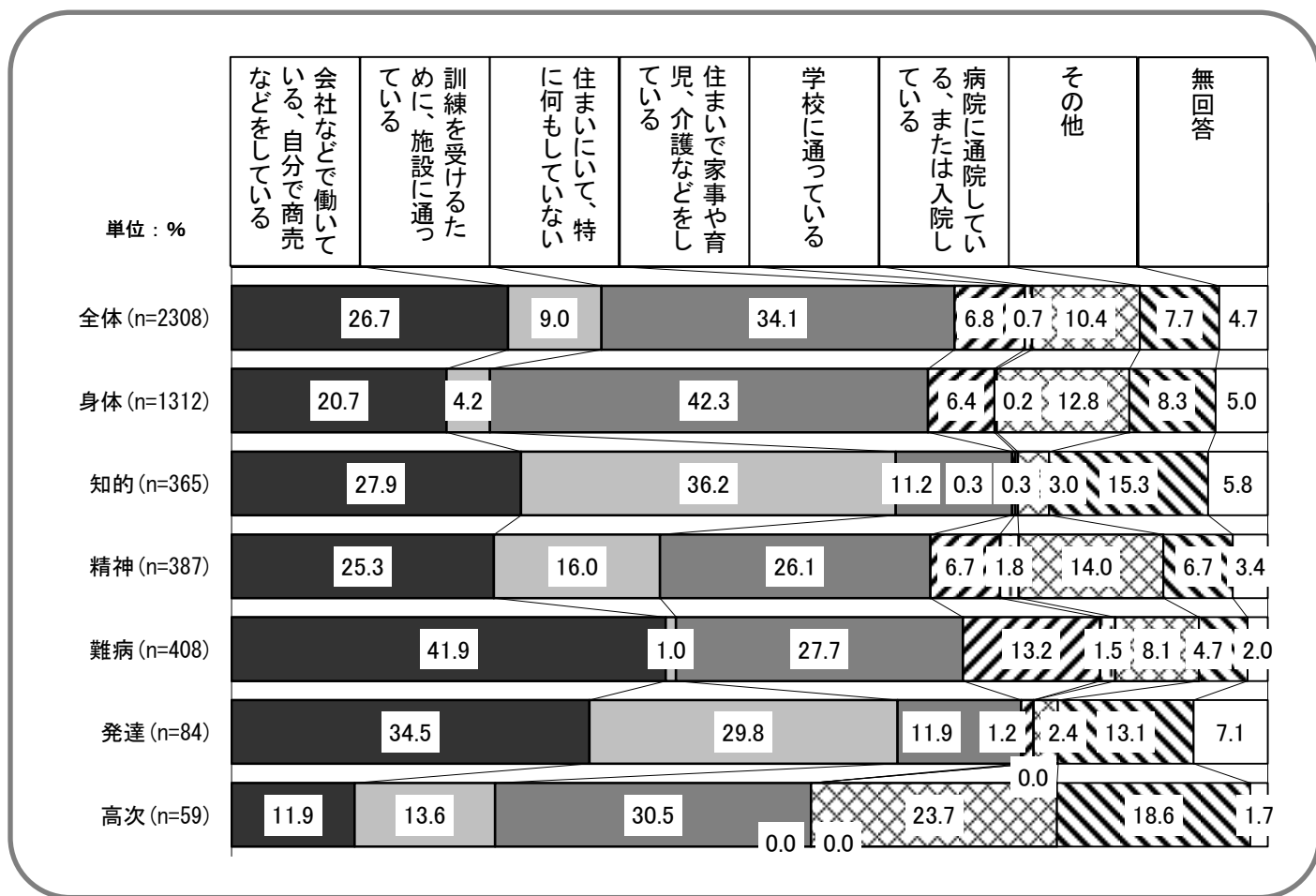
(1) 日中主に過ごしている場所 (18歳以上 問15/18歳未満 問11)

問 あなたは、平日の日中、主にどこで過ごしていますか。(〇は1つ)

<18歳以上>

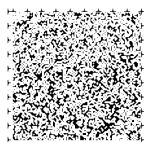
●[知的]は「訓練を受けるために施設に通っている」、[難病]は「働いている」が高い。

■障がいの分類別結果



日中の過ごし方については、全体では「住まいにいて、特に何もしていない」が34.1%と最も高くなっています。次いで「会社などで働いている、自分で商売などを行っている」(26.7%)、「病院に通院している、または入院している」(10.4%)となっています。

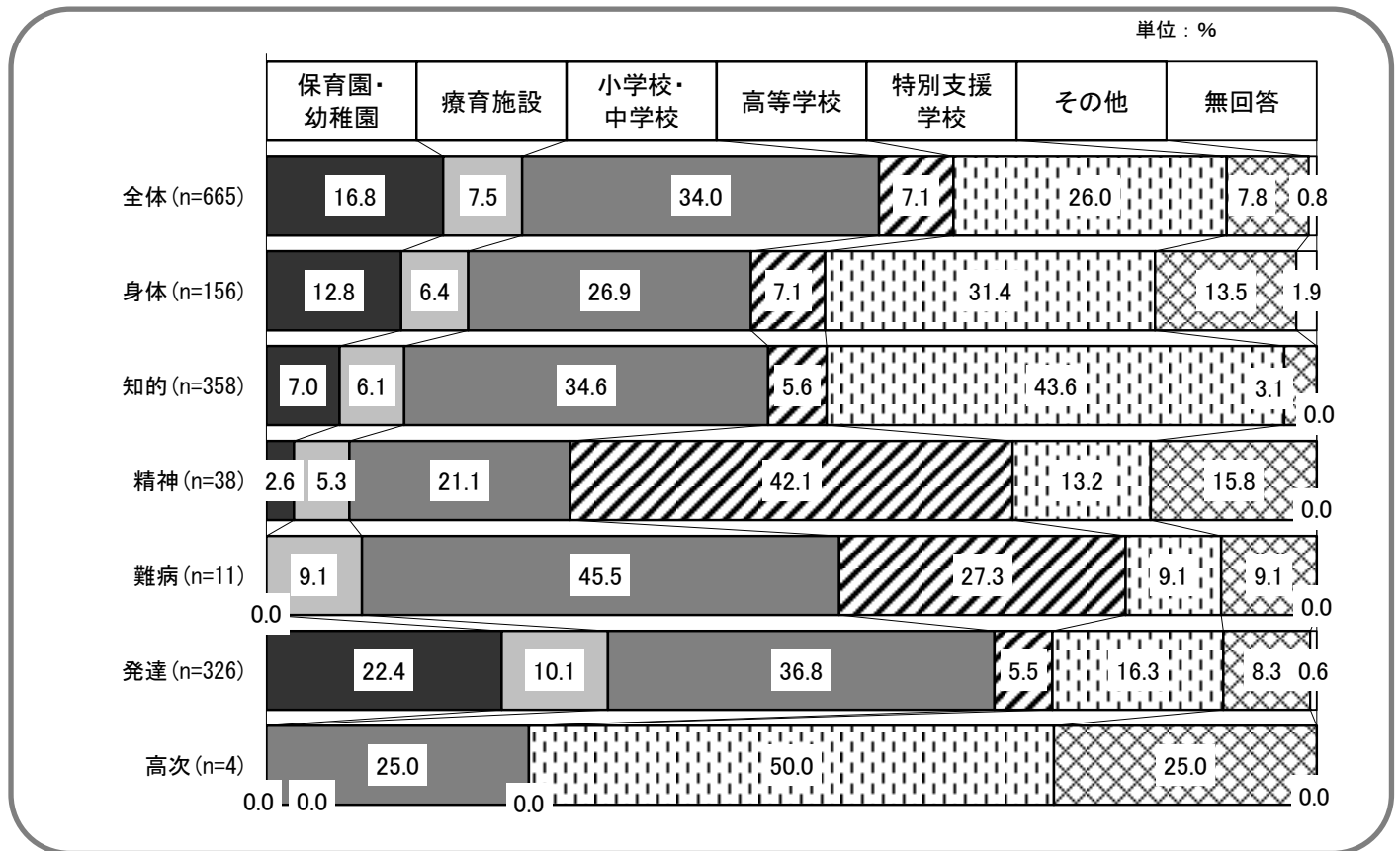
分類別にみると、[知的]では「訓練を受けるために施設に通っている」との回答が、[難病]、[発達]では、「会社などで働いている、自分で商売などを行っている」との回答が最も高くなっています。



<18歳未満>

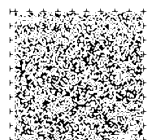
●[身体]、[知的]、[高次]で「特別支援学校」との回答が高い。

■障がいの分類別結果



18歳未満では、回答者全体では「小学校・中学校」との回答が34.0%で最も高く、次いで「特別支援学校」(26.0%)、「保育園・幼稚園」(16.8%)となっています。

分類別にみると、[身体]、[知的]、[高次]で「特別支援学校」との回答が、[精神]では[難病]との回答が、それぞれ最も高くなっています。



(2) 仕事をする上での不安や不満 (18歳以上 問15-2)

問 「(1) 平日日中の過ごし方」で「会社などで働いている、自分で商売などを行っている」とお答えの方へ) 仕事をする上で不安や不満はありますか。(〇はいくつでも)

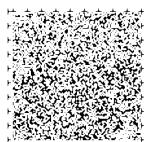
●どの分類でも「給料・賃金が少ない」が高い。

■障がいの分類別結果 (上位5回答と「特に不安や不満はない」、単位: %)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=616)	給料・賃金が少ない 33.1	障がい状態の変化や体調不良 23.7	職場の人たちとの人間関係がむずかしい 13.0	雇用形態が不安定 11.9	通勤がたいへん 9.7	特に不安や不満はない 31.0
身体 (n=272)	給料・賃金が少ない 27.9	障がい状態の変化や体調不良 23.2	通勤がたいへん 9.9	職場の人たちとの人間関係がむずかしい 9.2	障がいへの理解が十分でない 8.8	特に不安や不満はない 33.8
知的 (n=102)	給料・賃金が少ない 35.3	職場の人たちとの人間関係がむずかしい 21.6	雇用形態が不安定 12.7	通勤がたいへん 11.8	昇給や昇進に差がある／障がいへの理解が十分でない 8.8	特に不安や不満はない 32.4
精神 (n=98)	給料・賃金が少ない 51.0	障がい状態の変化や体調不良 36.7	職場の人たちとの人間関係がむずかしい 29.6	雇用形態が不安定 21.4	障がいへの理解が十分でない 18.4	特に不安や不満はない 14.3
難病 (n=171)	給料・賃金が少ない 30.4	障がい状態の変化や体調不良 25.7	雇用形態が不安定 9.4	通勤がたいへん 8.2	職場の人たちとの人間関係がむずかしい／昇給や昇進に差がある 5.3	特に不安や不満はない 35.1
発達 (n=29)	給料・賃金が少ない 62.1	雇用形態が不安定 41.4	障がい状態の変化や体調不良／職場の人たちとの人間関係がむずかしい 37.9		相談する人や場所がない／通勤がたいへん／障がいへの理解が十分でない 27.6	特に不安や不満はない 10.3
高次 (n=7)	給料・賃金が少ない 28.6	仕事がむずかしい／障がい状態の変化や体調不良／仕事内容が単調すぎる／昇給や昇進に差がある 14.3				特に不安や不満はない 14.3

仕事をする上での不安や不満については、いずれの分類においても「給料・賃金が少ない」との回答が最も高く、全体でも33.1%と最も高くなっています。

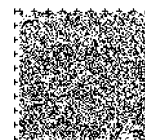
一方、[精神]や[発達]では「特に不安や不満はない」との回答の割合が他よりも低く、不安を抱えている方が多いことがうかがえます。(→詳細な調査結果は173ページ)



■年齢別に見た傾向（単位：％）

	給料・賃金が少ない	仕事がむずかしい	障がい状態の変化や体調不良	相談する人や場所がない	仕事内容が単調すぎる	自分に合った内容の仕事がない	職場の人たちとの人間関係がむずかしい	雇用形態が不安定	トイレなど障がい者用の設備が十分でない	昇給や昇進に差がある	通勤がたいへん	障がいへの理解が十分でない	その他	特に不安や不満はない	無回答
全体 (n=616)	33.1	3.6	23.7	6.3	3.6	3.6	13.0	11.9	2.3	6.7	9.7	9.6	5.2	31.0	3.1
18～39歳 (n=166)	36.7	2.4	24.7	11.4	6.0	4.2	20.5	16.9	1.2	9.0	9.0	15.1	6.6	22.9	3.0
40～64歳 (n=321)	33.6	5.0	25.2	5.9	3.4	4.0	13.1	11.8	1.9	7.2	11.8	9.3	4.4	32.1	1.9
65歳以上 (n=126)	26.2	1.6	19.0	0.8	0.8	1.6	2.4	4.8	4.8	2.4	5.6	3.2	5.6	38.9	6.3

年齢別の傾向を見ると、[18～39歳]では、「特にない」との回答が22.9%と全体と比べて低く、それに伴い、「職場の人たちとの人間関係がむずかしい」、「雇用形態が不安定」、「障がいへの理解が十分でない」、「相談する人や場所がない」等の項目では高くなっています。

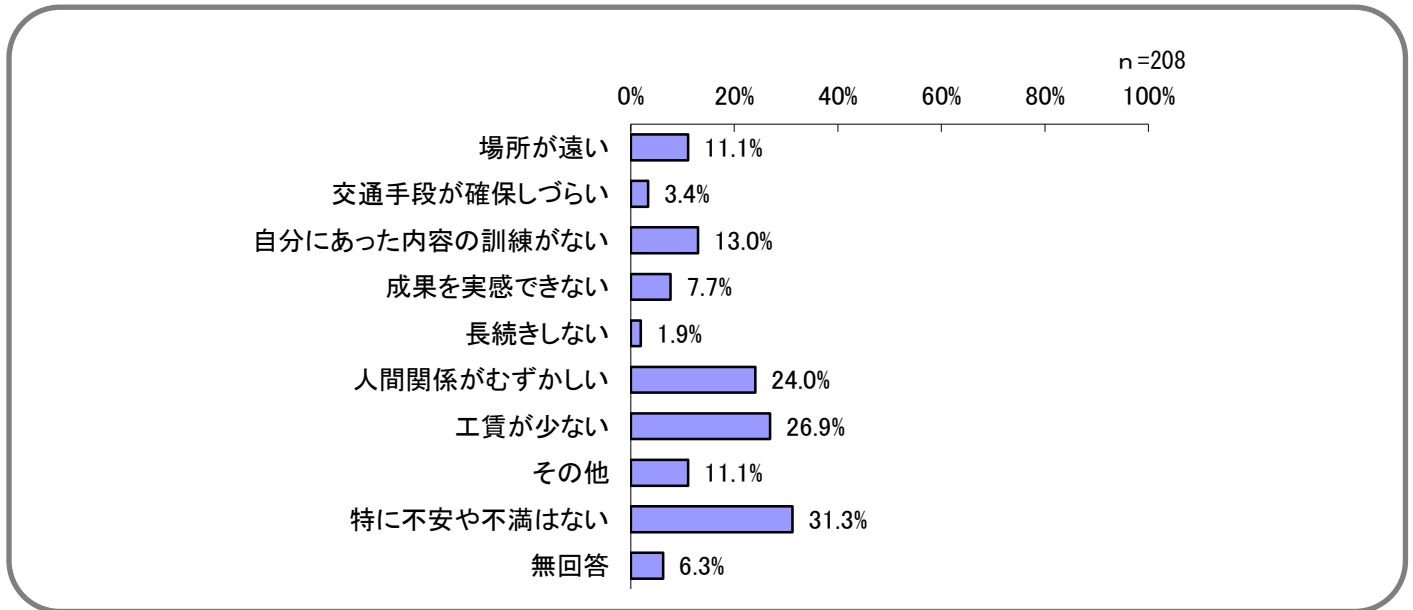


(3) リハビリや訓練で不安・不満なこと (18歳以上 問 15-3)

問 (「(1) 平日日中の過ごし方」で「訓練を受けるために施設に通っている」とお答えの方へ) 訓練を受ける上で不安や不満はありますか。(〇はいくつでも)

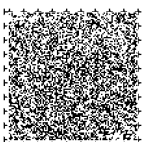
●「特に不安や不満がない」が最も高いが、他では「工賃が少ない」が高い。

■ 調査結果



訓練を受ける上での不安や不満については、「特に不安や不満はない」との回答が 31.3% で最も高くなっています。

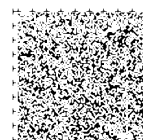
他の選択肢では、「工賃が少ない」との回答が 26.9% で最も高く、次いで「人間関係がむずかしい」、「自分にあつた内容の訓練がない」などが続いています。



■ 地区別に見た傾向（単位：％）

	場所が遠い	交通手段が確保しづらい	自分にあつた内容の訓練がない	成果を実感できない	長続きしない	人間関係がむずかしい	工賃が少ない	その他	特に不安や不満はない	無回答
全体 (n=208)	11.1	3.4	13.0	7.7	1.9	24.0	26.9	11.1	31.3	6.3
大森地域 (n=60)	8.3	3.3	13.3	6.7	1.7	30.0	26.7	13.3	28.3	8.3
調布地域 (n=44)	13.6	0.0	13.6	2.3	0.0	11.4	27.3	15.9	31.8	0.0
蒲田地域 (n=67)	13.4	6.0	11.9	13.4	3.0	31.3	23.9	7.5	31.3	9.0
糀谷・羽田地 域(n=28)	7.1	3.6	10.7	7.1	3.6	10.7	32.1	3.6	42.9	7.1

地区別に見た傾向を見ると、回答者数は少ないものの、「人間関係がむずかしい」については[大森地域]や[蒲田地域]が、「成長を実感できない」については[蒲田地域]が、「工賃が少ない」については[糀谷・羽田地域]がそれぞれ高くなっています。

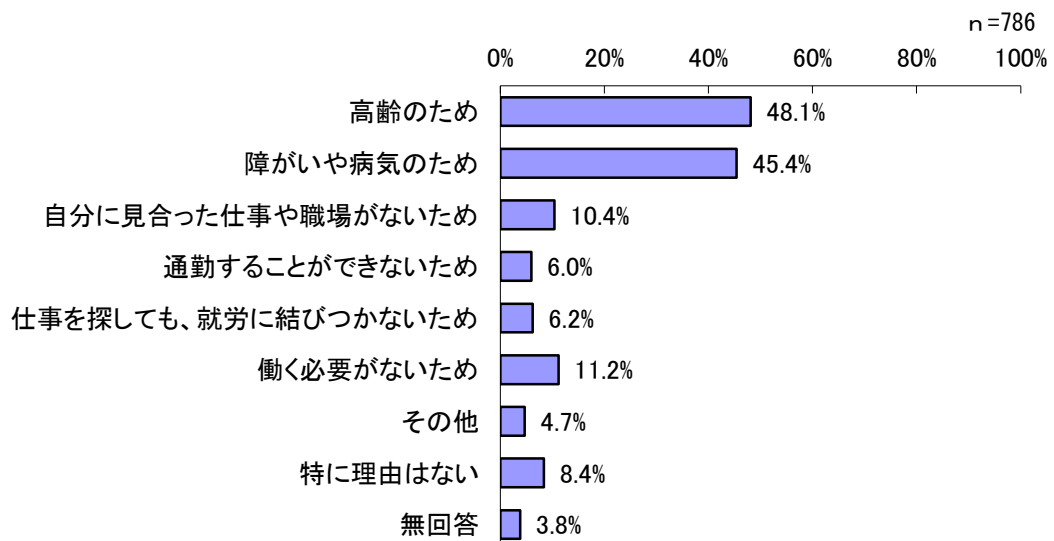


(3) 就労していない理由 (18歳以上 問 15-3)

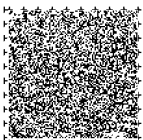
問 「(1) 平日日中の過ごし方」で「家にいて何もしていない」とお答えの方へ) 何もしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

● 「高齢」「障がいや病気」との回答が非常に高い。

■ 調査結果



「家にいて何もしていない」方に、その理由をたずねたところ、「高齢のため」との回答48.1%で最も高く、次いで「障がいや病気のため」、「働く必要がないため」などが続いています。

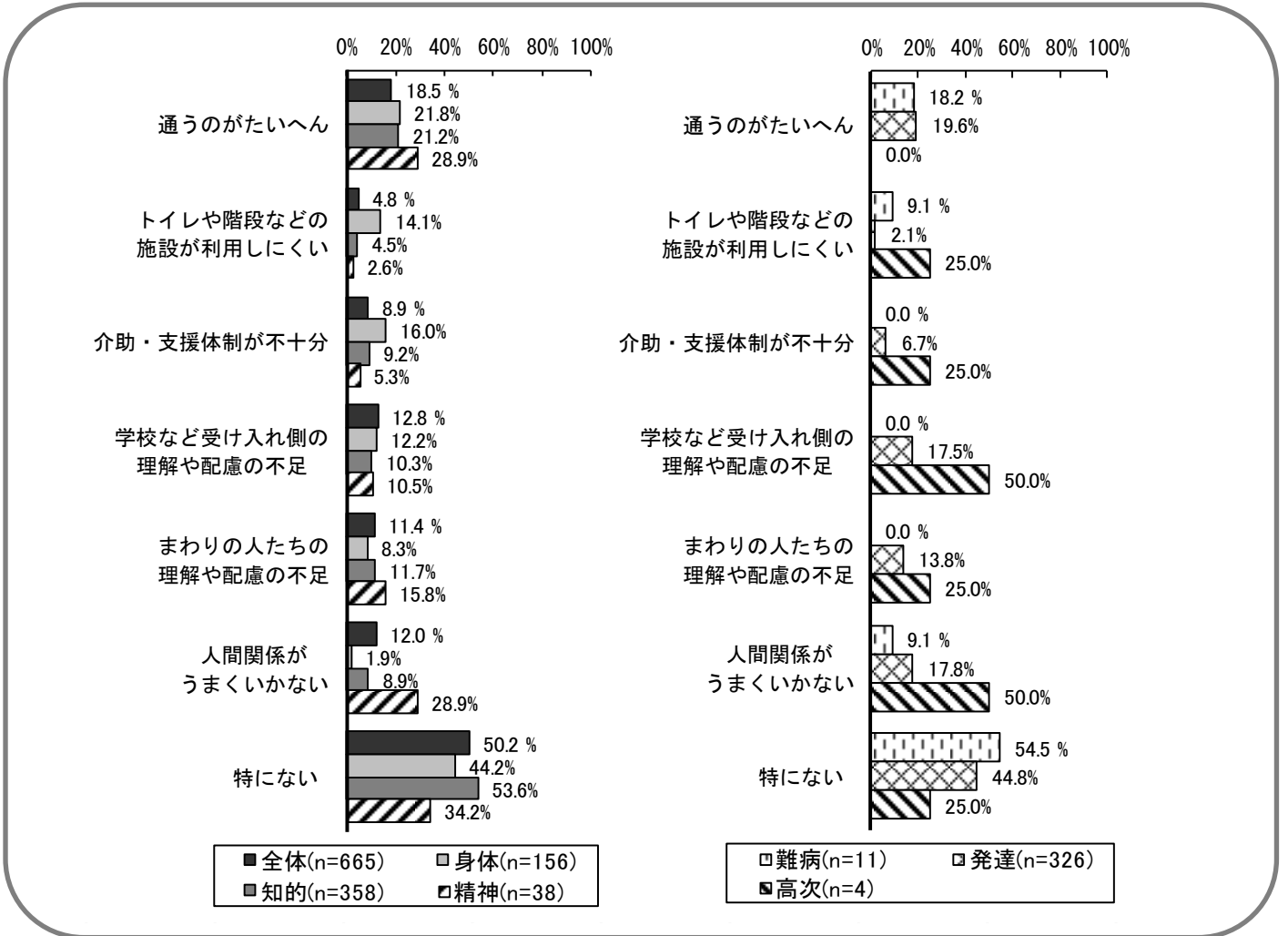


(4) 通園・通学での困りごと (18歳未満 問12)

問 あなたは、通園や通学で困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

●「特にない」が最も高いが、それ以外では「通うのが大変」、「理解や配慮の不足」の順。

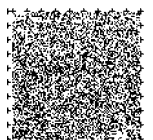
■障がいの分類別結果 (グラフは主な選択肢)



通学・通園の困りごとについては、全体では「特にない」との回答が50.2%と高くなっています。

他の選択肢では、「通うのがたいへん」が18.5%で最も高く、「学校など受け入れ側の理解や配慮の不足」、「人間関係がうまくいかない」などが続いています。

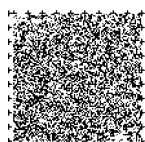
(→詳細な調査結果は188ページ)



■年齢別に見た傾向（単位：％）

	通うのがたいへん	設 が 利 用 し づ く い	ト イ シ や 階 段 な ど の 施	介 助 ・ 支 援 体 制 が 不 十 分	理 解 や 配 慮 の 不 足	学 校 な ど 受 け 入 れ 側 の 理 解 や 配 慮 の 不 足	ま わ り の 人 た ち の 理 解 や 配 慮 の 不 足	な い	人 間 関 係 が う ま く い か	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体 (n=665)	18.5	4.8	8.9	12.8	11.4	12.0	6.0	50.2	3.0			
0～2歳 (n=31)	16.1	9.7	9.7	3.2	16.1	3.2	9.7	38.7	9.7			
3～5歳 (n=141)	16.3	5.0	8.5	19.1	12.1	11.3	7.8	48.9	2.1			
6～11歳 (n=225)	19.6	4.0	11.1	14.7	9.3	12.4	4.0	47.1	4.0			
12～14歳 (n=104)	15.4	5.8	10.6	13.5	16.3	15.4	5.8	51.9	3.8			
15～17歳 (n=154)	19.5	4.5	3.9	5.2	9.7	10.4	6.5	58.4	0.6			

年齢別の傾向を見ると、[3～5歳]では、「学校など受け入れ側の理解や配慮の不足」が19.1%と高くなっています。



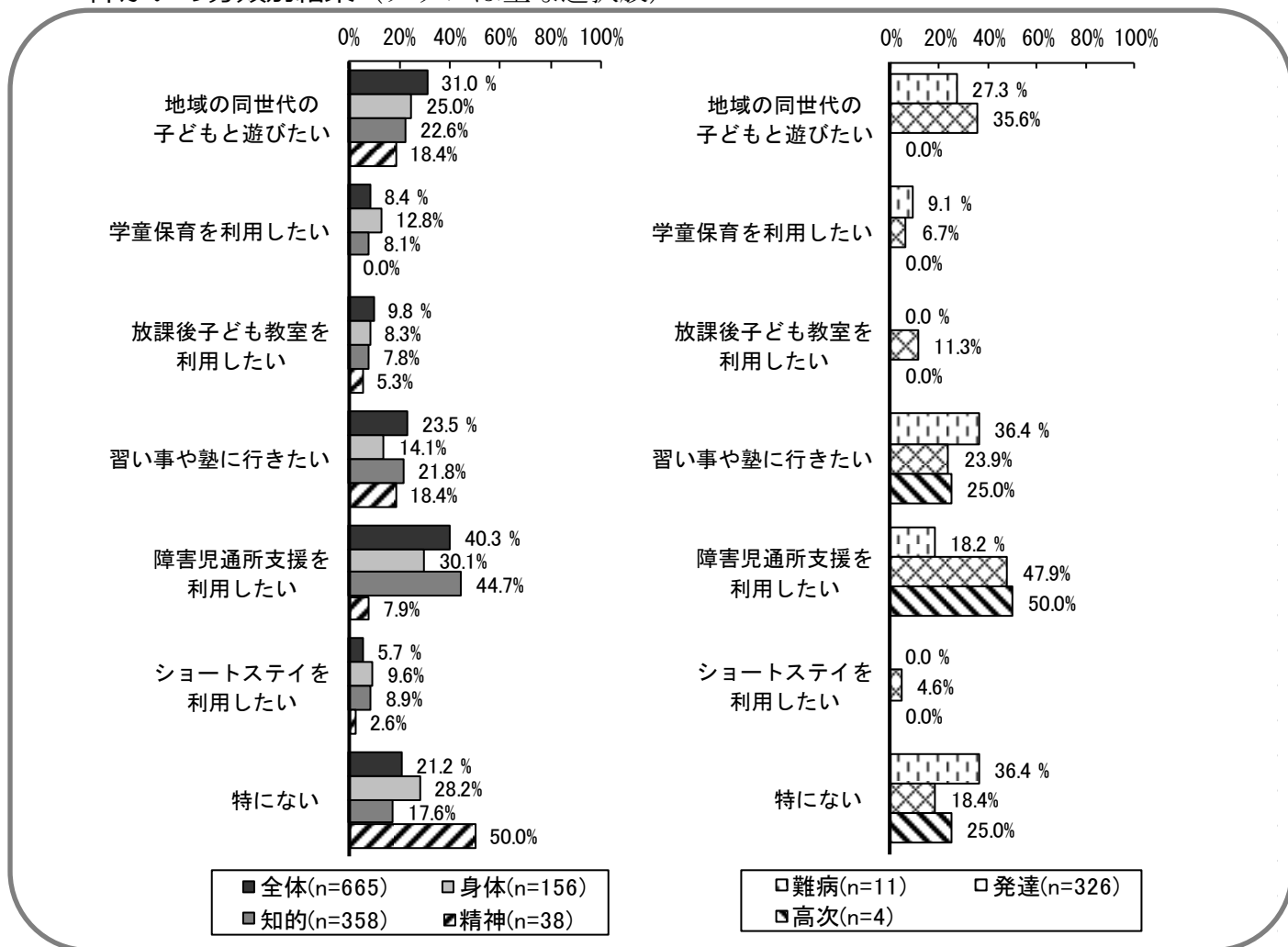
(5) 放課後等の過ごし方 (18歳未満 問13)

問 あなたは、放課後や学校休業日などの時間をどのように過ごしたいですか。

(○はいくつでも)

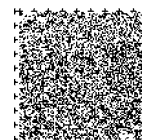
●「障害児通所支援」、「同世代の子どもと遊びたい」、「習い事や塾に行きたい」の順。

■ 障がいの分類別結果 (グラフは主な選択肢)



放課後や学校休業日などの過ごし方は、全体では「障害児通所支援を利用したい」が40.3%で最も高く、次いで、「地域の同世代の子どもと遊びたい」、「習い事や塾に行きたい」などとなっています。

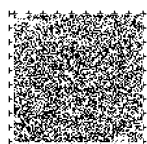
(→詳細な調査結果は189ページ)



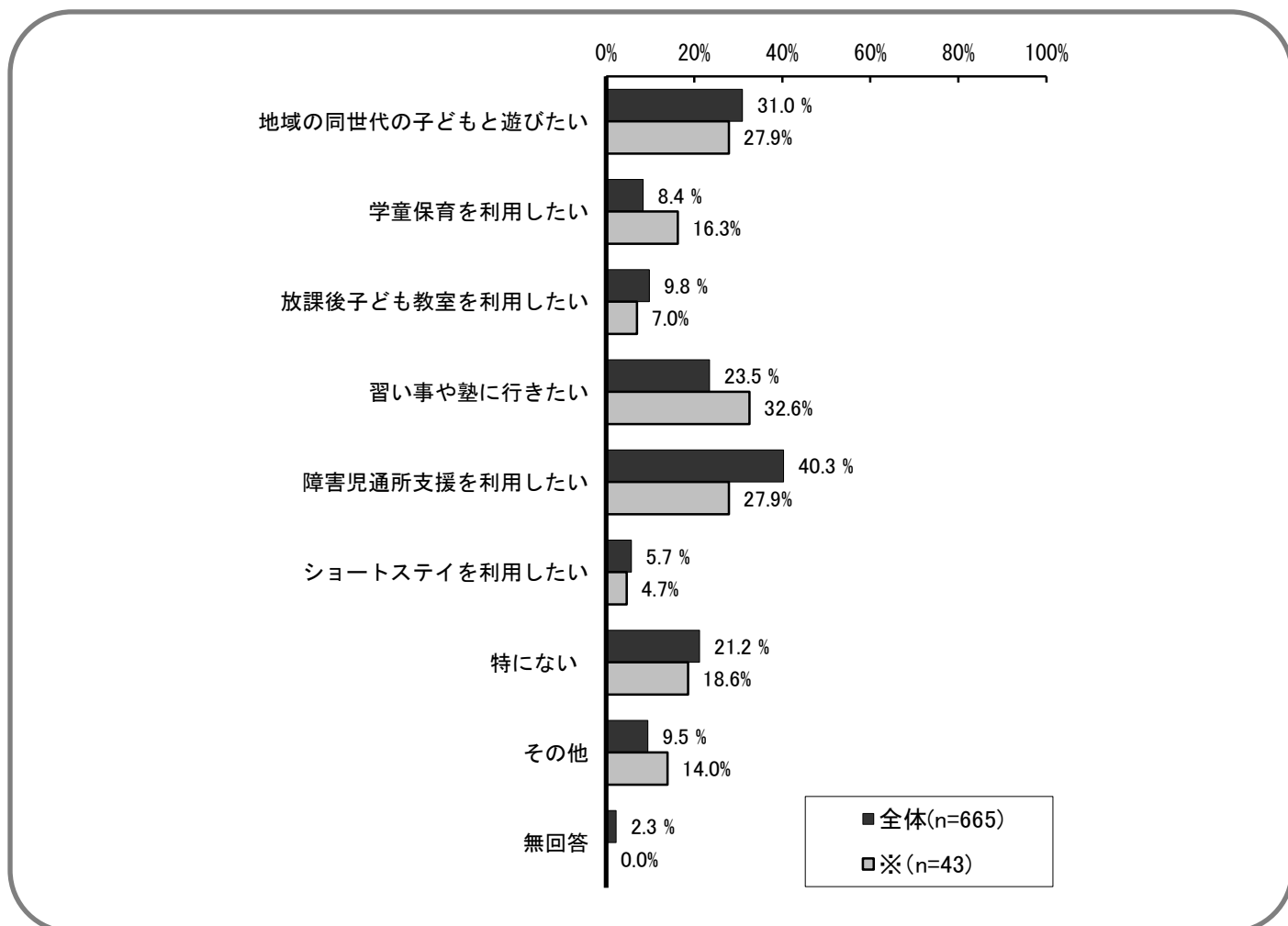
■年齢別に見た傾向（単位：％）

	地域の同世代の子と遊びたい	学童保育を利用したい	放課後子ども教室を利用したい	習い事や塾に行きたい	障害児通所支援を利用したい	ショートステイを利用したい	その他	特にない	無回答
全体 (n=665)	31.0	8.4	9.8	23.5	40.3	5.7	9.5	21.2	2.3
0～2歳 (n=31)	29.0	3.2	3.2	12.9	45.2	6.5	6.5	22.6	6.5
3～5歳 (n=141)	42.6	14.9	12.8	28.4	53.2	2.1	7.1	12.8	2.8
6～11歳 (n=225)	40.9	12.9	16.4	26.7	45.8	4.0	4.9	13.3	1.8
12～14歳 (n=104)	23.1	2.9	2.9	22.1	39.4	10.6	12.5	22.1	1.0
15～17歳 (n=154)	11.7	1.3	3.2	16.9	21.4	8.4	16.9	39.0	1.9

年齢別の傾向を見ると、[3～5歳]では「地域の同世代の子と遊びたい」と「障害児通所支援を利用したい」が、[6～11歳]では「地域の同世代の子と遊びたい」と「放課後子ども教室を利用したい」との回答が高く、一方で、この2つの分類では「特にない」との回答が低くなっており、幼児期から小学生の時期での意向が高くなっています。

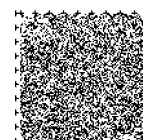


■ 「障害福祉サービス等を『利用していない』」(問 16) かつ「障害福祉サービス等の利用を『今後増やしたい』」(問 21) 人の傾向



※ 「4 サービスの利用について (2) 障害福祉サービス等の利用 (18歳未満 問16)」で「利用していない」かつ、「4 サービスの利用について (7) 障害福祉サービス等の今後の利用意向 (18歳未満 問21)」で「利用を増やしたい」と回答した人

「4 サービスの利用について (2) 障害福祉サービス等の利用 (18歳未満 問16)」(56 ページ) で「利用していない」人で、「4 サービスの利用について (7) 障害福祉サービス等の今後の利用意向 (18歳未満 問21)」(74 ページ) で「利用を増やしたい」と回答した人の、放課後や学校休業日の過ごし方の傾向を見ると、「習い事や塾に行きたい」が 32.6%で最も高くなっています。

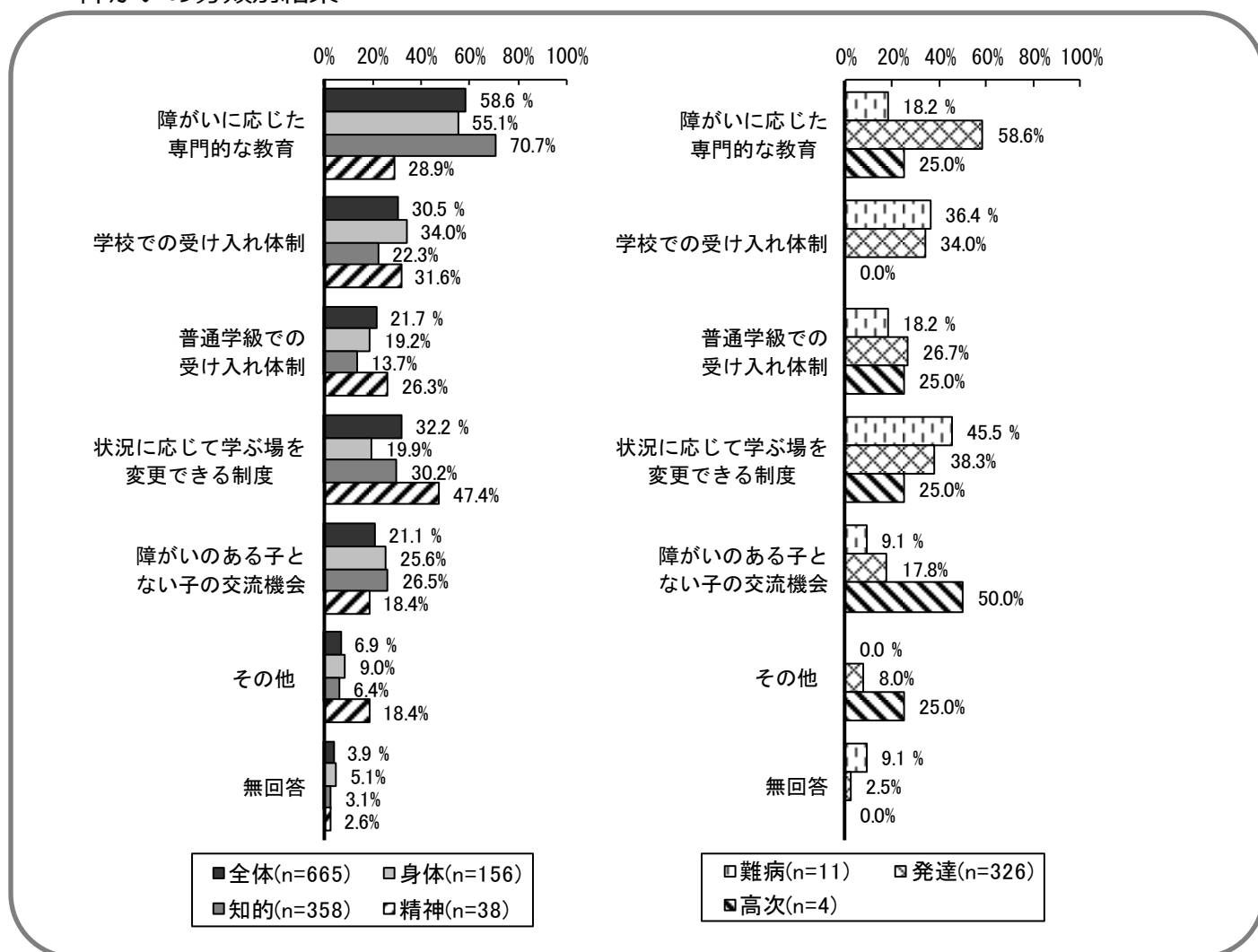


(6) 教育で充実してほしいこと (18歳未満 問14)

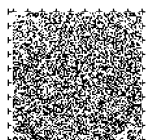
問 あなたが、教育の場面において、特に充実させてほしいのはどのようなことですか。
(○は2つまで)

●全体では「障がいに応じた専門的な教育」が、[精神]では「学ぶ場を変更できる」が高い。

■障がいの分類別結果



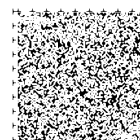
教育で充実させてほしいことについては、全体では「障がいに応じた専門的な教育」が58.6%で最も高くなっており、次いで、「状況に応じて学ぶ場を変更できる制度」、「学校での受け入れ態勢」などとなっています。



■年齢別に見た傾向（単位：％）

	障がいに応じた専門的な教育	学校での受け入れ体制	普通学級での受け入れ体制	状況に応じて学ぶ場を変更できる制度	障がいのある子とない子の交流機会	その他	無回答
全体 (n=665)	58.6	30.5	21.7	32.2	21.1	6.9	3.9
0～2歳 (n=31)	54.8	29.0	25.8	41.9	19.4	6.5	0.0
3～5歳 (n=141)	58.9	51.1	36.2	36.9	14.2	7.1	2.1
6～11歳 (n=225)	57.3	27.6	21.8	31.6	24.0	6.2	4.0
12～14歳 (n=104)	69.2	22.1	10.6	27.9	25.0	6.7	2.9
15～17歳 (n=154)	53.2	21.4	14.9	29.9	22.1	8.4	6.5

年齢別の傾向を見ると、[0～2歳]では「状況に応じて学ぶ場を変更できる制度」が、[3～5歳]では「学校での受け入れ態勢」と「普通学級での受け入れ態勢」が、[12～14歳]では「障害に応じた専門的な教育」がそれぞれ高くなっています。



4 サービスの利用について

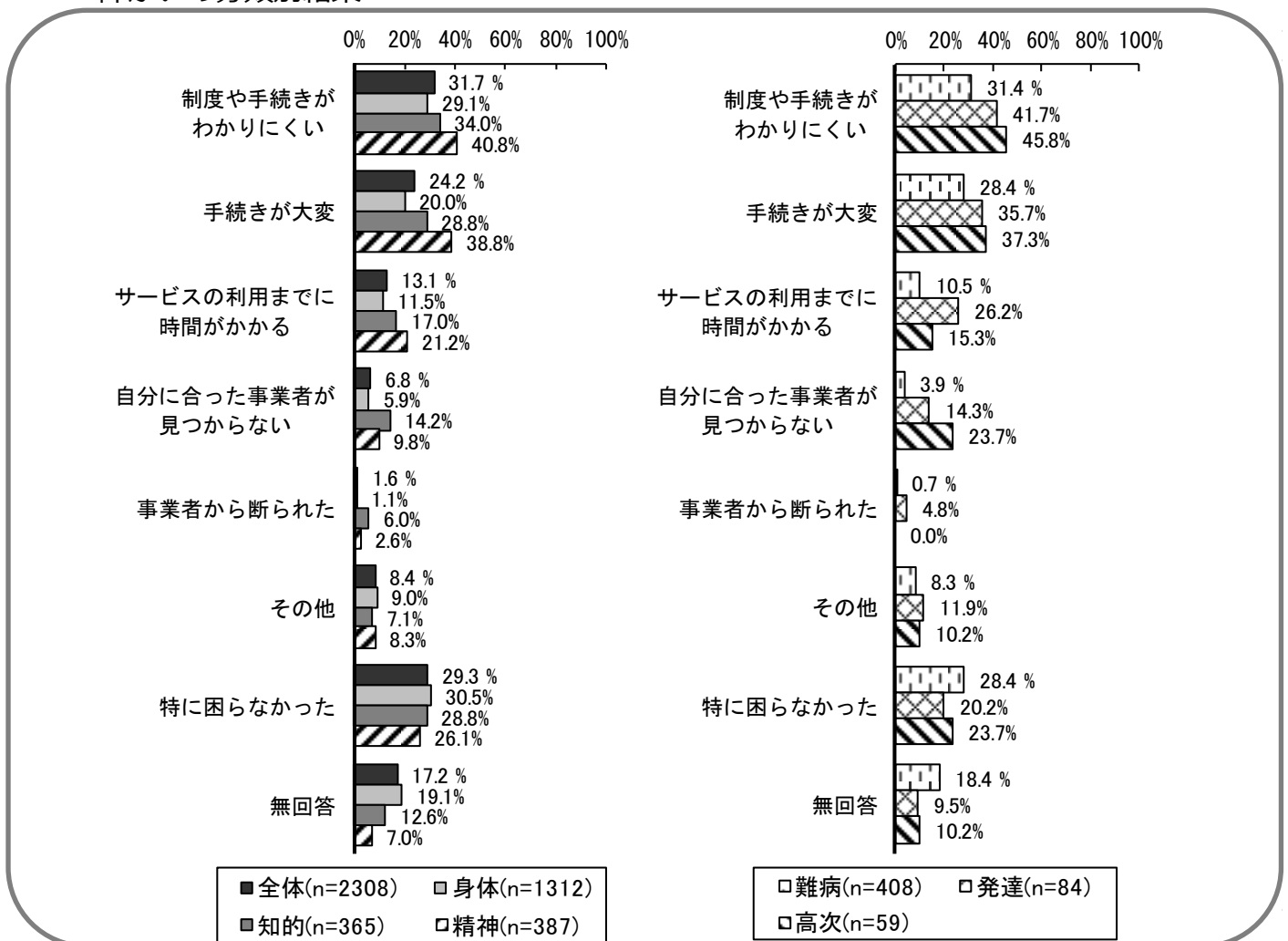
(1) サービスを受けるまでに困ったこと（18歳以上 問16/18歳未満 問15）

問 あなたが、障がい福祉のサービスを受けようと思った時に、実際に受けるまでに困ったことはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

<18歳以上>

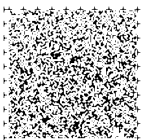
●困りごとの中では「制度や手続きが分かりにくい」が高い。

■障がいの分類別結果



サービス利用時の困りごととしては、全体では「制度や手続きが分かりにくい」が31.7%で最も高く、次いで「特に困らなかった」、「手続きが大変」などとなっています。

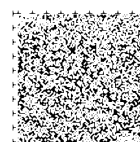
分類別にみると、[精神]や[難病]、[発達]、[高次]では「手続きが大変」との回答が2番目に高くなっています。



■年齢別に見た傾向（単位：％）

	制度や手続きがわかりにくい	手続きが大変	サービスの利用までに時間がかかる	自分に合った事業者が見つからない	事業者から断られた	その他	特に困らなかった	無回答
全体 (n=2308)	31.7	24.2	13.1	6.8	1.6	8.4	29.3	17.2
18～39歳 (n=393)	42.0	34.4	21.9	10.9	4.3	8.4	25.2	7.9
40～64歳 (n=772)	33.8	28.6	12.7	7.6	1.3	9.2	30.4	12.4
65歳以上 (n=1123)	27.1	17.5	10.2	4.7	0.9	7.9	30.2	23.2

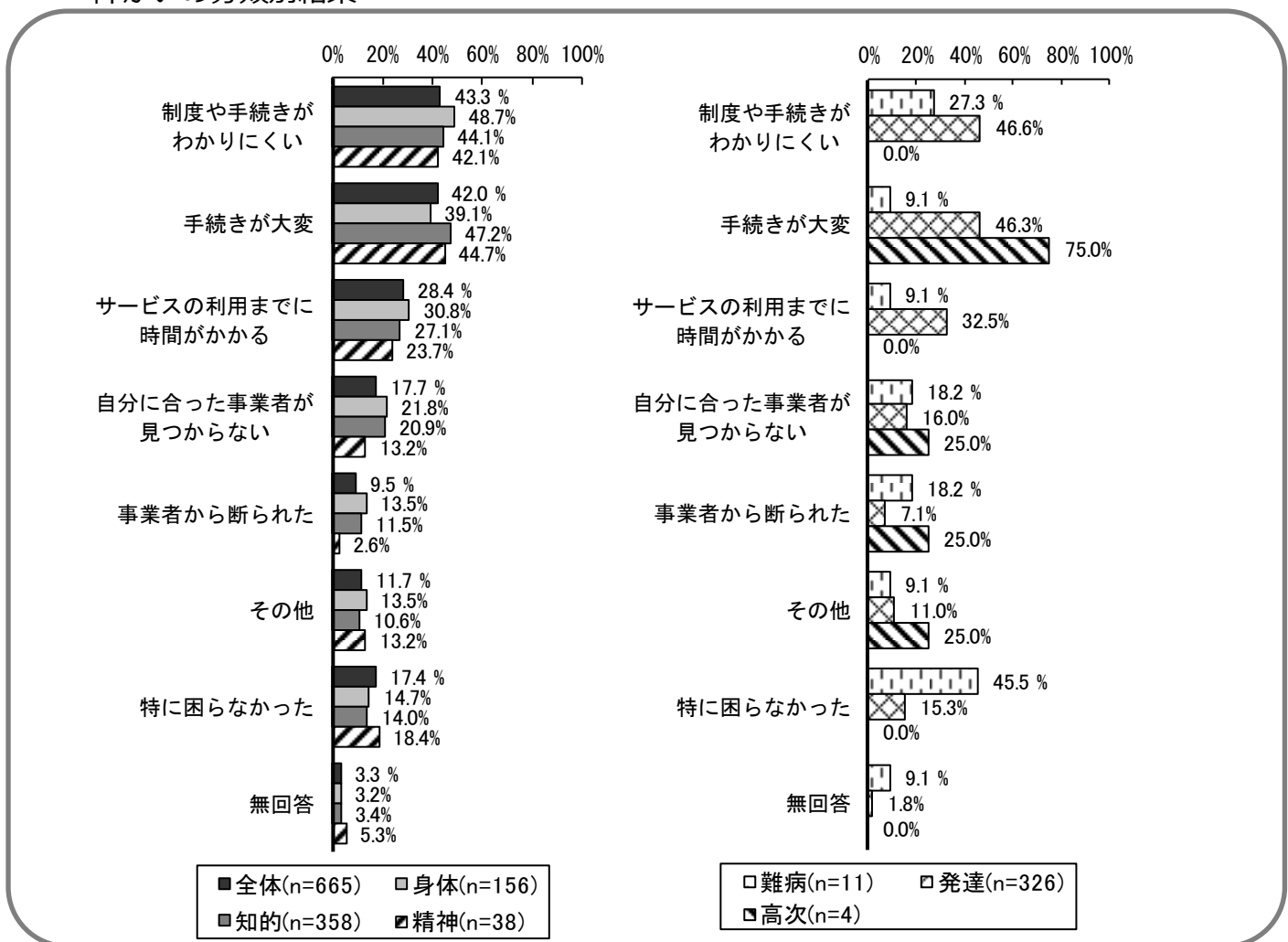
年齢別の傾向を見ると、[18～39歳]では、「制度や手続きがわかりにくい」、「手続きが大変」、「サービスの利用までに時間がかかる」、「自分に合った事業者が見つからない」との回答が全体と比べても、また、いずれもどの年代でも最も高くなっています。



<18歳未満>

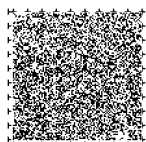
●18歳以上に比べ「特に困らなかった」との回答が低い。

■障がいの分類別結果



18歳未満では、全体では「制度や手続きが分かりにくい」が43.3%で最も高く、次いで、「手続きが大変」、「サービスの利用までに時間がかかる」などとなっています。

18歳以上では2番目に高かった「特に困らなかった」との回答は、18歳未満では17.4%で5番目と低くなっており、一方で「制度や手続きが分かりにくい」、「手続きが大変」、「利用までに時間がかかる」、「事業者が見つからない」、「事業者から断られた」の5つの選択肢ではいずれも18歳以上よりも高い回答となっています。



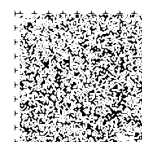
■年齢別に見た傾向（単位：％）

	制度や手続きがわかりにくい	手続きが大変	サービスの利用までに時間がかかる	自分に合った事業者が見つからない	事業者から断られた	その他	特に困らなかった	無回答
全体 (n=665)	43.3	42.0	28.4	17.7	9.5	11.7	17.4	3.3
0～2歳 (n=31)	45.2	41.9	48.4	29.0	3.2	32.3	9.7	0.0
3～5歳 (n=141)	47.5	35.5	41.1	15.6	8.5	9.2	14.2	2.8
6～11歳 (n=225)	48.9	48.0	28.4	18.2	11.1	10.2	14.2	2.2
12～14歳 (n=104)	35.6	44.2	20.2	21.2	6.7	9.6	26.0	2.9
15～17歳 (n=154)	35.1	37.0	18.2	13.6	9.7	13.6	21.4	5.8

年齢別の傾向を見ると、[0～2歳]では、「サービスの利用までに時間がかかる」、「自分に合った事業者が見つからない」との回答が全体と比べて高くなっています。「サービスの利用までに時間がかかる」については[3～5歳]でも高くなっています。

[6～11歳]では「制度や手続きがわかりにくい」と「手続きが大変」との回答で全体と比べて高くなっています。

[12歳以上]では、「特に困らなかった」との回答が2割を超えており、それに伴い、「制度や手続きがわかりにくい」や「サービスの利用までに時間がかかる」についての回答は全体よりも低くなっています。



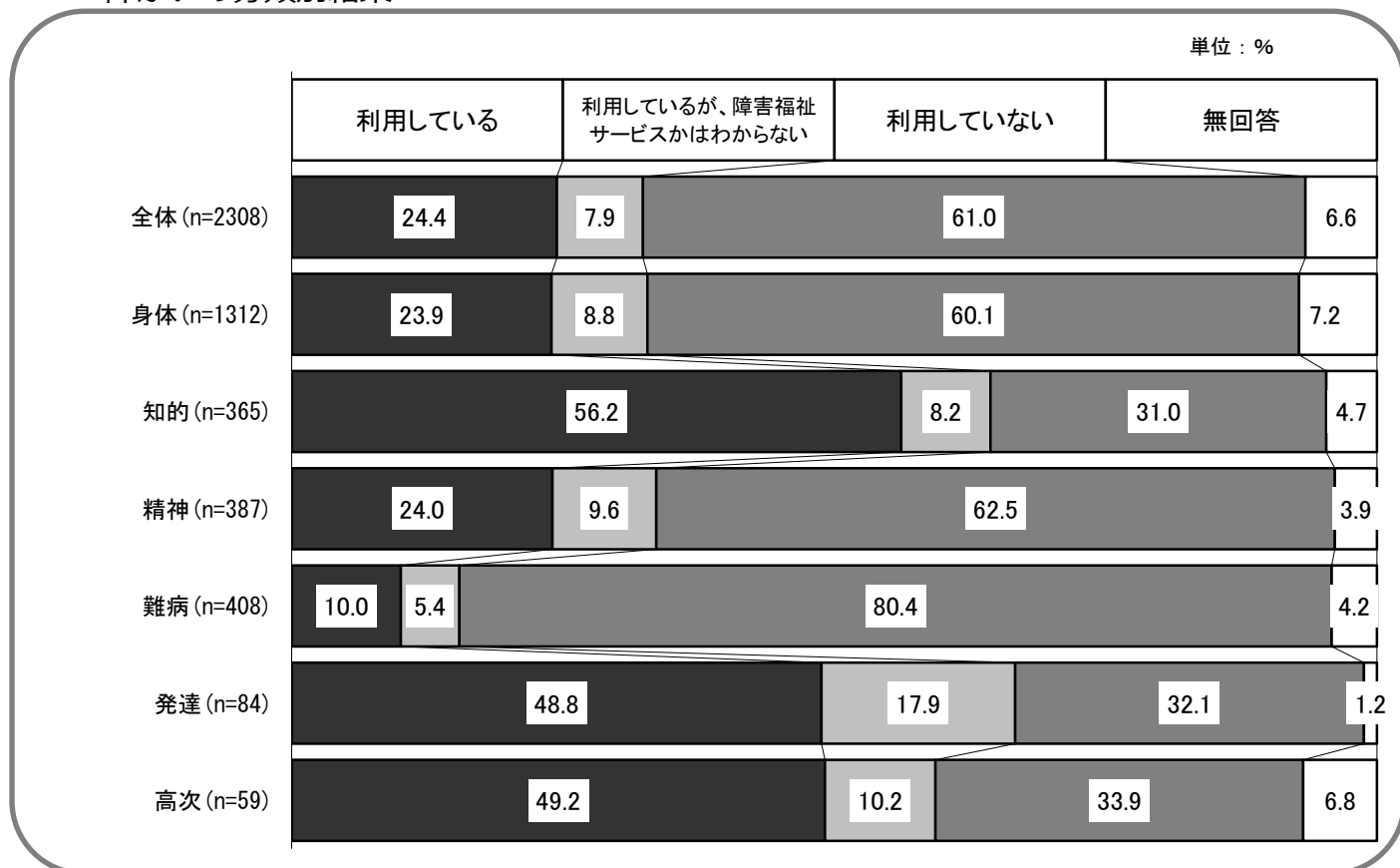
(2) 障害福祉サービス等の利用の有無 (18歳以上 問17/18歳未満 問16)

問 あなたは、「障害福祉サービス等」を利用していますか。(○は1つ)

<18歳以上>

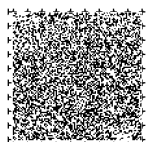
●[知的]、[発達]、[高次]での「利用している」が高い。

■ 障がいの分類別結果



障害福祉サービスの利用については、全体では「利用している」との回答が24.4%となっています。

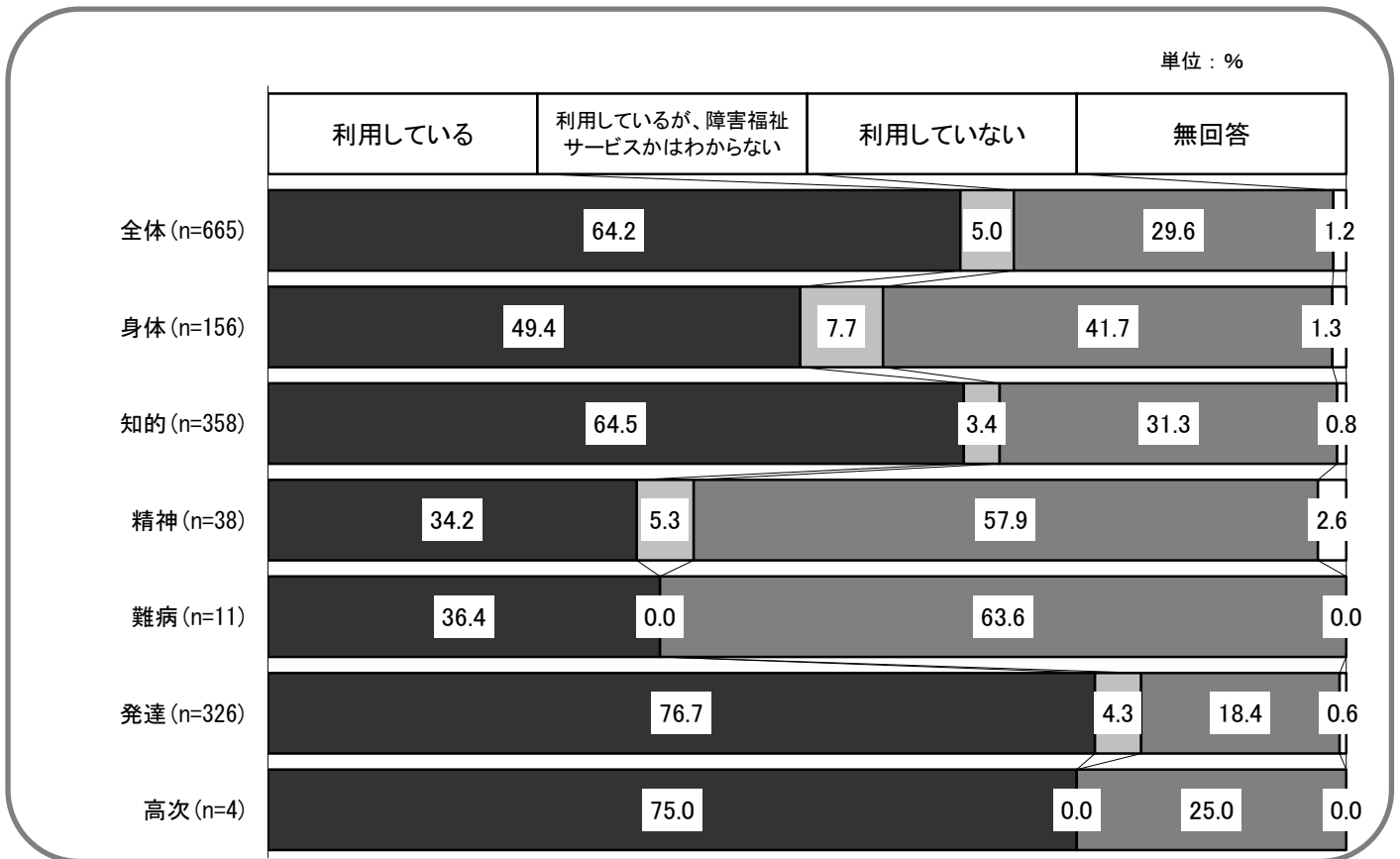
分類別にみると、[知的]では、「利用している」との回答が56.2%で最も高く、[発達]や[高次]でも同様の傾向となっています。



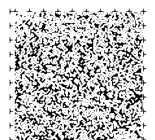
<18歳未満>

●18歳以上と比べ「利用している」との回答が高い。

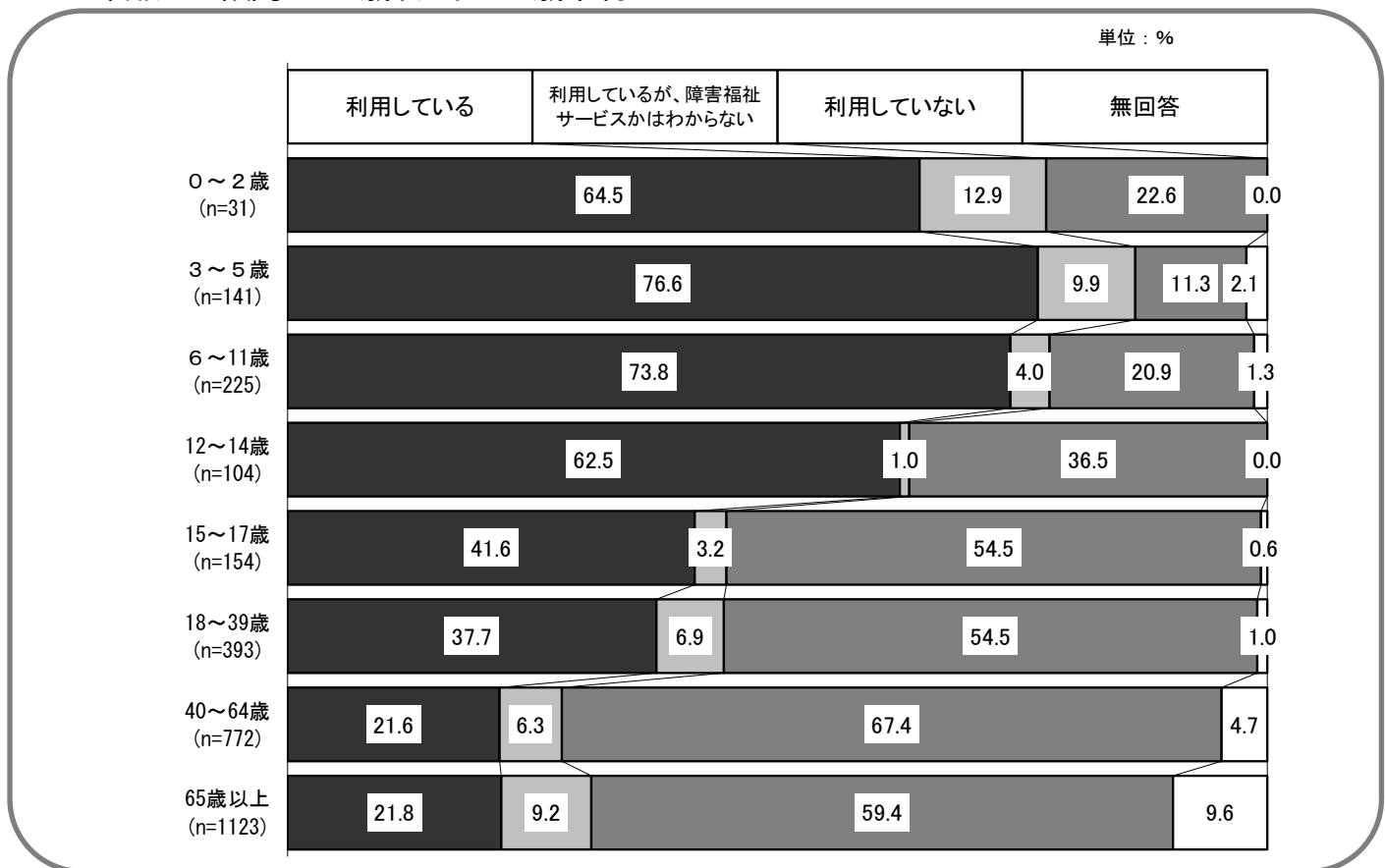
■障がいの分類別結果



18歳未満では、全体では「利用している」との回答は64.2%で最も高くなっています。分類別にみると、[発達]では「利用している」との回答は76.7%で全体よりも高い一方、[身体]との回答は49.4%となっています。

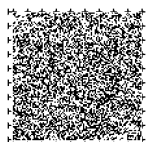


◆年齢別の傾向〈18歳以上／18歳未満〉



上記の結果は「18歳以上」と「18歳未満」での「(2) 障害福祉サービス等の利用」を年齢順に並べたものです。

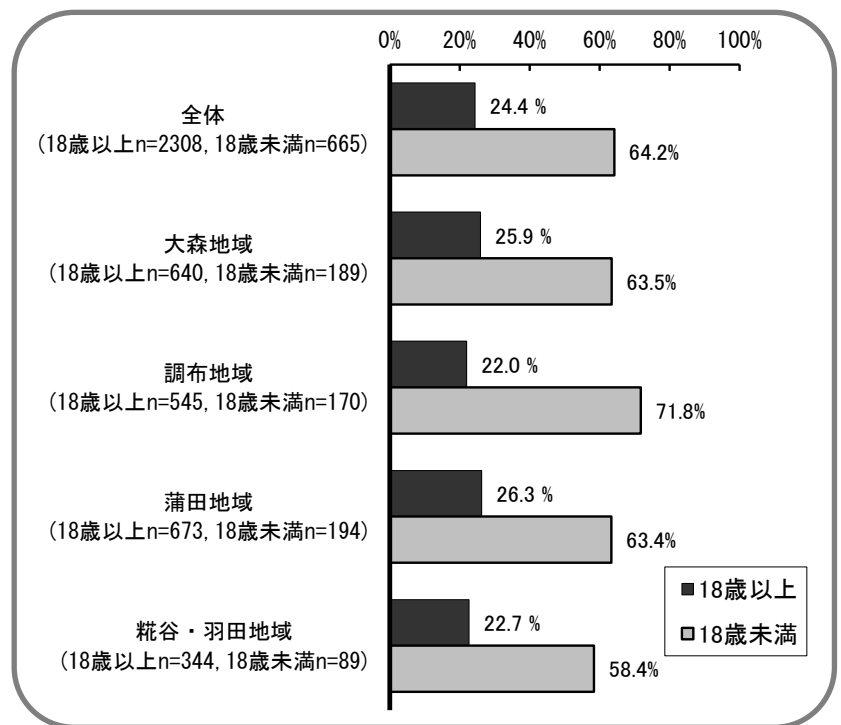
このようにして見ると、「利用している」については[3～5歳]がもっとも高く、[40～64歳]までは年齢が上がるにつれて利用している人の割合が少なくなっています。



◆「利用している人」の地域別の傾向<18歳以上/18歳未満>

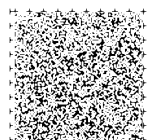
「利用している」と回答した人の、地域別の傾向を見ると、「18歳未満」では、[調布地域]が71.8%で全体に比べ高く、[糀谷・羽田地域]は58.4%と低くなっています。

一方、「18歳以上」では、全体との差は小さいものの、[調布地域]で「利用している」との回答は22.0%と、すべての地区で最も低くなっています。



(集計結果) (単位：%)

		利用している	なんらかのサービスを利用しているが、福祉サービス等かどうかはわからない	利用していない	無回答
18歳以上	全体 (n=2308)	24.4	7.9	61.0	6.6
	大森地域 (n=640)	25.9	7.3	60.6	6.1
	調布地域 (n=545)	22.0	7.2	64.6	6.2
	蒲田地域 (n=673)	26.3	7.3	60.3	6.1
	糀谷・羽田地域 (n=344)	22.7	10.2	58.7	8.4
18歳未満	全体 (n=665)	64.2	5.0	29.6	1.2
	大森地域 (n=189)	63.5	5.3	29.6	1.6
	調布地域 (n=170)	71.8	4.1	24.1	0.0
	蒲田地域 (n=194)	63.4	5.2	29.9	1.5
	糀谷・羽田地域 (n=89)	58.4	6.7	32.6	2.2



(3) どのようなサービスを利用しているか (18歳以上 問18/18歳未満 問17)

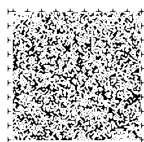
問 (「(2) 障害福祉サービス等の利用」で「利用している」または「利用しているが、障害福祉サービスかはわからない」とお答えの方へ) どのようなサービスを利用していますか。具体的にお書きください。

※調査結果について…分類については、障害福祉のサービスとして提供していることが明らかなもののみとしました。また、この調査報告書の表に限り縦軸(上から下にかけて)方向に、それぞれ回答者全体と、各年齢別の分類ごとの全体に対する割合を示しています。

<18歳以上>

◆障害福祉サービス等の年齢別結果 (単位：%)

	全体 (n=2308)	18~39歳 (n=393)	40~64歳 (n=772)	65歳以上 (n=1123)
<訪問系サービス>				
居宅介護	1.7	2.8	2.1	1.1
重度訪問介護	0.1	0.3	0.0	0.0
同行援護	1.3	0.0	1.8	1.3
行動援護	0.2	1.0	0.0	0.1
重度障害者等包括支援	0.0	0.0	0.0	0.0
<日中活動系サービス>				
生活介護	2.0	7.1	1.7	0.3
自立訓練(生活訓練)	0.2	0.8	0.3	0.0
自立訓練(機能訓練)	0.5	0.3	0.5	0.5
就労移行支援	0.6	2.3	0.5	0.0
就労継続支援A型	0.1	0.0	0.4	0.0
就労継続支援B型	2.2	7.4	2.5	0.2
療養介護	0.1	0.0	0.1	0.1
短期入所	2.1	7.1	2.6	0.1
<居住系サービス>				
共同生活援助(グループホーム)	1.3	4.1	1.3	0.4
施設入所支援	0.6	0.5	1.2	0.2
<相談支援>				
計画相談支援	2.6	8.4	2.6	0.4
地域相談支援(地域移行支援)	0.0	0.3	0.0	0.0
地域相談支援(地域定着支援)	0.0	0.3	0.0	0.0
障害児相談支援	0.0	0.0	0.0	0.0
<障害児通所支援>				
児童発達支援	0.0	0.0	0.0	0.0
医療型児童発達支援	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービス	0.0	0.0	0.0	0.0
保育所等訪問支援	0.0	0.0	0.0	0.0

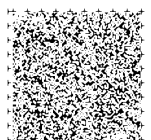


◆地域生活支援事業の年齢別結果（単位：％）

	全体 (n=2308)	18～39歳 (n=393)	40～64歳 (n=772)	65歳以上 (n=1123)
意思疎通支援事業	0.2	0.0	0.1	0.3
日常生活用具の給付	0.4	0.0	0.5	0.4
手話奉仕員養成研修	0.1	0.0	0.1	0.1
移動支援	2.8	9.2	2.6	0.6
地域活動支援センター	0.4	0.8	0.8	0.1
訪問入浴サービス	0.3	0.0	1.0	0.0
日中一時支援	0.5	1.8	0.5	0.0

◆その他の支援の年齢別結果（単位：％）

	全体 (n=2308)	18～39歳 (n=393)	40～64歳 (n=772)	65歳以上 (n=1123)
＜経済面への支援＞				
自立支援医療制度	0.3	0.5	0.6	0.0
その他、医療費への支援	0.3	0.0	0.4	0.3
補聴器への補助	0.2	0.0	0.1	0.3
補装具費の支給	0.2	0.0	0.0	0.4
生活保護	0.2	0.8	0.3	0.0
その他、経済的支援	0.2	0.0	0.5	0.1
交通面への支援（移送サービス等）	2.3	0.5	1.6	3.5
＜その他の記述＞				
就労（職場）定着支援	0.1	0.5	0.1	0.0
緊急一時保護	0.1	0.3	0.1	0.0
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の利用	0.2	0.0	0.4	0.1
その他、サービス名の記入	0.3	1.0	0.3	0.1
さぽーとぴあ	0.2	0.5	0.3	0.0
その他、施設名の記入	0.2	0.8	0.1	0.0



<18歳未満>

◆障害福祉サービス等（単位：％）

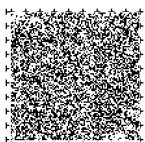
	全体 (n=665)	0～2歳 (n=31)	3～5歳 (n=141)	6～11歳 (n=225)	12～14歳 (n=104)	15～17歳 (n=154)
＜訪問系サービス＞						
居宅介護	3.3	3.2	1.4	4.0	5.8	2.6
行動援護	0.2	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0
＜日中活動系サービス＞						
短期入所	5.3	9.7	2.1	4.0	6.7	8.4
＜相談支援＞						
計画相談支援	1.5	3.2	0.7	1.3	2.9	1.3
障害児相談支援	2.4	0.0	2.8	4.0	1.0	1.3
＜障害児通所支援＞						
児童発達支援	17.1	48.4	68.8	0.0	0.0	0.0
医療型児童発達支援	2.0	6.5	6.4	0.9	0.0	0.0
放課後等デイサービス	35.6	0.0	0.0	65.8	47.1	25.3
保育所等訪問支援	0.5	3.2	1.4	0.0	0.0	0.0

◆地域生活支援事業（単位：％）

	全体 (n=665)	0～2歳 (n=31)	3～5歳 (n=141)	6～11歳 (n=225)	12～14歳 (n=104)	15～17歳 (n=154)
移動支援	12.5	3.2	0.0	13.8	22.1	17.5
地域活動支援センター	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
訪問入浴サービス	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
日中一時支援	2.6	0.0	0.0	3.6	3.8	3.2

◆その他の支援（単位：％）

	全体 (n=665)	0～2歳 (n=31)	3～5歳 (n=141)	6～11歳 (n=225)	12～14歳 (n=104)	15～17歳 (n=154)
医療費への支援	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6
補装具費の支給	0.2	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0
交通面への支援（移送サービス等）	0.2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0
在宅重症心身障害者訪問看護	1.1	6.5	1.4	1.3	0.0	0.0
緊急一時保護	0.8	0.0	0.0	0.4	1.0	1.3
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の利用	0.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他、施設名の記入	0.5	3.2	0.7	0.0	0.0	0.6
その他、サービス名の記入	2.3	0.0	3.5	2.2	2.9	0.6

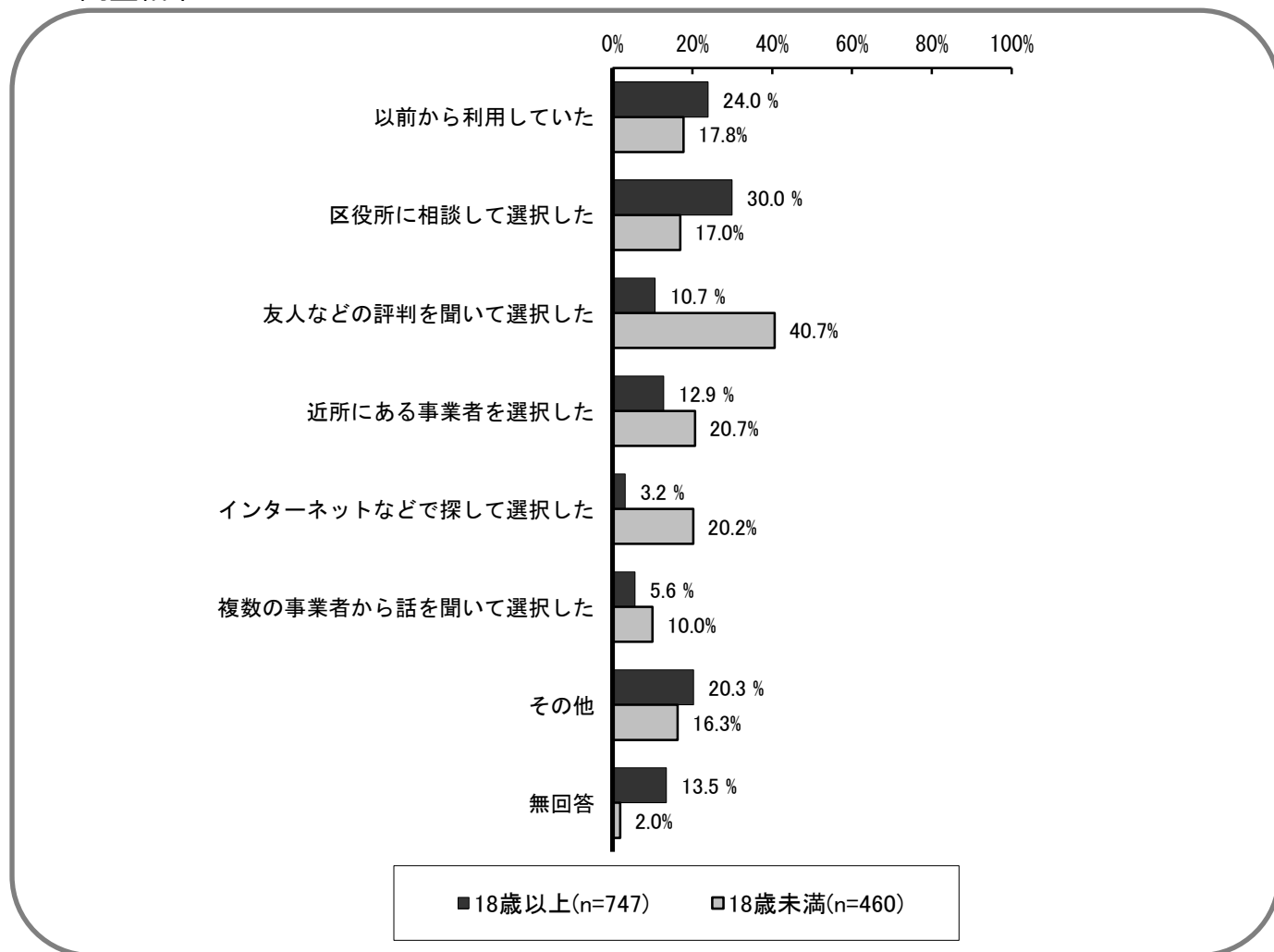


(4) サービス提供事業者の選択 (18歳以上 問19/18歳未満 問18)

問 (「(2) 障害福祉サービス等の利用」で「利用している」または「利用しているが、障害福祉サービスかはわからない」とお答えの方へ) あなたは、現在利用しているサービス提供事業者をどのようにして選びましたか。(〇はいくつでも)

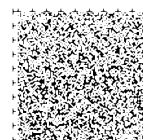
●18歳以上では「区役所に相談」、18歳未満では「評判を聞いて」が高い。

■調査結果



障害福祉サービス等の提供事業者を選ぶ理由については、18歳以上では「区役所に相談して」が30.0%で最も高く、次いで「以前から利用していた」、「その他」となっており、「その他」の記述内容としては、「病院（に相談して選択した）」が主な回答となっています。

18歳未満では「友人などの評判を聞いて」が40.7%で最も高く、次いで「近所にある事業所」、「インターネットなどで探して」の順となっています。



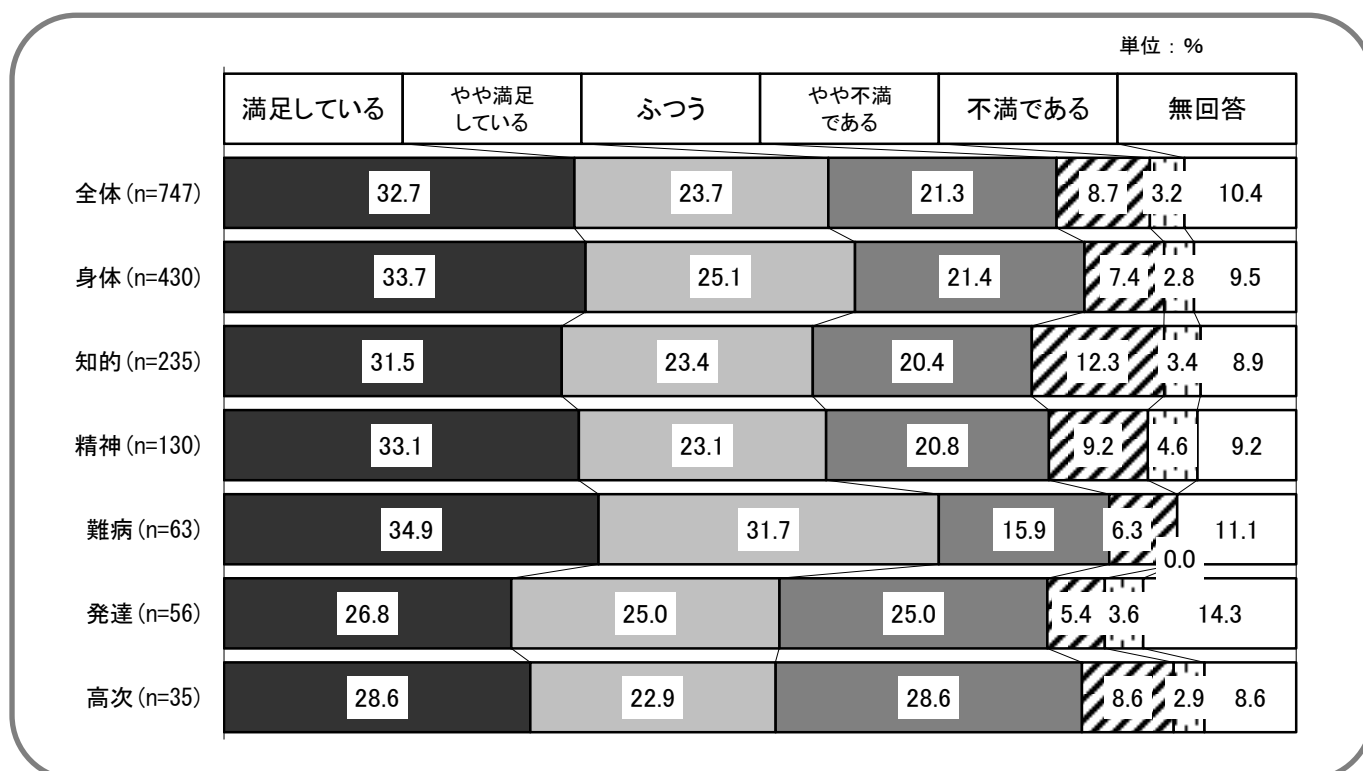
(5) サービス利用の満足度 (18歳以上 問20/18歳未満 問19)

問 (「(2) 障害福祉サービス等の利用」で「利用している」または「利用しているが、障害福祉サービスかはわからない」とお答えの方へ) あなたは、現在利用しているサービス全体について、どのくらい満足していますか。(〇は1つ)

<18歳以上>

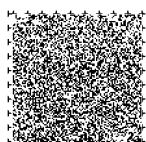
●『満足』している層は全体の56.4%。

■障がいの分類別結果



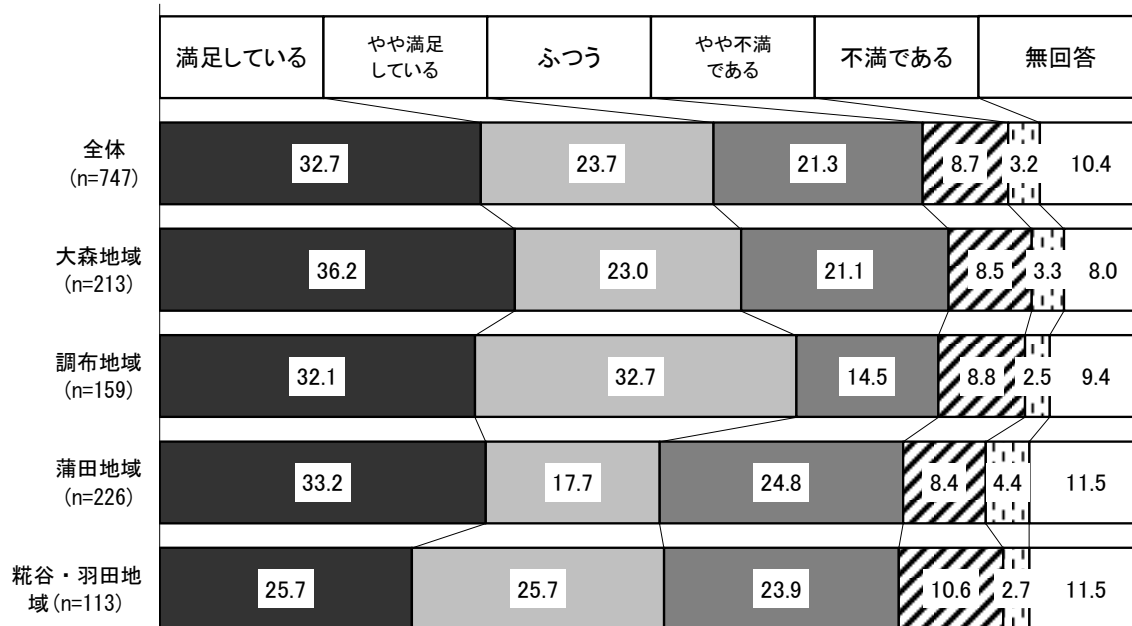
障害福祉サービスを利用している方の満足度については、全体では「満足している」との回答が32.7%で最も高く、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足』している層は、全体の56.4%となっています。

分類別にみると、[難病]では『満足』している層は66.6%と高くなっています。



■ 地域別の傾向

単位：%

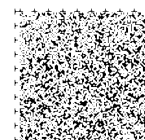


地域別にみると、『満足』している層は[調布地域]の64.8%が最も高く、[蒲田地域]や[糀谷・羽田地域]は5割程度となっています。

■ 利用しているサービス別の傾向（単位：%）

	満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
全体 (n=747)	32.7	23.7	21.3	8.7	3.2	10.4
訪問系サービス (n=68)	30.9	20.6	29.4	13.2	1.5	4.4
日中活動系サービス (n=153)	32.2	25.0	18.4	13.8	5.9	4.6
居住系サービス (n=43)	46.5	23.3	18.6	7.0	2.3	2.3
相談支援 (n=59)	39.0	28.8	15.3	11.9	3.4	1.7
地域生活支援事業 (n=102)	32.4	27.5	15.7	15.7	4.9	3.9
経済的な支援 (n=78)	30.8	19.2	23.1	14.1	7.7	5.1
その他の支援 (n=24)	37.5	25.0	16.7	16.7	0.0	4.2

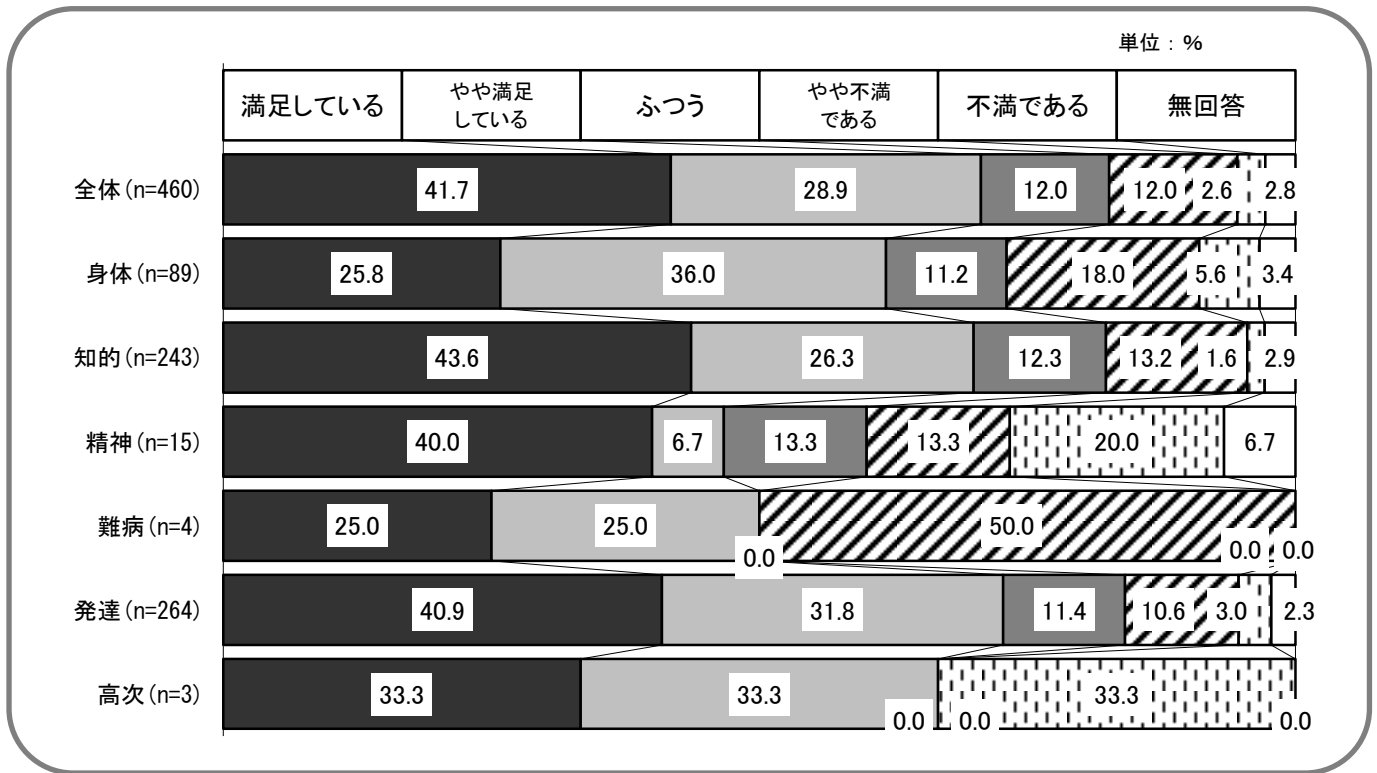
利用しているサービス別の傾向としては、回答者数が少ない選択肢がみられるものの、「その他の支援」、[地域生活支援事業]、[日中活動系サービス]などで「やや不満である」との回答が全体に比べ高くなっています



<18 歳未満>

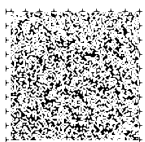
● 『満足』 している層は全体の 70.6%。

■ 障がいの分類別結果

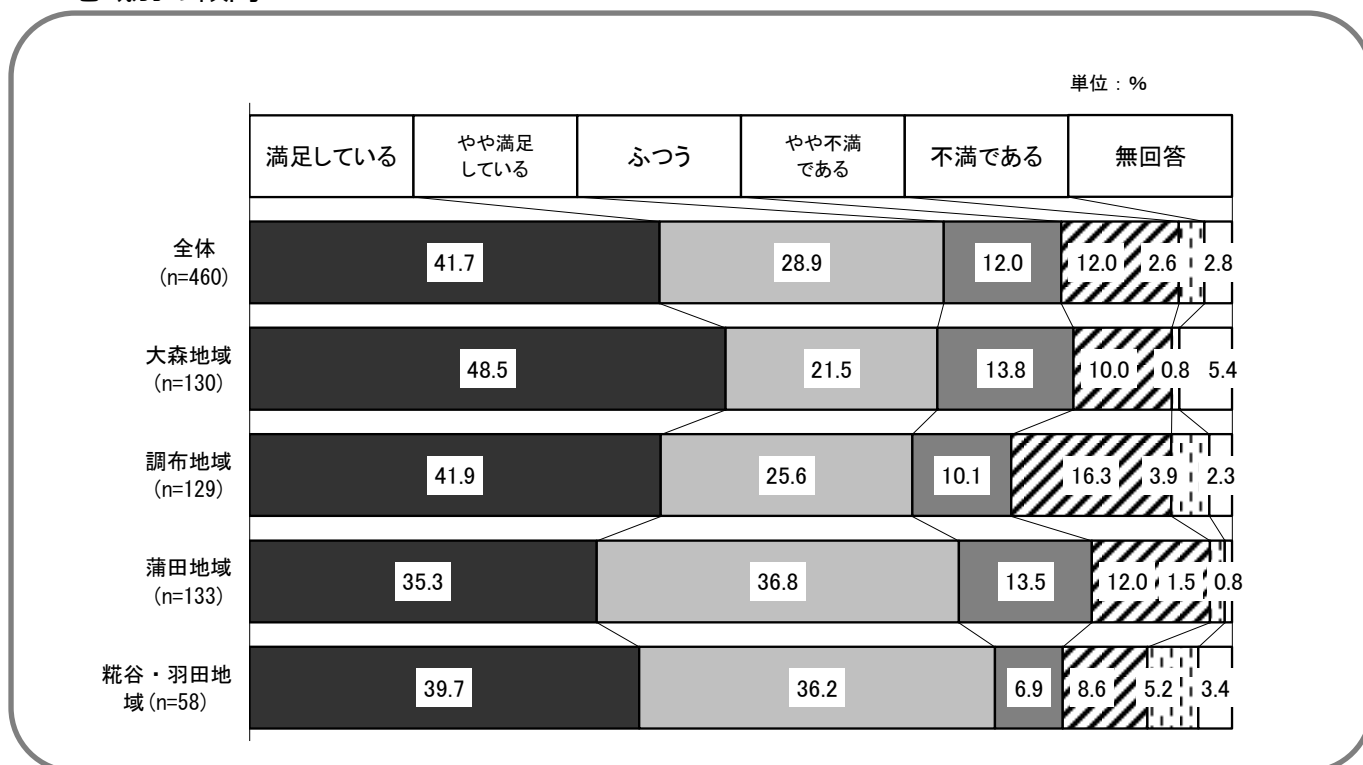


18 歳未満では、全体では「満足している」との回答が 41.7%で最も高く、『満足』している層は全体の 70.6%となっています。

分類別に見ると、回答者数が少ない[身体]、[精神]、[難病]、[高次]では、「やや不満である」と「不満である」を合わせた『不満』である層が全体よりも高くなっています。



■ 地域別の傾向



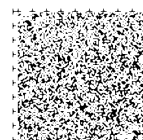
地域別にみると、『満足』している層は[糎谷・羽田地域]の75.9%が最も高くなっています。

一方、[調布地域]では、『不満』である層が20.2%と、全体と比べて高くなっています。

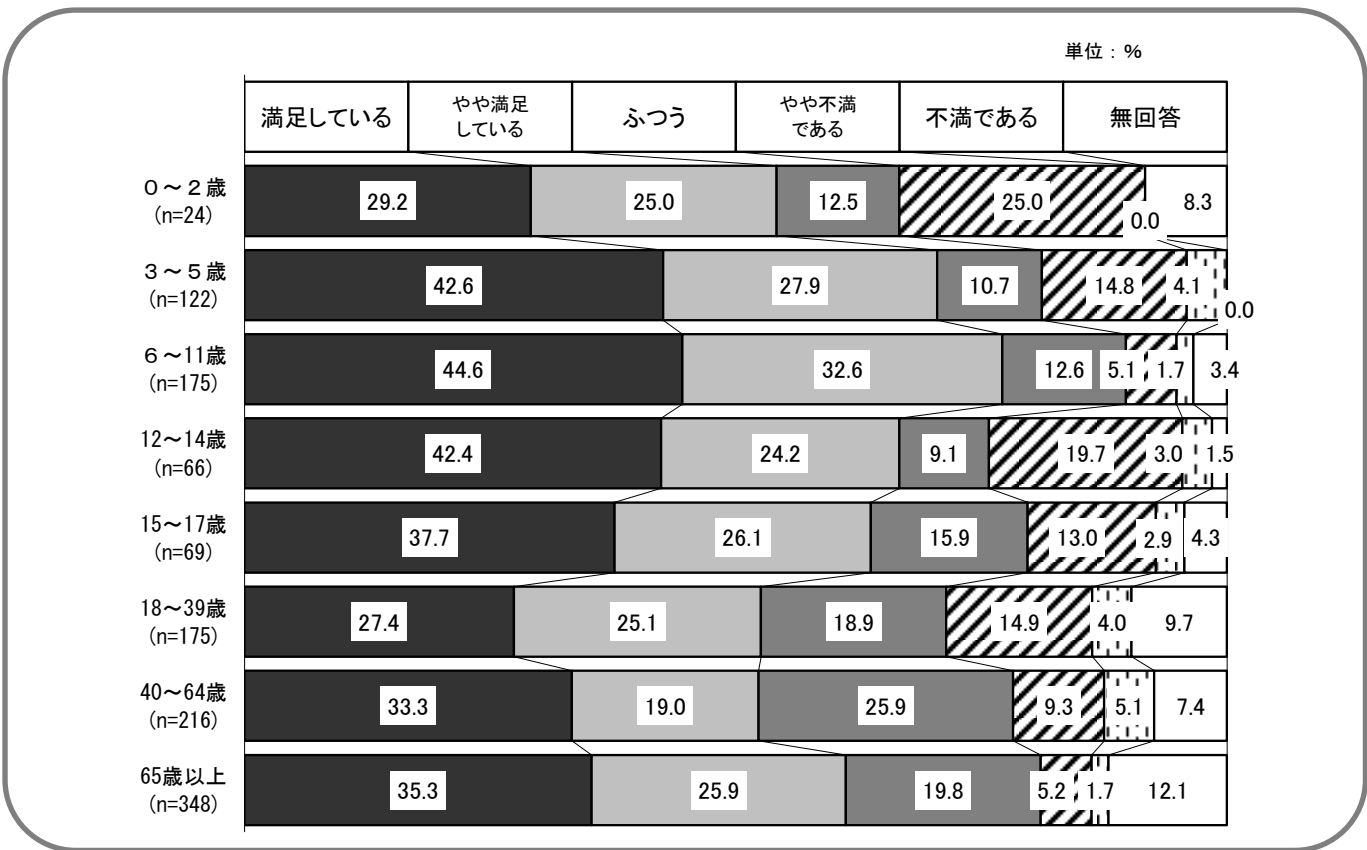
■ 利用しているサービス別の傾向（単位：%）

	満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	不満である	無回答
全体 (n=460)	41.7	28.9	12.0	12.0	2.6	2.8
訪問系サービス (n=23)	30.4	30.4	21.7	17.4	0.0	0.0
日中活動系サービス (n=35)	22.9	40.0	14.3	22.9	0.0	0.0
相談支援 (n=10)	50.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0
障害児通所支援 (n=361)	43.8	30.7	11.4	10.0	2.8	1.4
地域生活支援事業 (n=86)	40.7	30.2	4.7	16.3	4.7	3.5
その他の支援 (n=51)	31.4	25.5	17.6	19.6	2.0	3.9

利用しているサービス別の傾向としては、回答者数が少ない選択肢がみられるものの、[日中活動系サービス]、「その他の支援」、[訪問系サービス]などで「やや不満である」との回答が全体に比べ高くなっています



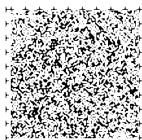
◆年齢別の傾向<18歳以上/18歳未満>



年齢別の傾向を見ると、[3～14歳]では「満足している」との回答が4割を超えて高くなっています。

[18歳以上]では、「満足している」との回答は4割未満にとどまっているものの、「ふつう」との回答が2割前後を占めているため、「不満である」との回答はそれほど大きくなっていません。

『不満』である層については、回答者数が少ないものの[0～2歳]の25.0%が最も高くなっています。



◆経年変化（参考）＜18歳以上／18歳未満＞（単位：％）

＜18歳以上＞	満足 している	やや満足 している	ふつう	やや不満 である	不満 である	無回答等 ※
[身体]						
今回(n=430)	33.7	25.1	21.4	7.4	2.8	9.5
前回(n=39)	28.8	20.1	19.8	6.3	4.8	21.3
[知的]						
今回(n=235)	31.5	23.4	20.4	12.3	3.4	8.9
前回(n=110)	30.0	20.0	21.8	6.4	6.4	15.4
[難病]						
今回(n=63)	34.9	31.7	15.9	6.3	0.0	11.1
前回(n=35)	18.9	20.8	20.8	1.9	3.8	34.0

＜18歳未満＞	満足 している	やや満足 している	ふつう	やや不満 である	不満 である	無回答
[身体]						
今回(n=89)	25.8	36.0	11.2	18.0	5.6	3.4
前回(n=91)	14.3	30.8	23.1	13.2	6.6	12.1
[知的]						
今回(n=243)	43.6	26.3	12.3	13.2	1.6	2.9
前回(n=47)	23.4	42.6	17.0	8.5	6.4	2.1

＜18歳以上／18歳未満＞	満足 している	やや満足 している	ふつう	やや不満 である	不満 である	無回答
[精神]						
今回・18歳以上(n=130)	33.1	23.1	20.8	9.2	4.6	9.2
今回・18歳未満(n=15)	40.0	6.7	13.3	13.3	20.0	6.7
前回(n=105)	28.6	17.1	18.1	11.4	3.8	20.9

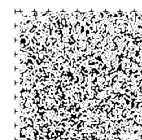
※前回調査の無回答等には、選択肢「わからない」、「その他」が含まれます

経年変化について大まかな傾向を見ると、無回答等の割合が減少したことに伴い、満足や不満の傾向がより明らかになっているところがみられます。

18歳以上では、[身体]の「やや満足している」、[知的]の「やや不満である」、「難病」の「満足している」、「やや満足している」が高くなっています。

18歳未満では、[身体]の「満足している」、「やや満足している」が高くなっている一方「ふつう」が減少しています。[知的]では「やや満足している」が減少し、「満足している」が高くなっています。

精神については比較は難しいものの、多くを占める18歳以上の傾向が前回と比較して「やや満足している」が増えた程度であるのに対し、18歳未満は回答者数が少ないものの、「やや満足している」が低い一方で、「満足している」または「不満である」の回答が高くなっています。

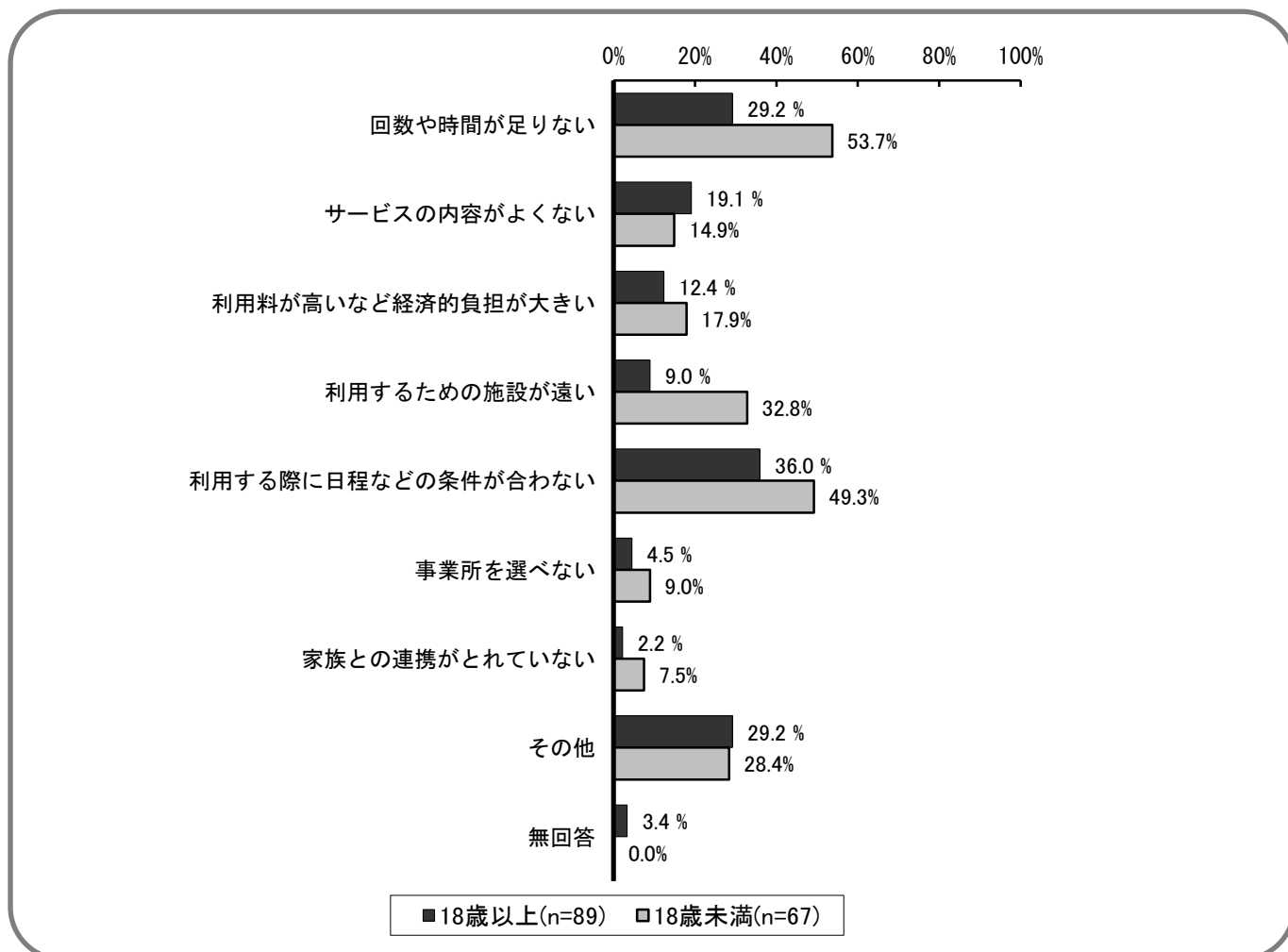


(6) 不満を感じるサービス・内容 (18歳以上 問21/18歳未満 問20)

問 (「(5) 障害福祉サービス等の満足度」で「やや不満である」または「不満である」とお答えの方へ) どういった点に不満を感じますか。(〇はいくつでも)

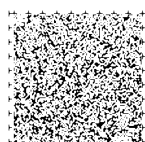
●18歳以上では「条件が合わない」、18歳未満では「回数や時間が足りない」が高い。

■調査結果



不満を感じる点としては、18歳以上では「利用する際に日程などの条件が合わない」が36.0%で最も高く、次いで「回数や時間が足りない」、「その他」となっており、その他の記述内容としては「ヘルパーを選べない」や「病院へ行きたい」などが挙げられています。

18歳未満では「回数や時間が足りない」が53.7%と半数を超えて高く、次いで「日程などの条件が合わない」、「利用するための施設が遠い」などとなっています。

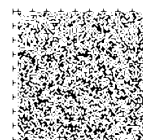


■利用しているサービス別の傾向（参考）

<18歳以上>（単位：％）

	回数や時間が 足りない	サービスの内容が よくない	利用料が高いなど 経済的負担が大きい	利用するための 施設が遠い	利用する際に日程な どの条件が合わない	事業所を選べない	家族との 連携がとれていない	その他	無回答
全体 (n=89)	29.2	19.1	12.4	9.0	36.0	4.5	2.2	29.2	3.4
訪問系サービス (n=10)	30.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	30.0	0.0
日中活動系サービス (n=30)	40.0	20.0	6.7	13.3	53.3	6.7	3.3	36.7	0.0
居住系サービス (n=4)	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
相談支援 (n=9)	44.4	11.1	0.0	33.3	66.7	22.2	0.0	33.3	0.0
地域生活支援事業 (n=21)	33.3	4.8	0.0	9.5	57.1	19.0	0.0	38.1	0.0
経済的な支援 (n=17)	23.5	11.8	23.5	5.9	23.5	0.0	5.9	29.4	5.9
その他の支援 (n=4)	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0

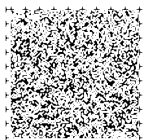
利用しているサービス別の傾向としては、18歳以上では、回答者数が少ないものの、[相談支援]や[地域生活支援事業]、[日中活動系サービス]で「利用する際に日程などの条件が合わない」との回答が5割を超え、全体と比べても高い傾向が見られます。



<18歳未満> (単位：%)

	回数や時間が 足りない	サービスの内容が よくない	利用料が高いなど 経済的負担が大きい	利用するための 施設が遠い	利用する際に日程な どの条件が合わない	事業所を選べない	家族との 連携がとれていない	その他	無回答
全体 (n=67)	53.7	14.9	17.9	32.8	49.3	9.0	7.5	28.4	0.0
訪問系サービス (n=4)	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0
日中活動系サービス (n=8)	50.0	0.0	25.0	50.0	87.5	0.0	12.5	12.5	0.0
相談支援 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援 (n=46)	54.3	17.4	15.2	37.0	43.5	13.0	8.7	26.1	0.0
地域生活支援事業 (n=18)	50.0	16.7	22.2	16.7	66.7	0.0	5.6	27.8	0.0
その他の支援 (n=11)	45.5	18.2	9.1	27.3	54.5	0.0	9.1	36.4	0.0

18歳未満では、回答者数が少ないものの、利用者の多数を占める[障害児通所支援]以外の利用者では「利用する際に日程などの条件が合わない」との回答がいずれも5割を超え、全体と比べても高い傾向が見られます。



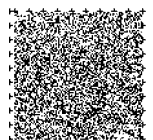
■ 要介護認定・要支援認定別の傾向（参考）

<18歳以上>（単位：％）

	回数や時間が 足りない	サービスの内容が よくない	利用料が高いなど 経済的負担が大きい	利用するための 施設が遠い	利用する際に日程な どの条件が合わない	事業所を選べない	家族との 連携がとれていない	その他	無回答
全体 (n=89)	29.2	19.1	12.4	9.0	36.0	4.5	2.2	29.2	3.4
要支援・要介護 認定者 (n=32)	34.4	25.0	18.8	6.3	31.3	3.1	3.1	28.1	3.1
要支援の認定を 受けている (n=13)	38.5	0.0	0.0	0.0	46.2	0.0	7.7	53.8	7.7
要介護の認定を 受けている (n=19)	31.6	42.1	31.6	10.5	21.1	5.3	0.0	10.5	0.0
受けていない (n=45)	26.7	15.6	6.7	11.1	42.2	4.4	2.2	33.3	2.2

介護保険により要支援や要介護の認定を受けている方の傾向としては、回答者数が少ないものの、「回数や時間が足りない」との回答では、[要支援の認定を受けている]、[要介護の認定を受けている]ともに、全体を上回る回答となっています。

また、[要支援者]では「利用する際に日程などの条件が合わない」が、[要介護者]では「利用料が高いなど経済的な負担が大きい」との回答が高くなっています。



(7) 今後のサービス利用意向 (18歳以上 問22/18歳未満 問21)

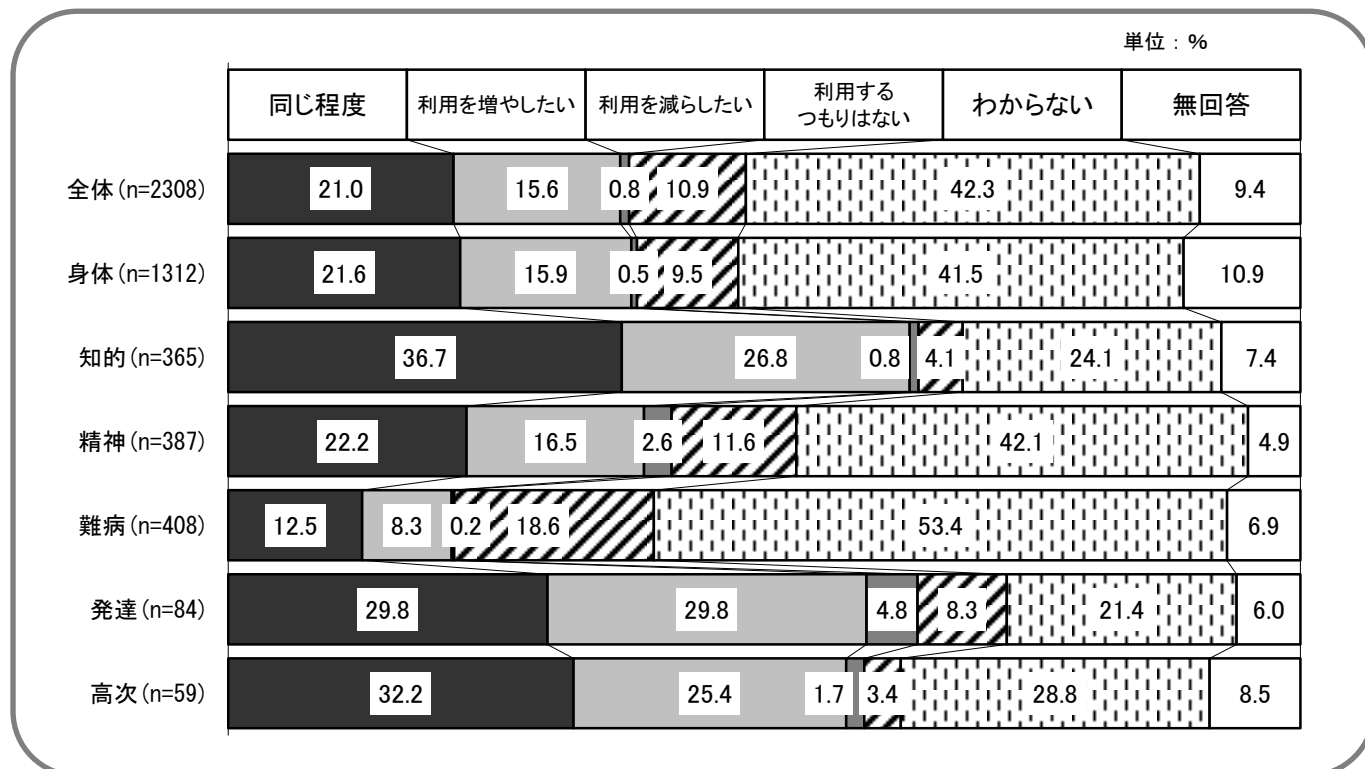
問 あなたは、「障害福祉サービス等」を今後どのくらい利用していきたいですか。

(○は1つ)

<18歳以上>

●[発達]、[知的]で「利用を増やしたい」が高い。

■ 障がいの分類別結果

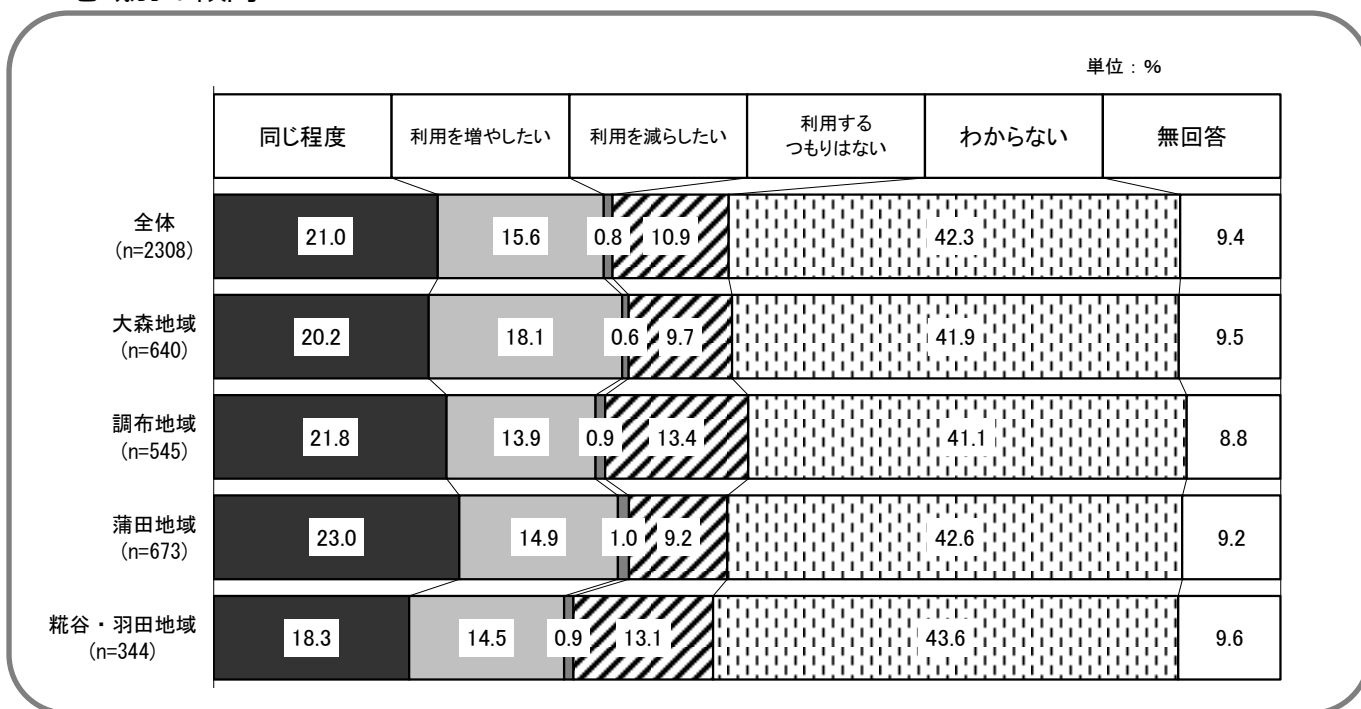


今後の利用意向については、全体では「わからない」との回答が42.3%で最も高くなっています。

分類別の傾向では、「利用を増やしたい」との回答が[発達]、[知的]、[高次]で全体よりも高くなっており、[発達]、[知的]はそれぞれ最も高い傾向となっています。

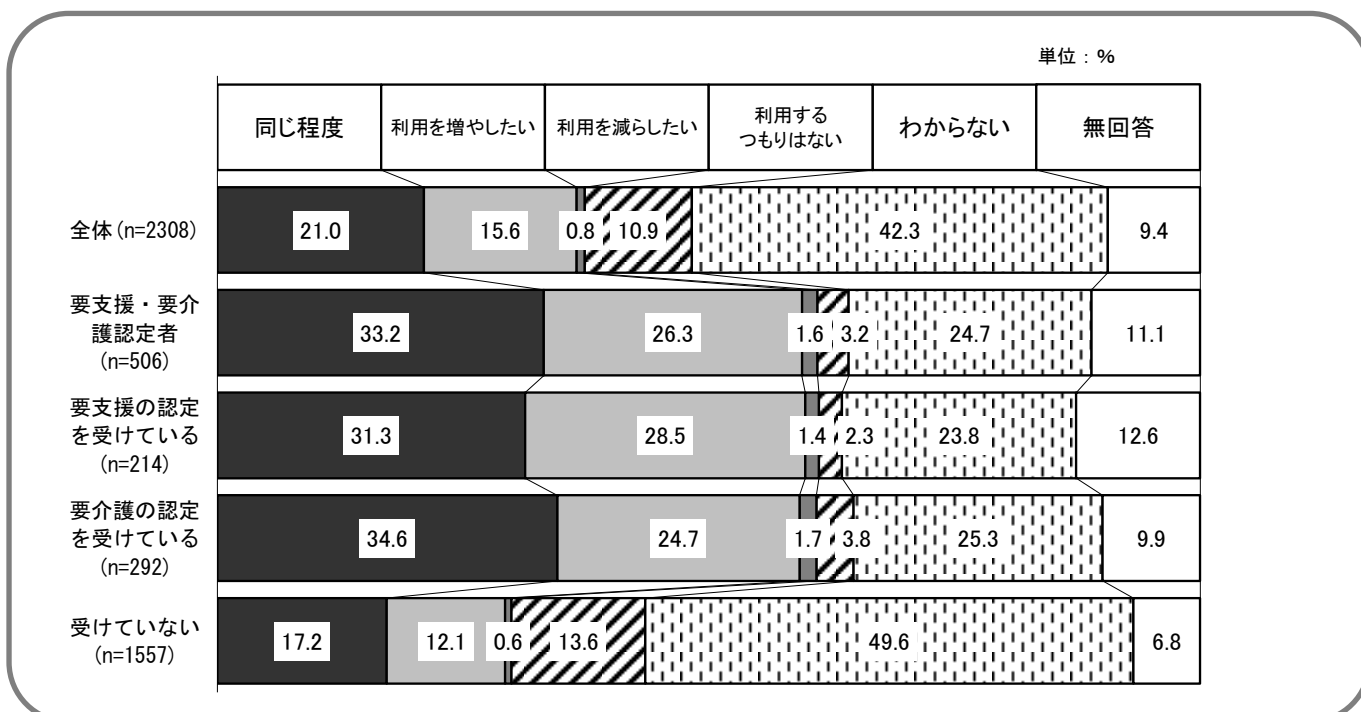


■ 地域別の傾向

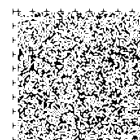


地域別にみると、「利用を増やしたい」との回答については「大森地域」の18.1%が最も高いものの、大きな傾向の差は見られません。

■ 要介護認定・要支援認定別の傾向（参考）（単位：%）



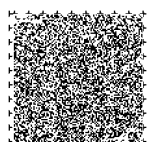
介護保険により要支援や要介護の認定を受けている方の傾向としては、全体に比べ「わからない」との回答が低く、それに伴い、「同じ程度」または「利用を増やしたい」との回答が高くなっており、意向がはっきりと出ていることが分かります。



■利用しているサービス別の傾向（単位：％）

	現在と同じ程度に 利用したい	現在より 利用を増やしたい	現在より 利用を減らしたい	利用する つもりはない	わからない	無回答
全体 (n=2308)	21.0	15.6	0.8	10.9	42.3	9.4
訪問系サービス (n=68)	42.6	50.0	4.4	0.0	1.5	1.5
日中活動系サービス (n=153)	43.8	45.8	2.0	0.0	4.6	3.9
居住系サービス (n=43)	58.1	20.9	4.7	0.0	11.6	4.7
相談支援 (n=60)	45.0	43.3	5.0	0.0	5.0	1.7
地域生活支援事業 (n=103)	42.7	50.5	1.9	1.0	1.0	2.9
経済的な支援 (n=81)	49.4	28.4	0.0	0.0	14.8	7.4
その他の支援 (n=24)	50.0	29.2	8.3	0.0	4.2	8.3

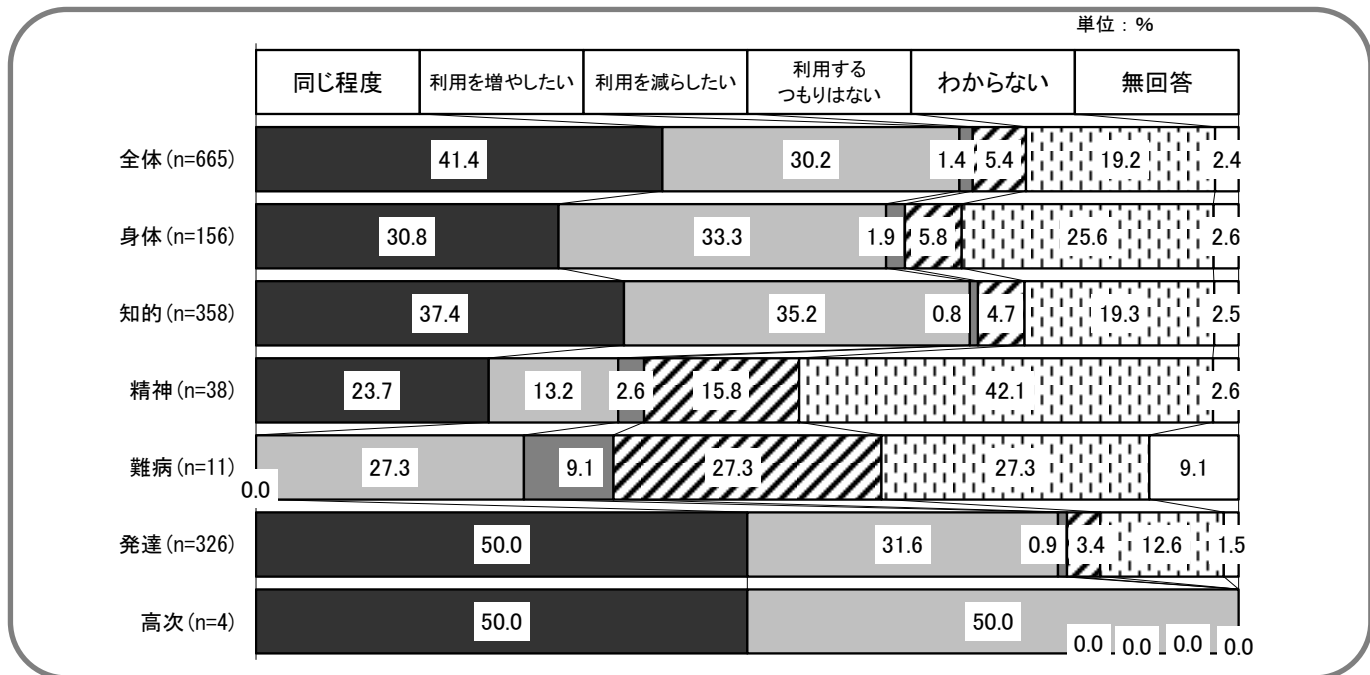
利用しているサービス別の傾向としては、[地域生活支援事業]と[訪問系サービス]で「現在より利用を増やしたい」との回答が5割を超えるなど、全体と比べても高い傾向が見られます。



<18歳未満>

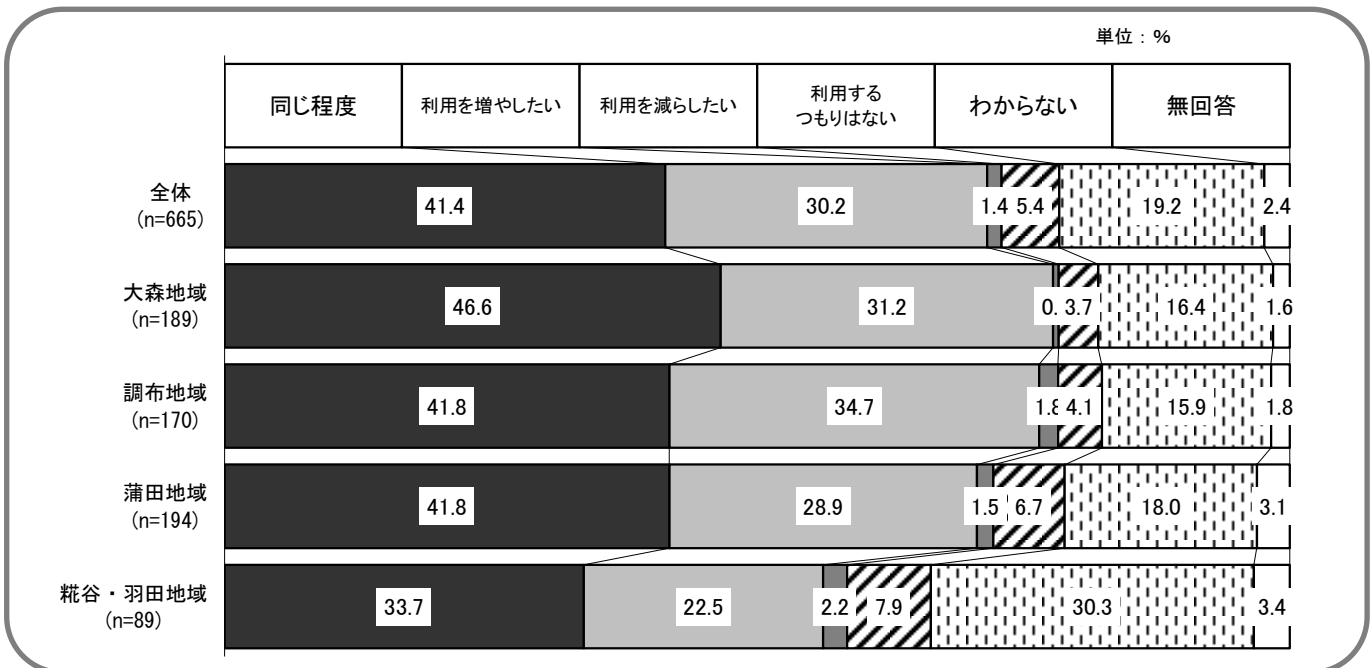
●「同じ程度」が4割で最も高い。

■障がいの分類別結果

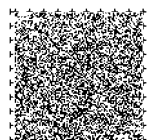


18歳未満では、全体では「同じ程度」との回答が41.4%で最も高くなっています。次いで、「利用を増やしたい」、「わからない」などとなっています。

■地域別の傾向



地域別にみると、[糞谷・羽田地域]で「わからない」との回答が30.3%高く、それに伴い、「同じ程度」や「利用を増やしたい」については他地区よりも低くなっています。

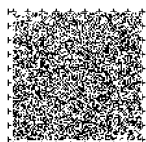


■利用しているサービス別の傾向（参考）（単位：％）

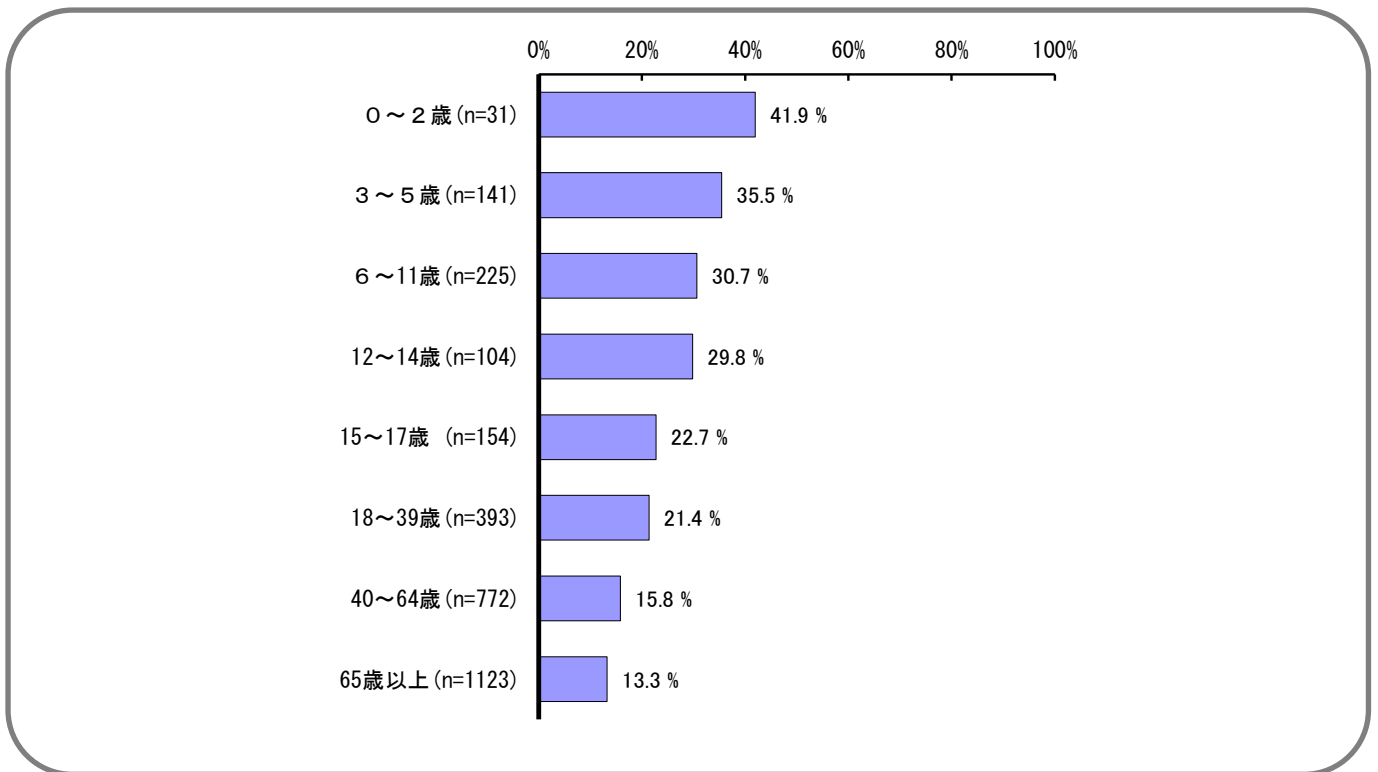
	現在と同じ程度に 利用したい	現在より 利用を増やしたい	現在より 利用を減らしたい	利用する つもりはない	わからない	無回答
全体 (n=665)	41.4	30.2	1.4	5.4	19.2	2.4
訪問系サービス (n=23)	56.5	43.5	0.0	0.0	0.0	0.0
日中活動系サービス (n=35)	37.1	57.1	0.0	0.0	5.7	0.0
相談支援 (n=10)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
障害児通所支援 (n=365)	61.4	31.8	0.8	0.5	3.6	1.9
地域生活支援事業 (n=86)	51.2	44.2	2.3	0.0	2.3	0.0
その他の支援 (n=51)	60.8	25.5	3.9	0.0	7.8	2.0

※「居住系サービス」を利用しているとの回答は見られませんでした。

利用しているサービス別の傾向としては、回答者の少ない選択肢があるものの、[日中活動系サービス]で「現在より利用を増やしたい」との回答が5割を超えるなど、全体と比べても高い傾向が見られます。



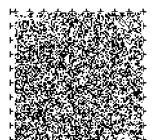
◆ 「利用を増やしたい」人の、年齢別の傾向<18歳以上/18歳未満>



「利用を増やしたい」と回答した人の年齢別の割合を見たところ、[0～2歳]との回答が41.9%で最も高く、年齢が上がるにつれて割合が下がっていることがわかります。このことから、障がい児向けのサービスにおいて、今後の伸びが大きくなることがうかがえます。

■ 集計結果 (単位：%)

	現在と同じ程度に利用したい	現在より利用を増やしたい	現在より利用を減らしたい	利用するつもりはない	わからない	無回答
0～2歳 (n=31)	41.9	41.9	0.0	3.2	12.9	0.0
3～5歳 (n=141)	46.1	35.5	2.1	1.4	12.1	2.8
6～11歳 (n=225)	50.7	30.7	0.9	3.6	12.4	1.8
12～14歳 (n=104)	38.5	29.8	1.9	4.8	24.0	1.0
15～17歳 (n=154)	26.6	22.7	1.3	13.0	32.5	3.9
18～39歳 (n=393)	21.9	21.4	1.3	14.0	36.1	5.3
40～64歳 (n=772)	19.3	15.8	0.6	11.8	46.6	5.8
65歳以上 (n=1123)	21.9	13.3	0.8	9.3	41.6	13.1



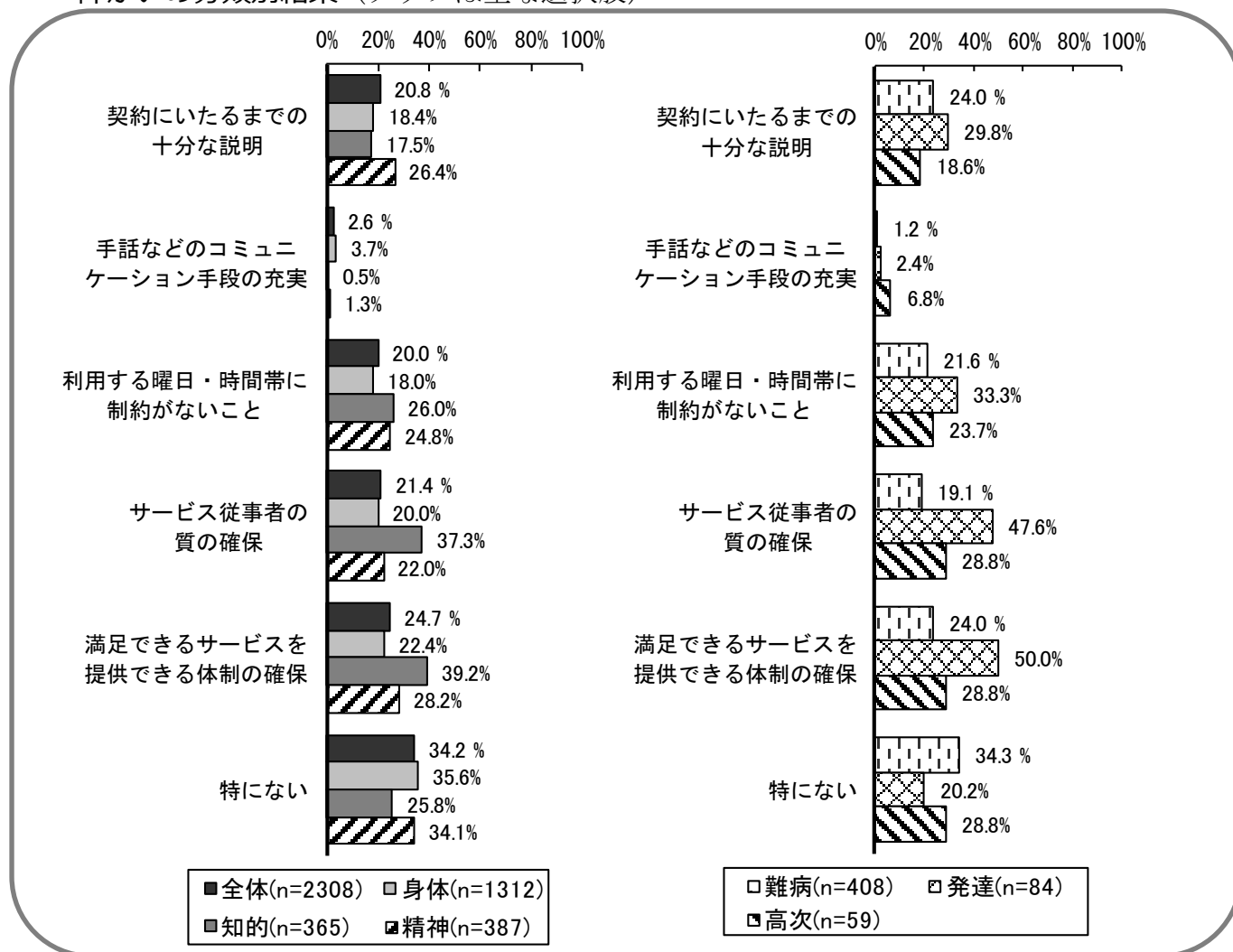
(8) サービス提供事業者に対して望むこと (18歳以上 問23/18歳未満 問22)

問 あなたが、サービスを提供する事業者に対して望むことは、どのようなことですか。
(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●[発達]、[知的]で「従事者の質の確保」と「提供できる体制の確保」が高い。

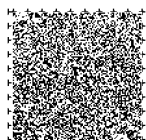
■障がいの分類別結果 (グラフは主な選択肢)



事業者に対して望むこととしては、全体では「特にない」が34.2%で最も高くなっていますが、それ以外の選択肢では「満足できるサービスを提供できる体制の確保」が24.7%、「サービス従事者の質の確保」が21.4%、「契約にいたるまでの十分な説明」が20.8%、「利用する曜日・時間帯に制約がないこと」が20.0%と、2割台となっています。

分類別では、[発達]、[知的]では「体制の確保」、「従業者の質の確保」が全体よりも高くなっています。

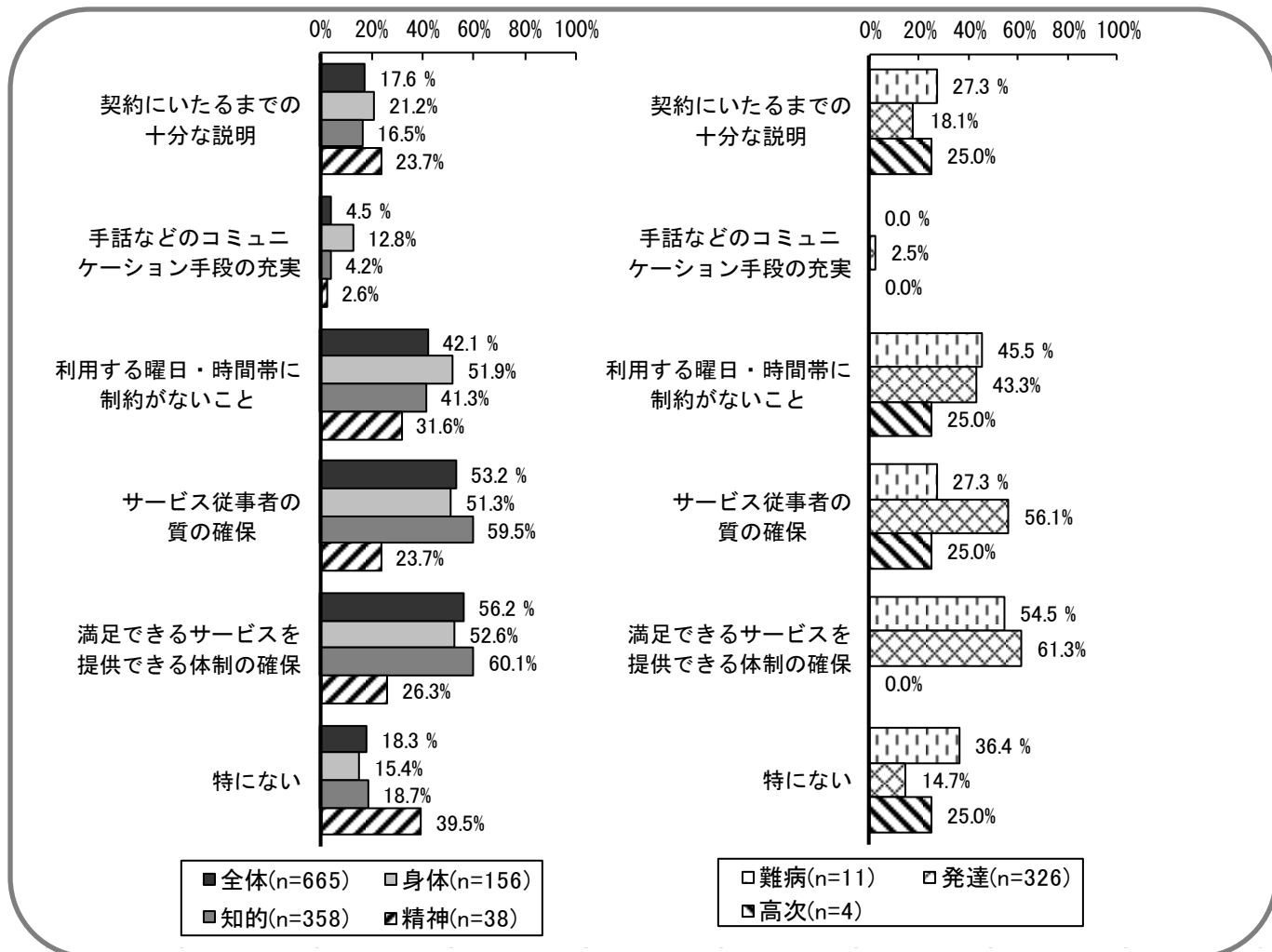
(→詳細な調査結果は176ページ)



<18歳未満>

●「従事者の質の確保」と「体制の確保」は半数を超えて高い。

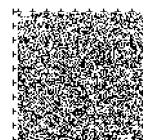
■障がいの分類別結果（グラフは主な選択肢）



18歳未満では、「満足できるサービスを提供できる体制の確保」が56.2%で最も高く、次いで「サービス従事者の質の確保」が53.2%となっており、この2項目は全体の半数を超えて高くなっています。

一方、特にないと回答は全体で18.3%となっており、18歳以上に比べて低くなっています。

(→詳細な調査結果は192ページ)



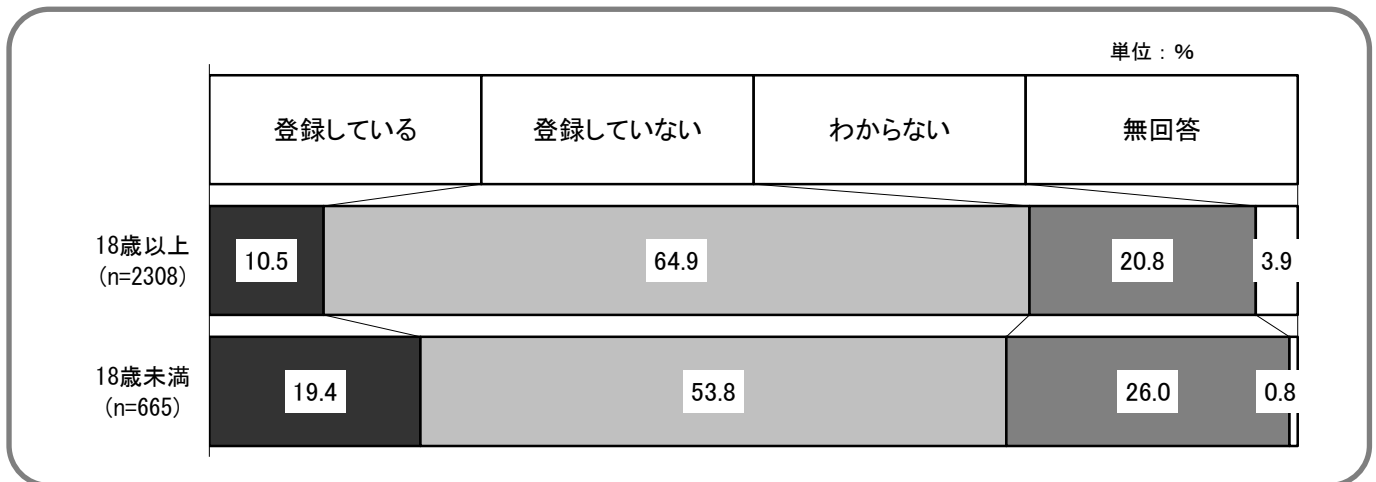
5 災害時の対応

(1) 「災害時要援護者名登録制度」の認知度（18歳以上 問24/18歳未満 問23）

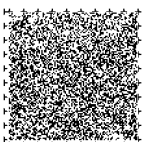
問 あなたは、災害時の安否確認や避難の手助けなどを行うために作成している「災害時要援護者名簿」に登録をしていますか。（○は1つ）

● 「登録している」は、18歳以上が10.5%、18歳未満では19.4%。

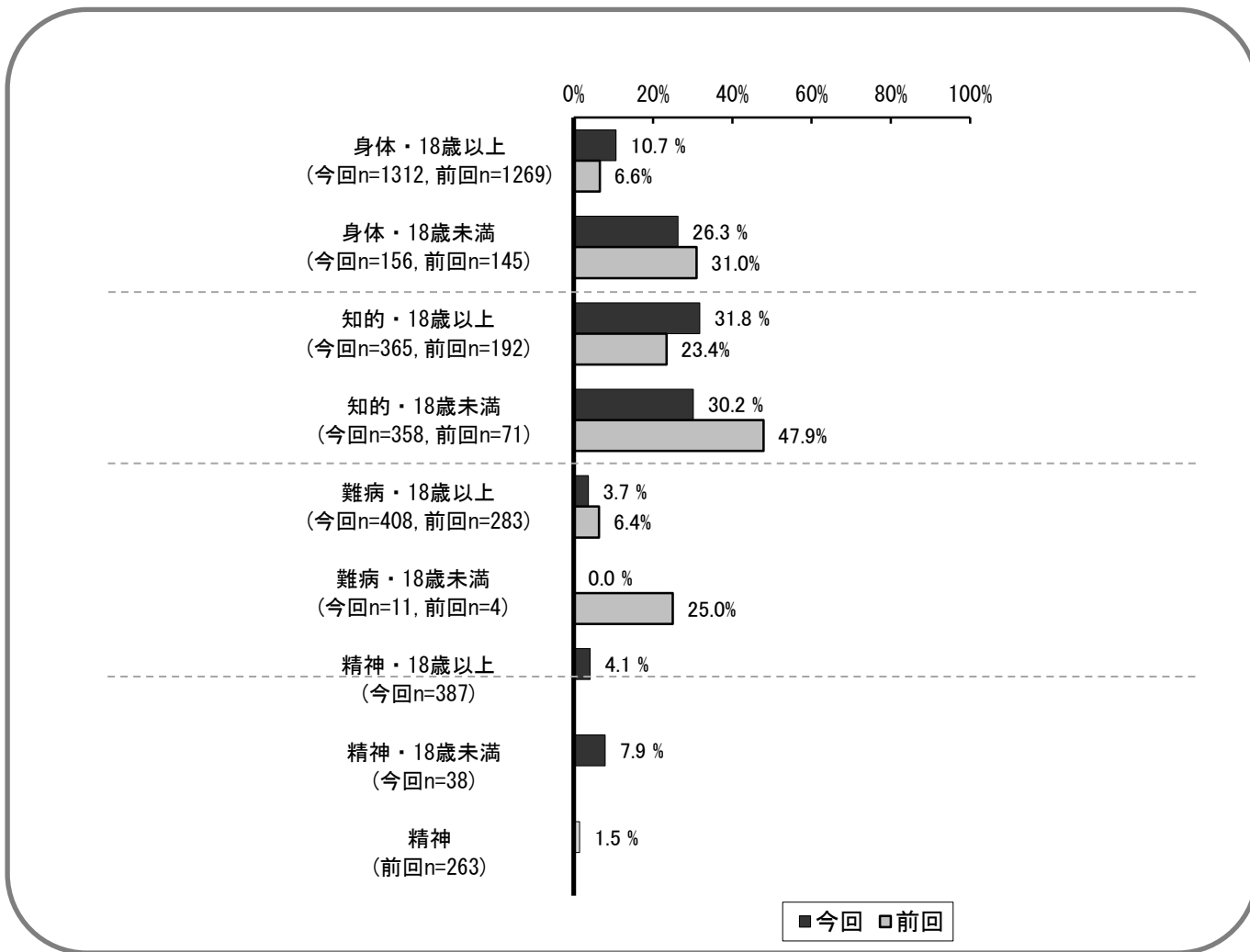
■ 調査結果



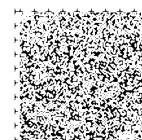
「災害時要援護者名簿」へ「登録している」との回答については、18歳以上では10.5%、18歳未満では19.4%となっています。



■ 「登録している」人の経年変化（参考）



前回とは選択肢の構成が異なっているため、「登録している」と回答した人に注目して比較を行ったところ、18歳以上の[知的]で前回よりも高い回答となっているものの、18歳未満の[知的]では前回より低い結果となっています。

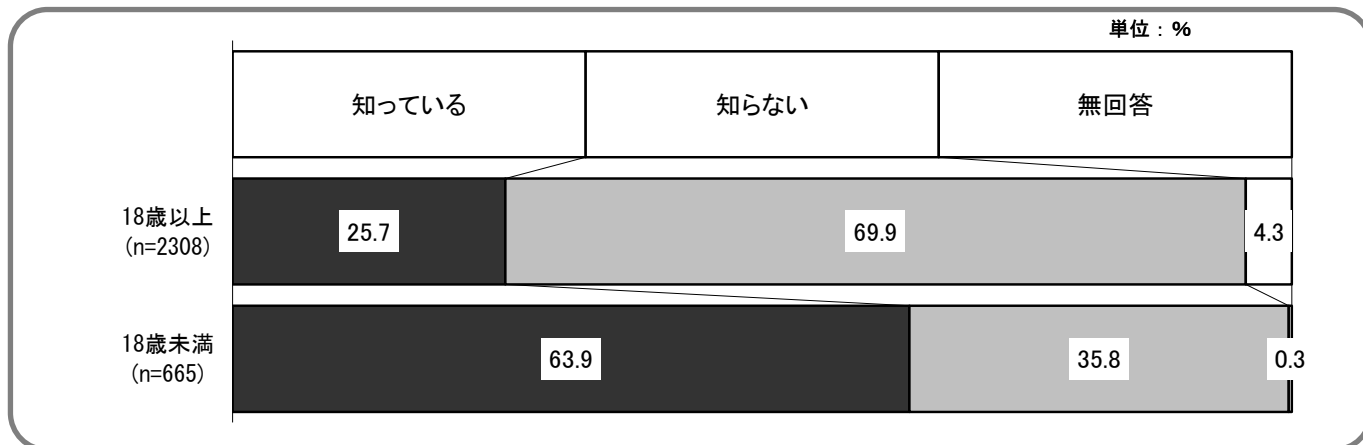


(2) ヘルプカードの認知度 (18歳以上 問25/18歳未満 問24)

問 あなたは、「ヘルプカード (たすけてねカード)」を知っていますか。(○は1つ)

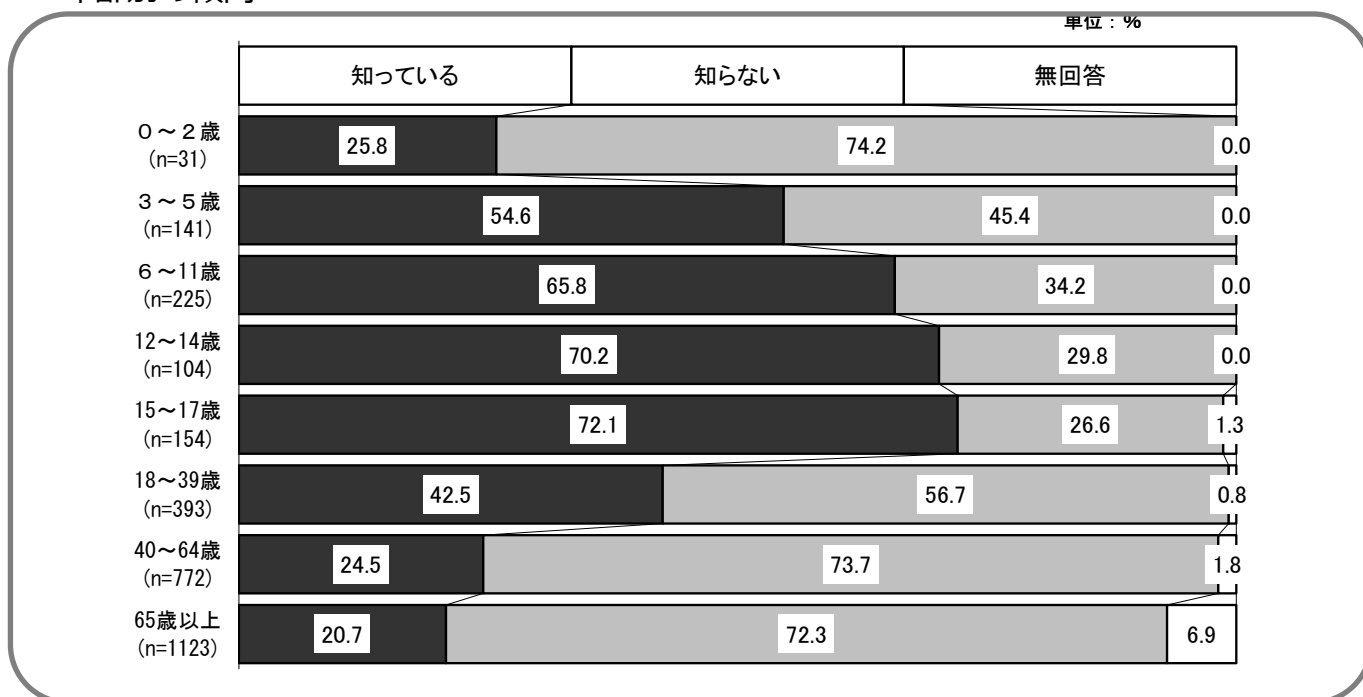
●18歳以上は25.7%であるのに対し、18歳未満では63.9%。

■調査結果

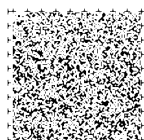


ヘルプカードの認知度については、18歳以上が25.7%にとどまっているのに対し、18歳未満では63.9%となっています。

■年齢別の傾向



年齢別では、[3~17歳]で、「知っている」人が5割を超えて高くなっています。
18歳以上では年代が上がるにつれて、「知っている」との回答の割合が低くなっています。



(3) 災害時の不安 (18歳以上 問26/18歳未満 問25)

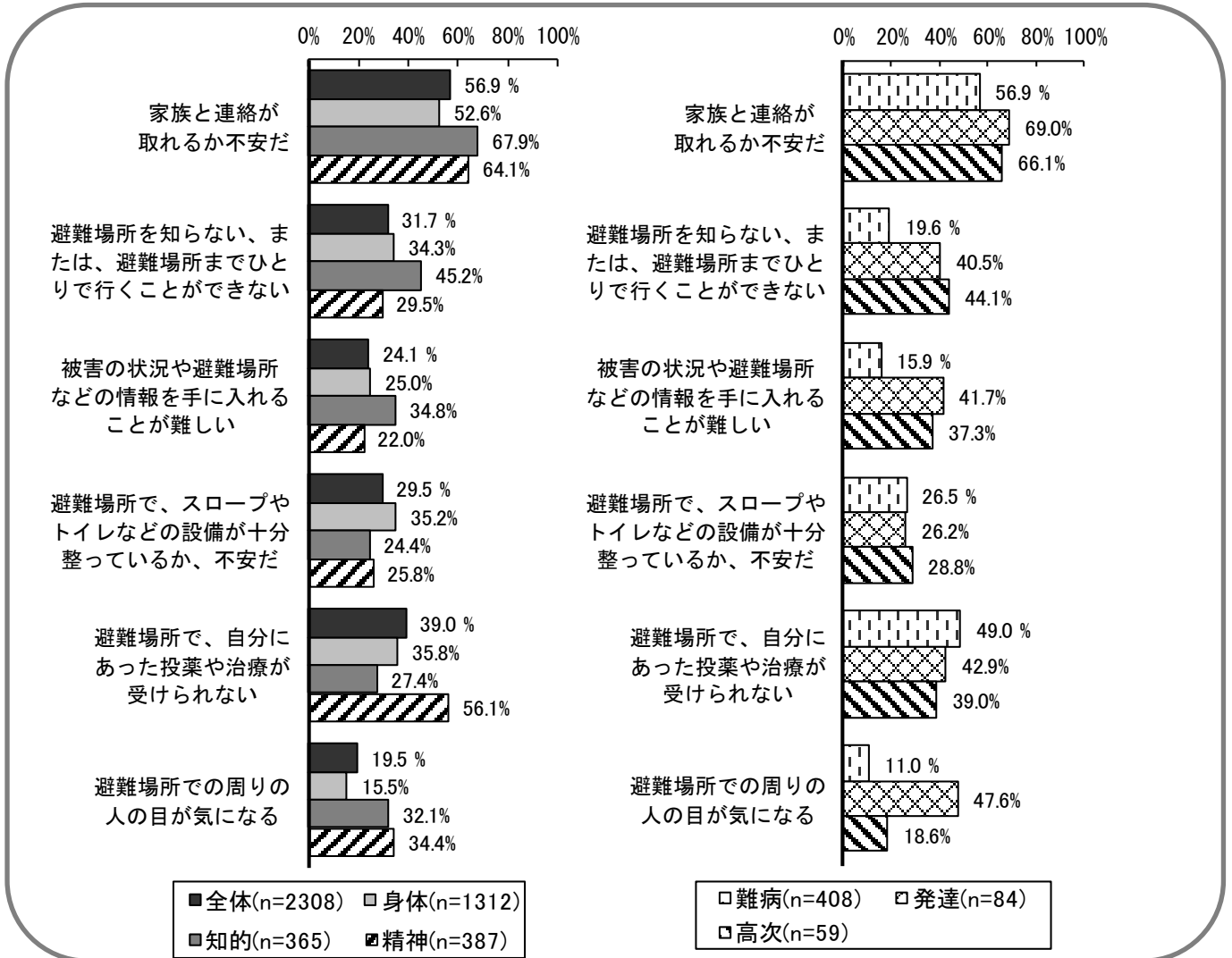
問 あなたが、実際に災害があったときに、困ることや不安に思うことは何ですか。

(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●「家族と連絡が取れるか不安だ」が半数を超えて高い。

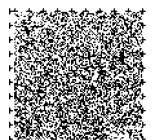
■障がいの分類別結果 (グラフは主な選択肢)



災害時の困りごとや不安な事としては、全体では「家族と連絡が取れるか不安だ」が56.9%で最も高くなっており、次いで、「避難場所で、自分にあつた投薬や治療が受けられない」、「避難場所を知らない、または、避難場所までひとりで行くことができない」となっています。

分類別では、[知的]、[精神]、[発達]、[高次]では「家族と連絡が取れるか不安だ」との回答が全体よりも高くなっています。他にも[精神]、[難病]では「自分にあつた投薬や治療が受けられない」が、[知的]、[発達]、[高次]では「避難場所までひとりで行くことができない」が、[知的]、[精神][発達]では「1周りの人の目が気になる」が高いなどの傾向が見られます。

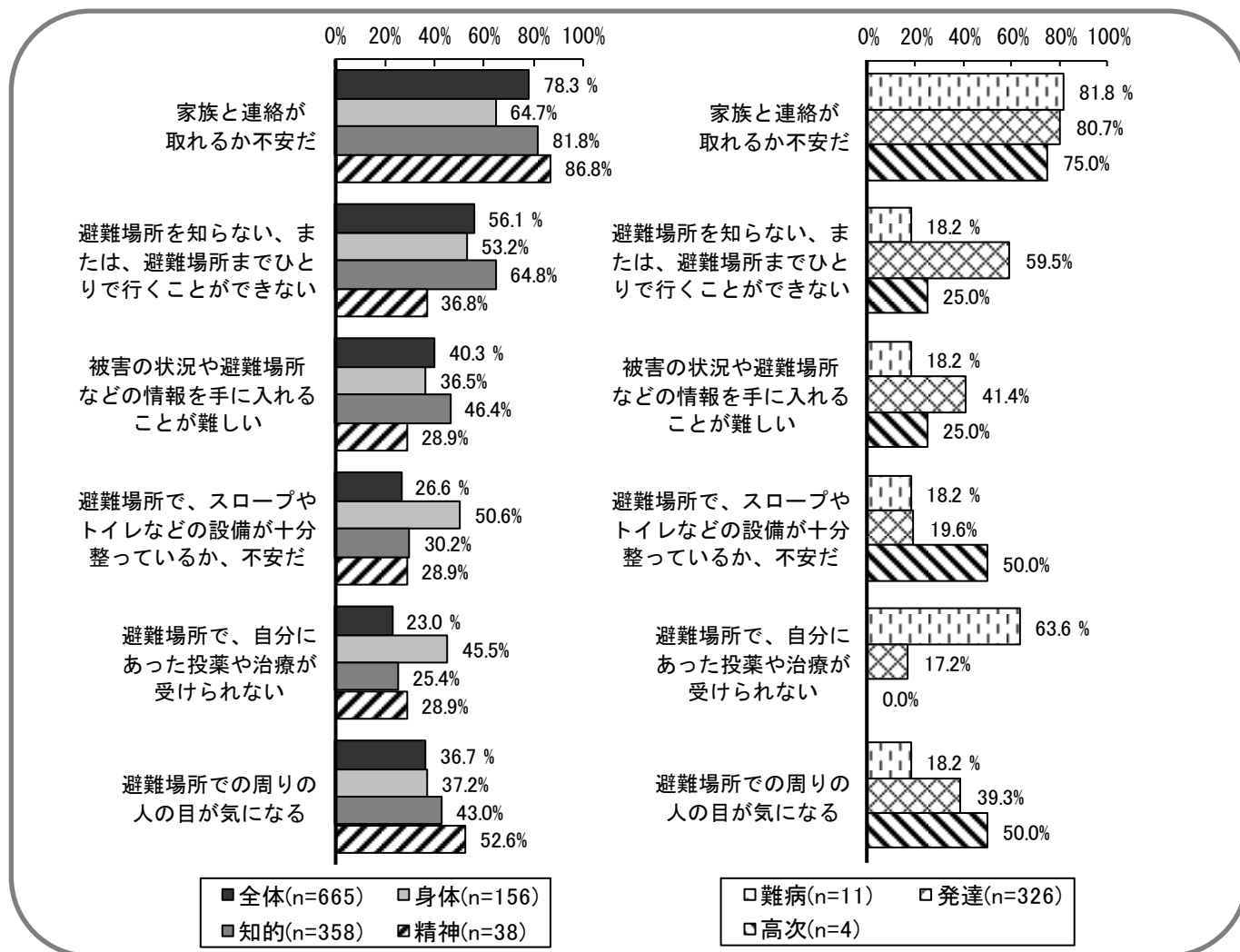
(→詳細な調査結果は177ページ)



<18歳未満>

●「家族と連絡が取れるか不安」は8割に迫って高い。

■障がいの分類別結果（グラフは主な選択肢）



18歳未満では、18歳以上と同じく「家族と連絡が取れるか不安だ」との回答が最も高くなっていますが、78.3%と18歳以上よりも高い結果となっています。

他にも、「避難場所を知らない、または避難場所までひとりで行くことができない」、「被害の状況や避難場所などの情報を手に入れることが難しい」、「避難場所での周りの人の目が気になる」などの項目は18歳以上よりも高い回答となっています。

(→詳細な調査結果は193ページ)

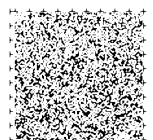


◆年齢別の傾向<18歳以上/18歳未満> (単位：%)

	家族と連絡が取れるか不安だ	避難場所を知らない、または、避難場所までひとりで行くことができない	避難場所を知らない、または、避難場所に入る手が難しい	被害の状況や避難場所などの情報を手に入れることが難しい	避難場所での設備が十分整っているか、不安だ	避難場所での設備が受けられない	避難場所での周りの人の目が気になる	その他	無回答
0～2歳 (n=31)	58.1	54.8	16.1	32.3	38.7	35.5	19.4	3.2	
3～5歳 (n=141)	72.3	59.6	38.3	23.4	17.0	32.6	11.3	2.1	
6～11歳 (n=225)	78.7	63.1	42.7	26.2	23.6	33.3	7.6	0.9	
12～14歳 (n=104)	86.5	52.9	42.3	26.0	20.2	46.2	6.7	1.9	
15～17歳 (n=154)	81.2	44.2	40.9	29.9	26.6	38.3	9.1	1.9	
18～39歳 (n=393)	64.9	34.1	28.5	20.1	37.4	31.8	8.7	4.6	
40～64歳 (n=772)	61.7	25.8	23.7	25.9	43.1	20.9	6.5	5.6	
65歳以上 (n=1123)	51.3	34.6	23.1	35.2	37.0	14.4	5.9	12.3	

年齢別にみると、「家族と連絡が取れるか不安だ」と「避難場所での周りの人の目が気になる」との回答は[12～17歳]の中学生・高校生の時期での回答が特に高くなっています。また、「被害の状況や避難場所などの情報を手に入れることが難しい」については、[6～17歳]の学童期での回答が4割を超えて高くなっています。「避難場所を知らない、または避難場所までひとりで行くことができない」、については[14歳以下]で、5割を超えています。

一方、「避難場所での自分にあった投棄や治療が受けられない」については、[0～2歳]と、[18歳以上]が4割前後で高く、「避難場所での設備が十分整っているか、不安だ」については、[0～2歳]と[65歳以上]で3割を超えて高くなっています。

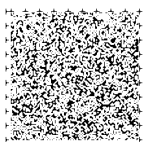


◆地区別の傾向<18歳以上/18歳未満> (単位：%)

		家族と連絡が取れるか不安だ	避難場所を知らない、または、避難場所までひとりで行くことができない	被災の状況や避難場所などの情報を手に入れることが難しい	避難場所やスロープやトイレなどの設備が十分整っていない	避難場所、自分にあつた投薬や治療が受けられない	避難場所での周りの人の目が気になる	その他	無回答
18歳以上	全体 (n=2308)	56.9	31.7	24.1	29.5	39.0	19.5	6.5	8.8
	大森地域 (n=640)	58.0	35.0	27.0	30.5	41.1	23.3	6.3	6.9
	調布地域 (n=545)	56.5	28.6	20.2	28.1	37.1	17.2	7.2	9.5
	蒲田地域 (n=673)	55.7	31.5	22.4	29.1	37.7	17.8	7.1	7.6
	糀谷・羽田地域 (n=344)	58.1	32.0	29.9	28.8	39.8	21.2	5.5	11.0
18歳未満	全体 (n=665)	78.3	56.1	40.3	26.6	23.0	36.7	9.3	1.7
	大森地域 (n=189)	77.8	62.4	45.5	25.4	21.2	36.0	10.6	1.6
	調布地域 (n=170)	80.6	53.5	41.8	28.2	25.9	36.5	8.2	1.2
	蒲田地域 (n=194)	75.8	55.2	35.6	25.8	24.7	36.1	8.8	2.6
	糀谷・羽田地域 (n=89)	78.7	51.7	33.7	28.1	18.0	39.3	10.1	1.1

地域別の傾向としては、全体との比較では、18歳以上では大きな差異は特に見られませんでした。

18歳未満では、[大森地域]で、「避難場所を知らない、または、避難場所までひとりで行くことができない」、「被災の状況や避難場所などの情報を手に入れることが難しい」との回答が高くなっています。また、[糀谷・羽田地域]では「被災の状況や避難場所などの情報を手に入れることが難しい」と「避難場所、自分にあつた投薬や治療が受けられない」との回答が低くなっています。



(4) 外出頻度 (18 歳以上 問 27/18 歳未満 問 26)

問 ふだん、あなたはどのくらい外出をしていますか。(○は1つ)

<18 歳以上>

●「ほとんど毎日外出する」人の割合は全体の 43.1%。

■障がいの分類別結果 (単位：%)

	ほとんど毎日 外出する	週に3~4日 外出する	週に1~2日 外出する	ほとんど 外出しない	無回答
全体 (n=2308)	43.1	22.7	18.2	12.4	3.6
身体 (n=1312)	35.7	26.5	19.4	14.4	3.9
知的 (n=365)	53.2	11.8	19.7	10.4	4.9
精神 (n=387)	47.3	20.9	18.9	10.6	2.3
難病 (n=408)	52.0	21.3	14.7	10.3	1.7
発達 (n=84)	59.5	9.5	17.9	9.5	3.6
高次 (n=59)	28.8	27.1	15.3	22.0	6.8

18 歳以上では、「ほとんど毎日外出する」人は全体の 43.1%となっています。分類別では「ほとんど外出しない」で、[高次]が 22.0%が全体よりも高くなっています。

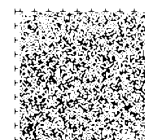
<18 歳未満>

●「ほとんど毎日外出する」人の割合は全体の 74.6%。

■障がいの分類別結果 (単位：%)

	ほとんど毎日 外出する	週に3~4日 外出する	週に1~2日 外出する	ほとんど 外出しない	無回答
全体 (n=665)	74.6	9.0	11.3	3.6	1.5
身体 (n=156)	69.9	9.0	10.9	9.0	1.3
知的 (n=358)	70.9	8.1	15.6	3.4	2.0
精神 (n=38)	63.2	15.8	13.2	7.9	0.0
難病 (n=11)	90.9	9.1	0.0	0.0	0.0
発達 (n=326)	76.7	10.1	10.4	1.2	1.5
高次 (n=4)	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0

18 歳未満では、学校等へ通う人が多い (18 歳未満 問 11) 事から、「ほとんど毎日外出する」との回答が 74.6%と 18 歳以上と比べても高くなっています。

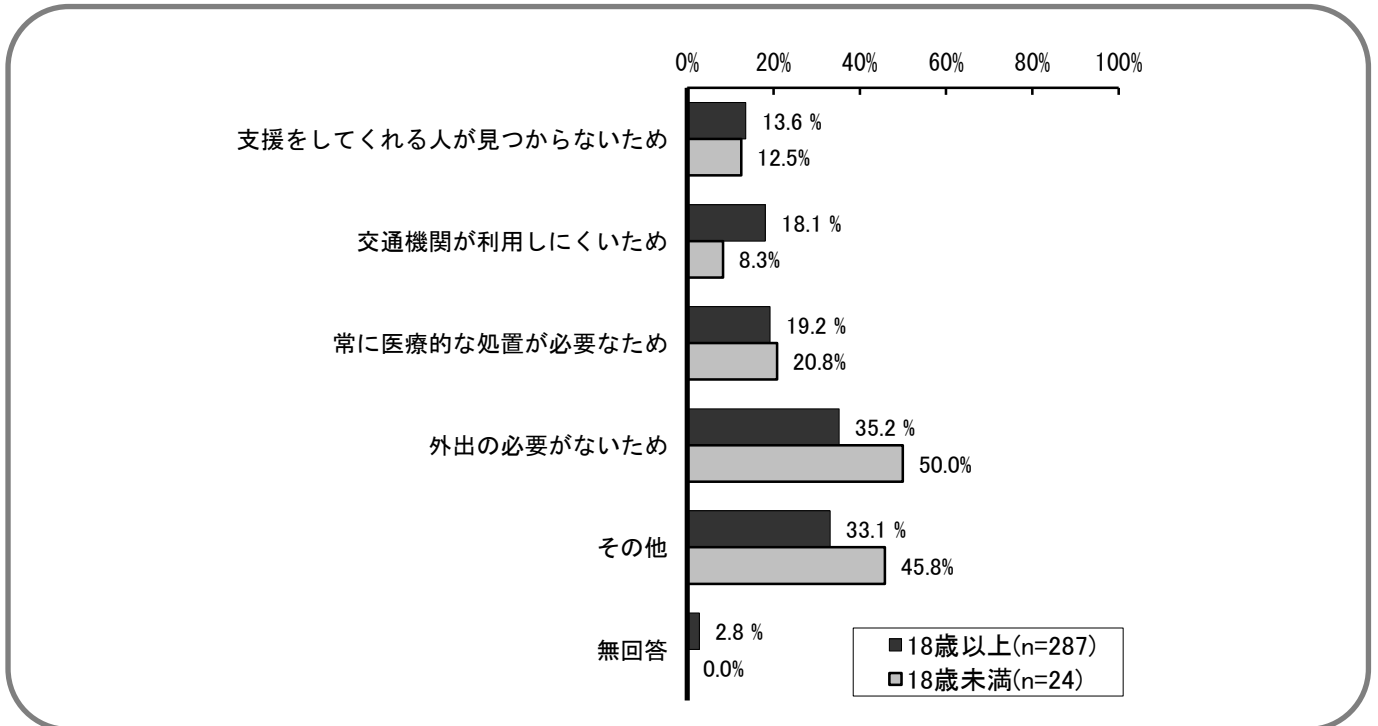


(5) 外出しない理由 (18歳以上 問28/18歳未満 問27)

問 「(1) 外出の頻度」で「ほとんど外出しない」とお答えの方へ) あなたが「ほとんど外出しない」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

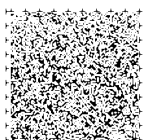
●「外出の必要がないため」が高い。

■ 調査結果



ほとんど外出しない人の理由としては、「外出の必要がないため」との回答が18歳以上では35.2%で最も高く、18歳未満でも50.0%で最も高くなっています。

「その他」との回答が高くなっていますが、主な記述内容としては病院の入院が挙げられています。



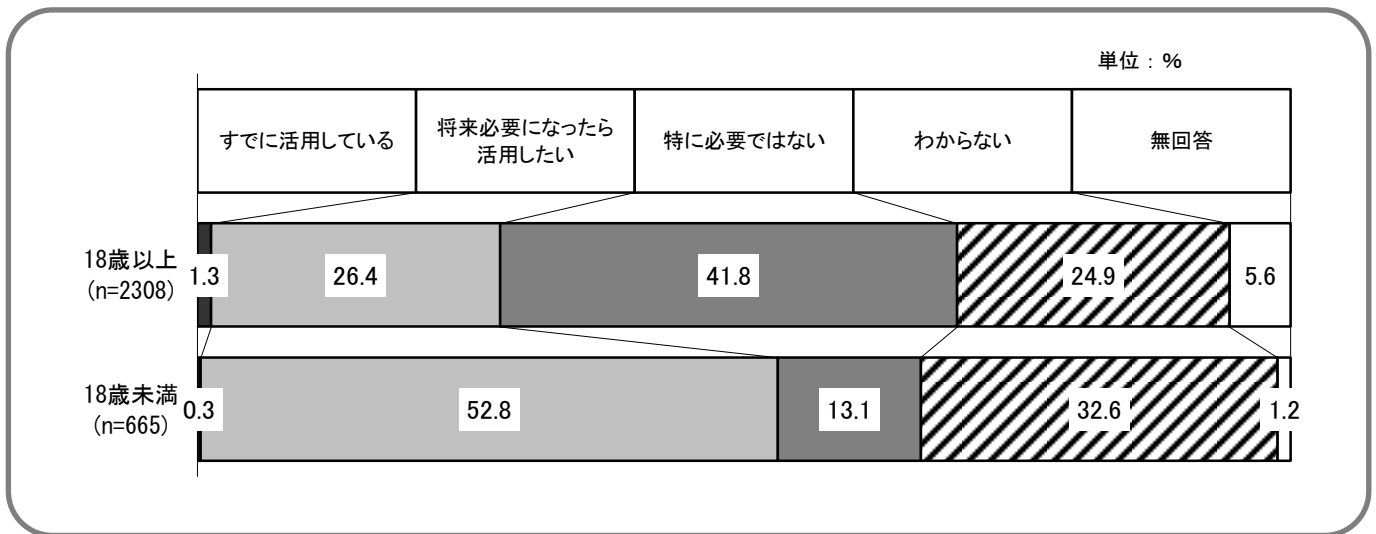
6 権利擁護

(1) 「成年後見制度」の認知度・利用希望 (18歳以上 問29/18歳未満 問28)

問 あなたは、成年後見制度を活用したいですか。(○は1つ)

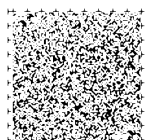
●18歳以上で「すでに活用している」人は1.3%。

■調査結果



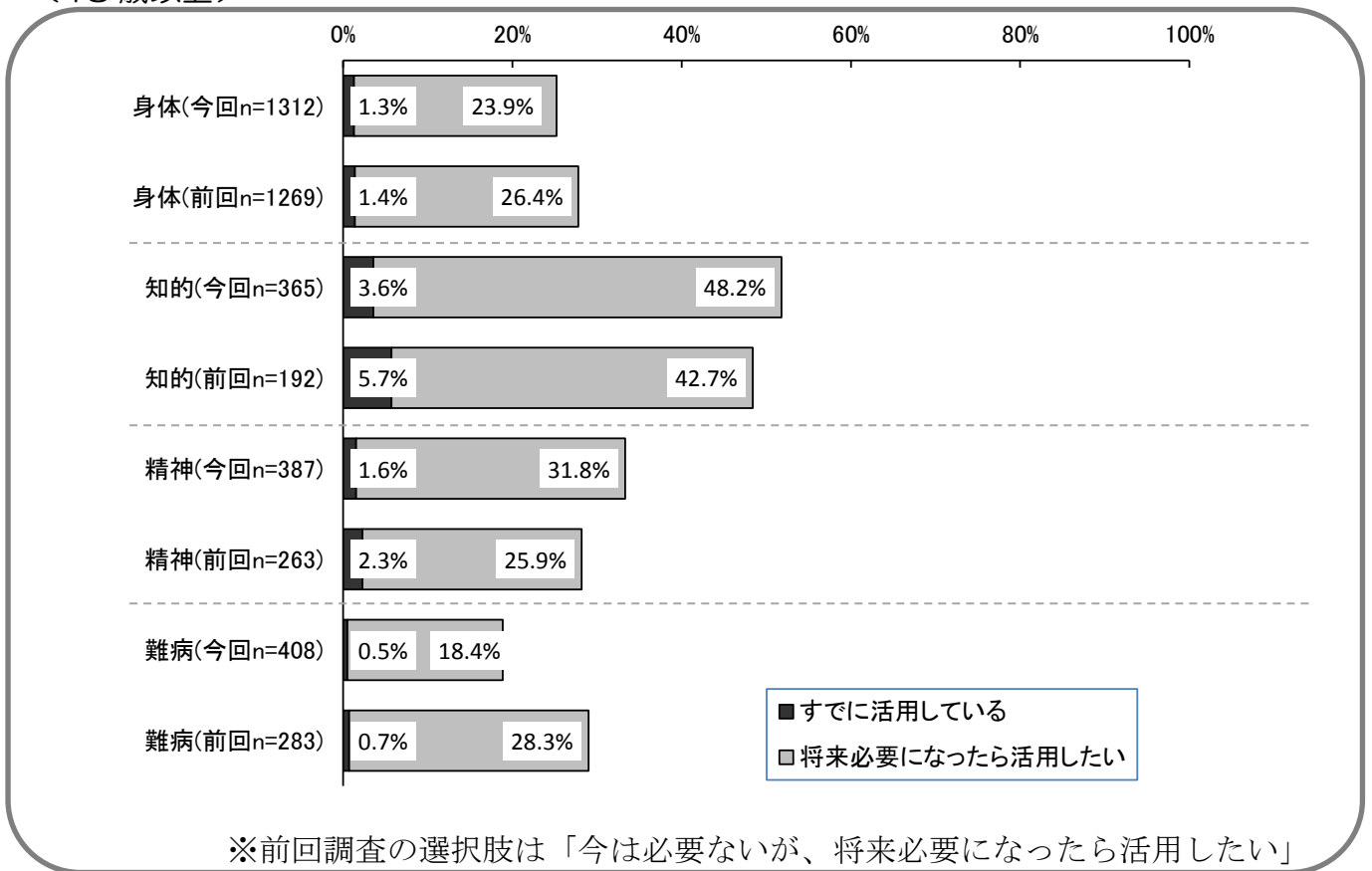
成年後見制度の活用については、18歳以上では「特に必要ではない」との回答が41.8%で最も高くなっています。18歳未満では、「将来必要になったら活用したい」との回答が52.8%で最も高くなっています。

「すでに活用している」との回答については、18歳以上では1.3%、18歳未満では0.3%となっています。



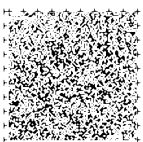
■ 「活用している」または「将来活用したい」方の経年変化（参考）

<18歳以上>



成年後見制度の利用が現実的である18歳以上の傾向について経年で比較すると、「すでに活用している」との回答についてはいずれの分類でも低い傾向のままとなっています。

一方、[知的]や、[精神]では「将来必要になったら活用したい」との回答が前回よりも高くなっています。

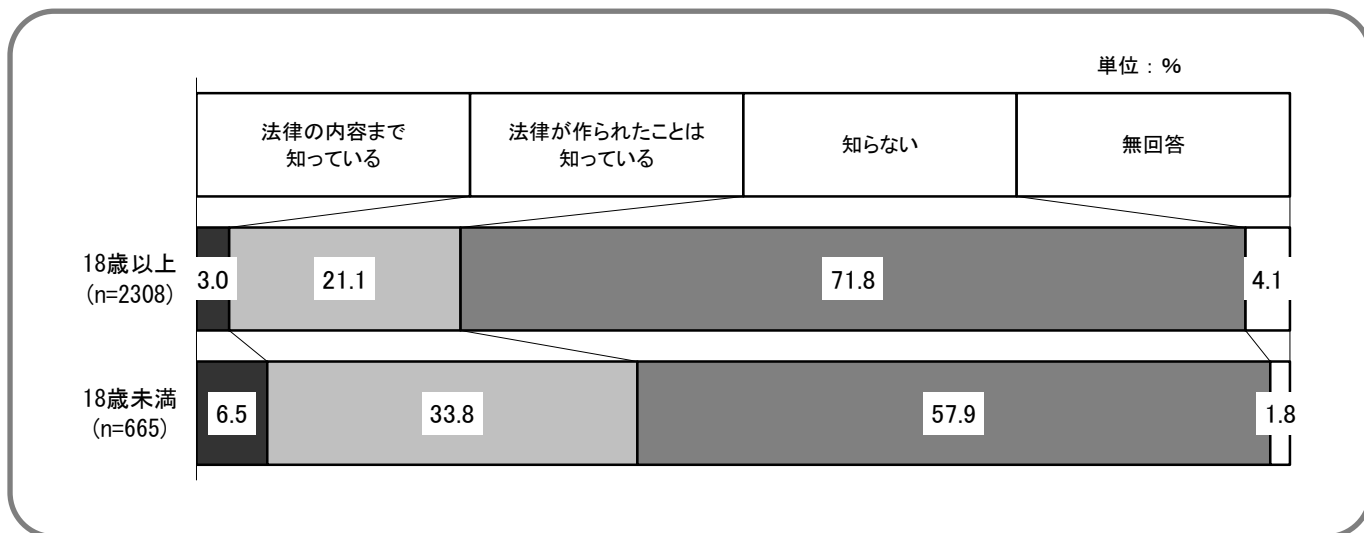


(2) 障害者差別解消法の認知度 (18歳以上 問30/18歳未満 問29)

問 あなたは、平成28年4月に「障害者差別解消法」が施行されたことを知っていますか。
(○は1つ)

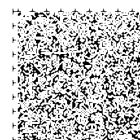
●18歳以上で「法律の内容まで知っている」人は3.0%。

■調査結果



「障害者差別解消法」の認知度については、18歳以上では「法律の内容まで知っている」人は全体の3.0%です。「法律の内容まで知っている」と「法律が作られたことは知っている」を合わせても、全体の24.1%にとどまっています。

18歳未満では「法律の内容まで知っている」人は全体の6.5%です。「法律の内容まで知っている」と「法律が作られたことは知っている」を合わせた『知っている』層は、全体の40.3%です。

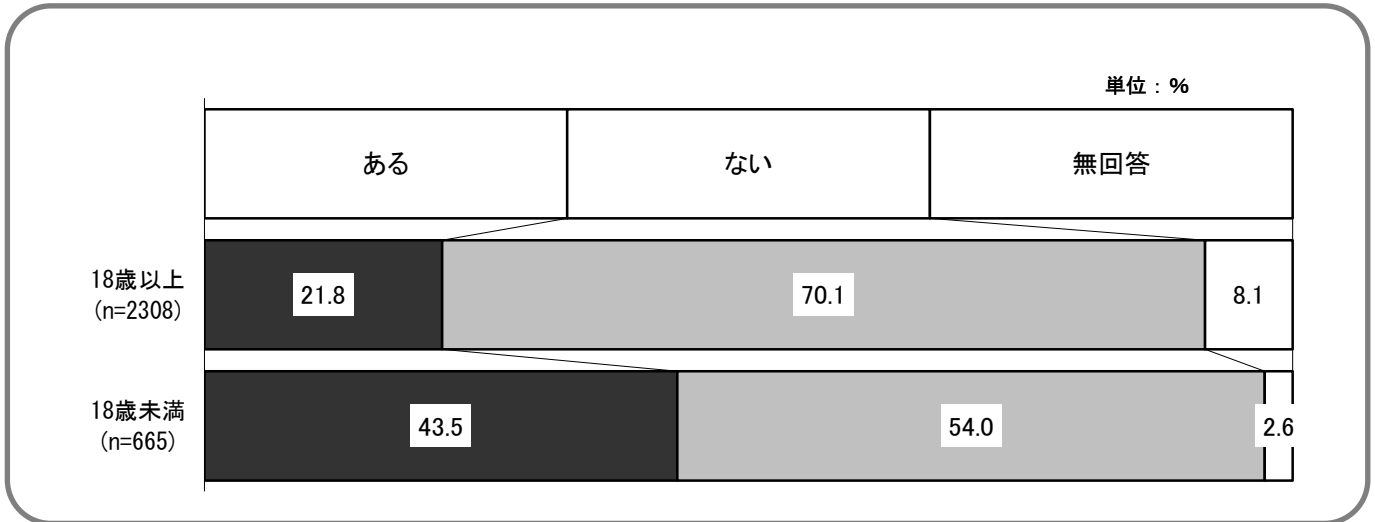


(3) 差別を受けた経験 (18歳以上 問31/18歳未満 問30)

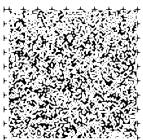
問 あなたは、これまでに差別をされたと感じた経験はありますか。(○は1つ)

●「ある」と回答した人は18歳以上で21.8%、18歳未満では43.5%。

■ 調査結果



差別を受けた経験について「ある」と回答した方は、18歳以上で21.8%、18歳未満では43.5%となっています。

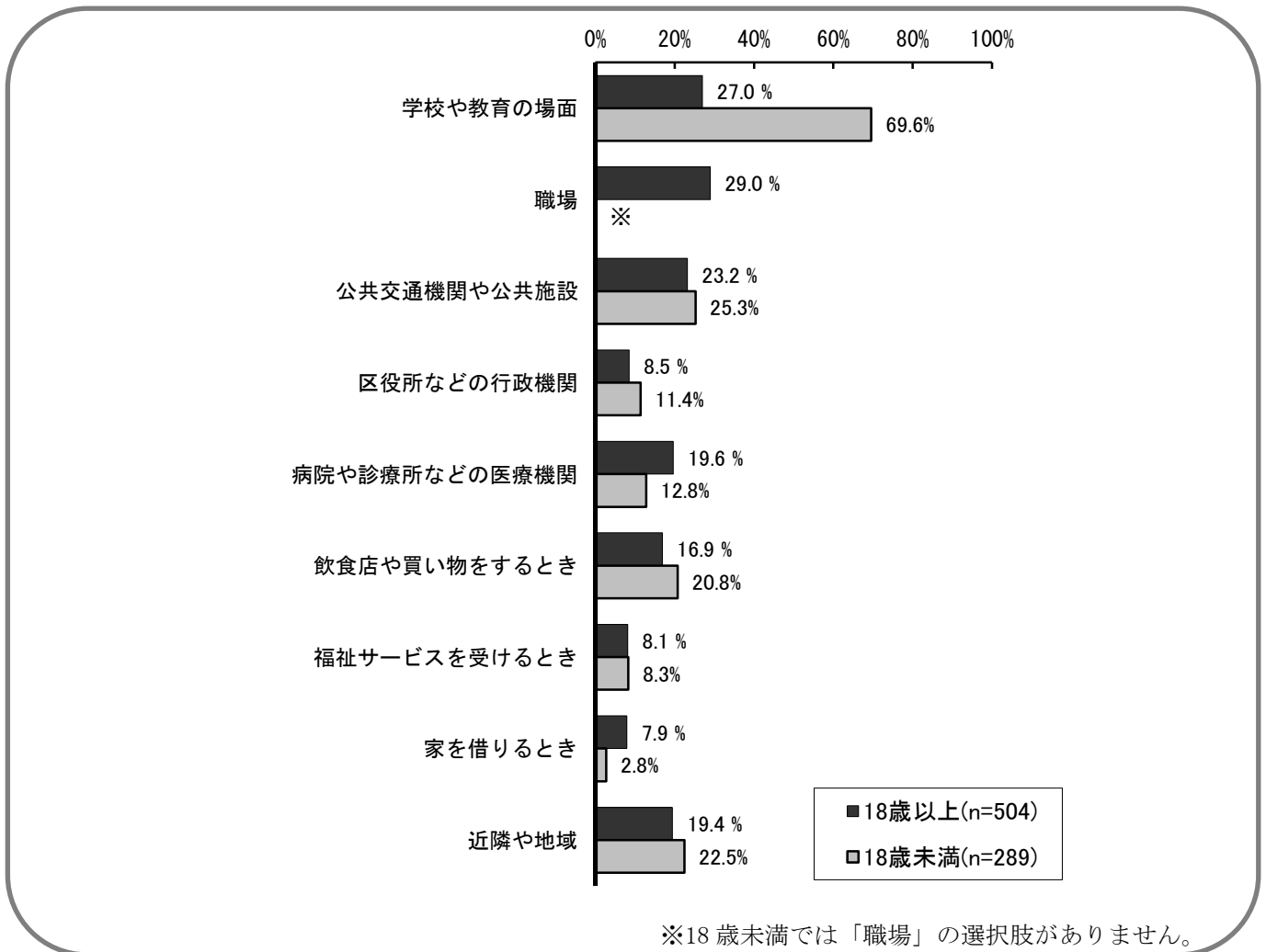


(4) 差別を受けた場所や場面 (18歳以上 問32/18歳未満 問31)

問 (「(3) 差別されたと感じた経験」で「ある」とお答えの方へ) あなたが差別をされたと感じたのは、どのような場所や場面においてですか。(〇はいくつでも)

●18歳以上では「職場」が、18歳未満では「学校や教育の場面」が最も高い。

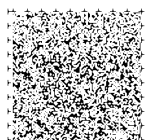
■調査結果 (グラフは主な選択肢)



差別を受けた場面については、18歳以上では「職場」との回答が29.0%で最も高くなっており、次いで「学校や教育の場面」、「公共交通機関や公共施設」などとなっています。

18歳未満では、「学校や教育の場面」との回答が69.6%と最も高くなっており、次いで「公共交通機関や公共施設」、「近隣や地域」などとなっています。

(→詳細な調査結果は18歳以上179ページ、18歳未満195ページ)



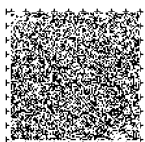
◆年齢別の傾向<18歳以上/18歳未満> (単位：%)

	学校や教育の場面	職場	公共交通機関や公共施設	区役所などの行政機関	病院や診療所などの医療機関	飲食店や買い物をするとき	福祉サービスを受けるとき	家を借りるとき	近隣や地域	その他	無回答
0～2歳 (n=14)	50.0	/	42.9	28.6	35.7	42.9	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0
3～5歳 (n=48)	75.0		20.8	20.8	8.3	12.5	12.5	0.0	12.5	8.3	0.0
6～11歳 (n=106)	66.0		19.8	12.3	12.3	18.9	9.4	2.8	23.6	7.5	1.9
12～14歳 (n=51)	70.6		27.5	3.9	15.7	21.6	5.9	2.0	31.4	2.0	0.0
15～17歳 (n=66)	72.7		31.8	6.1	10.6	24.2	6.1	4.5	24.2	7.6	0.0
18～39歳 (n=161)	45.3	28.0	21.7	8.1	21.1	16.8	9.9	7.5	16.8	8.7	1.9
40～64歳 (n=215)	20.9	39.1	22.3	8.4	21.9	16.3	6.0	9.8	19.1	9.3	3.3
65歳以上 (n=124)	14.5	12.9	26.6	8.9	13.7	17.7	9.7	5.6	23.4	14.5	5.6

年齢別にみると、[0～17歳]で「学校や教育の場面」との回答がいずれも半数を超えて高くなっています。

「区役所などの行政機関」では[0～5歳]の回答が2割台と高くなっています。

「公共交通機関や公共施設」、「病院や診療所などの医療機関」、「飲食店や買い物をするとき」では[0～2歳]の回答が各年代で最も高くなっており、保護者等が、障がいのある子どもを抱えての様々な場面での対応に苦慮している状況がうかがえます。



(5) 差別を受けた内容 (18歳以上 問33/18歳未満 問32)

問 「(3) 差別されたと感じた経験」で「ある」とお答えの方へ「(4) 差別を感じた場面」で受けた経験は、どのような内容でしたか。具体的にお書きください。

■記述内容として寄せられた主な意見

※以下の記述は、感じた経験として寄せられた回答について「(4) 差別を感じた場面」の選択肢ごとに分類したものであり、これらの内容が差別に該当するということを示すものではありません。

<18歳以上>

1. 学校や教育の場面

- ・いじめ、からかい。
- ・病名を理由に必修の授業を受けられなかった。学校以外の施設の協力が必要だったから。
- ・差別というより偏見。「君は障がい者だからできない、ダメ」など

2. 職場

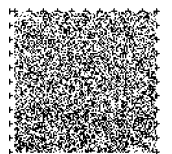
- ・人工透析のため、退勤時間の調整の合意があつたにもかかわらず、上司の異動後は対応がなくなっている
- ・会社におけるレクリエーションや集まり、食事会、旅行にははじめから誘われません。
- ・上司からの暴言、パワハラ等。

3. 公共交通機関や公共施設

- ・バスの運転手に料金の支払いについて誤解を受けた
- ・スムーズな誘導をしてもらえず、困った事がある。白杖を持っているのに書類の記入をうながされた
- ・シルバーカー利用で踏み切りを渡る時、車輪が線路内の溝にはまり動けないときなど人目が気になる

4. 区役所などの行政機関

- ・窓口の方に声をかけられた時答えにこまっていると「日本人ですか?」「日本語わかりますか?」と言われ言葉が出なかったようです。一緒に居た父親が憤慨。
- ・ハローワークで、医師の診断書がないと紹介できないと言われた。その一点張りでした。医師は「お前は普通に働いて大丈夫」とのこと。
- ・職員から、先入観と偏見で決めつけられることがある。自分から話しかけることが苦手なだけなのに人嫌いと言われ孤立させられた。



5. 病院や診療所などの医療機関

- ・以前、生活保護を受給していたのですが、「生活保護＝働いていない？」という内容の言葉を医師から質問された。(偏見に近い言葉をかけられた)
- ・病院での診察が一番最後にされた。治療をしてもらえなかった(あばれたら困るからとのこと)
- ・受け入れてもらえる病院が限られる

6. 飲食店や買い物をするとき

- ・人の多い場所でぶつかり先にあやまっても非難される。買い物のレジなどで並んでいる人に気付かず割り込み者と販売員にも他の客にも判断される。
- ・高次能機能障害は外見から判断が出来ないため嫌な思いをする事が多々ある。ヘルプカードをつけているが認知度が低い
- ・飲食店の入店を断られた。車椅子だと狭いなどの理由で。

7. 福祉サービスを受けるとき

- ・特養を申し込んで、順番が来たので見学に行ったら皮膚病(人に移らない)があるため塗り薬などが多く、無理だと断られた。(2ヶ所の特養で)人手が足りないという理由だった。
- ・補聴器の点検に行った時、すべての人ではないけど迷惑そうにしている人が多い。
- ・デイサービスの職員の私に対する偏った見方。

8. 家を借りるとき

- ・保証人がいなくて、精神手帳を持っているため、なかなか部屋を借りられなかった
- ・アパートを借りるとき、精神の病気だと言わないで、別の病気と大家に云うように不動産から云われた
- ・鬱病だと借してくれる大家さんが少ない

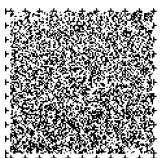
9. 近隣や地域

- ・月1回の庭の掃除なのですが、見えないのでただ立っているだけなので出来ないというが、でないダメと言われる。
- ・目が見えないからあいさつをしていないとか無視されるとか言われて偏見をもたれている
- ・地域活動などで出来ることも障害があると云うことでさせてもらえなかった

<18歳未満>

1. 学校や教育の場面

- ・どうせできないだろうという前提で、他の子と同じことをする機会を与えられなかった。
- ・学校の受け入れをことわられた。(対応できないとのこと)



2. 公共交通機関や公共施設

- ・公共交通機関の待合で、静かに座っていただけなのに、“障がい者”のタグを見た隣の人があからさまにイヤな顔をして席を立っていった。
- ・電車に乗る時車椅子用スペースをあけてくれなかったり、タイヤをけられたりする。

3. 区役所などの行政機関

- ・月齢を書いたシールを貼らせるシステムをやめてほしい。貼るのがつらくて行けなくなった。またそういう母親を何人も知っている。
- ・就学時健診の際、障害児である事を伝えても合理的配慮がなされなかった。親子共々負担が大きく大変だった。

4. 病院や診療所などの医療機関

- ・診療で他の子供は診察後シールを先生からもらっているのにうちの子供はもらえない。恐らくもらっても理解出来ないと思われているのだと思う。
- ・大学病院で治療する際に嫌な顔をされた。入院の際、他の人の迷惑になるので個室を希望させられた(自費)医者の方にもよると思いますが。

5. 飲食店や買い物をするとき

- ・買物中エレベーターに乗っていたら、お客さんに「こんな大きなベビーカーで乗らないで！」と言われた。バギーが入らないから入店を拒否された。
- ・飲食店で車椅子が入りやすいように少しテーブルを動かしたかったが、断られた。

6. 福祉サービスを受けるとき

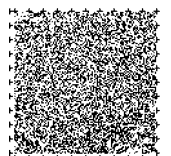
- ・サービスを利用したいと思って連絡した際「身体不自由児は受け入れてません」と電話でことわられた。
- ・移動支援、支給時間、決定のあり方自体”基本家族が面倒を見る”というのが根底に残っている印象。

7. 家を借りるとき

- ・車イス利用で家をかりることができず大変だった。
- ・母子家庭なので部屋を探す際、家賃の心配や子供の声(突然大きな声)などでほとんど断られる。

8. 近隣や地域

- ・聞こえない事を相手に伝えても、筆談等に応じてもらえなかった。
- ・遊びの輪の中に入れてもらえない。何もしていなくても(相手に対し)何かするのではという目で見られて距離をおかれる。一緒に遊んだり関わったりする事をさけられる。



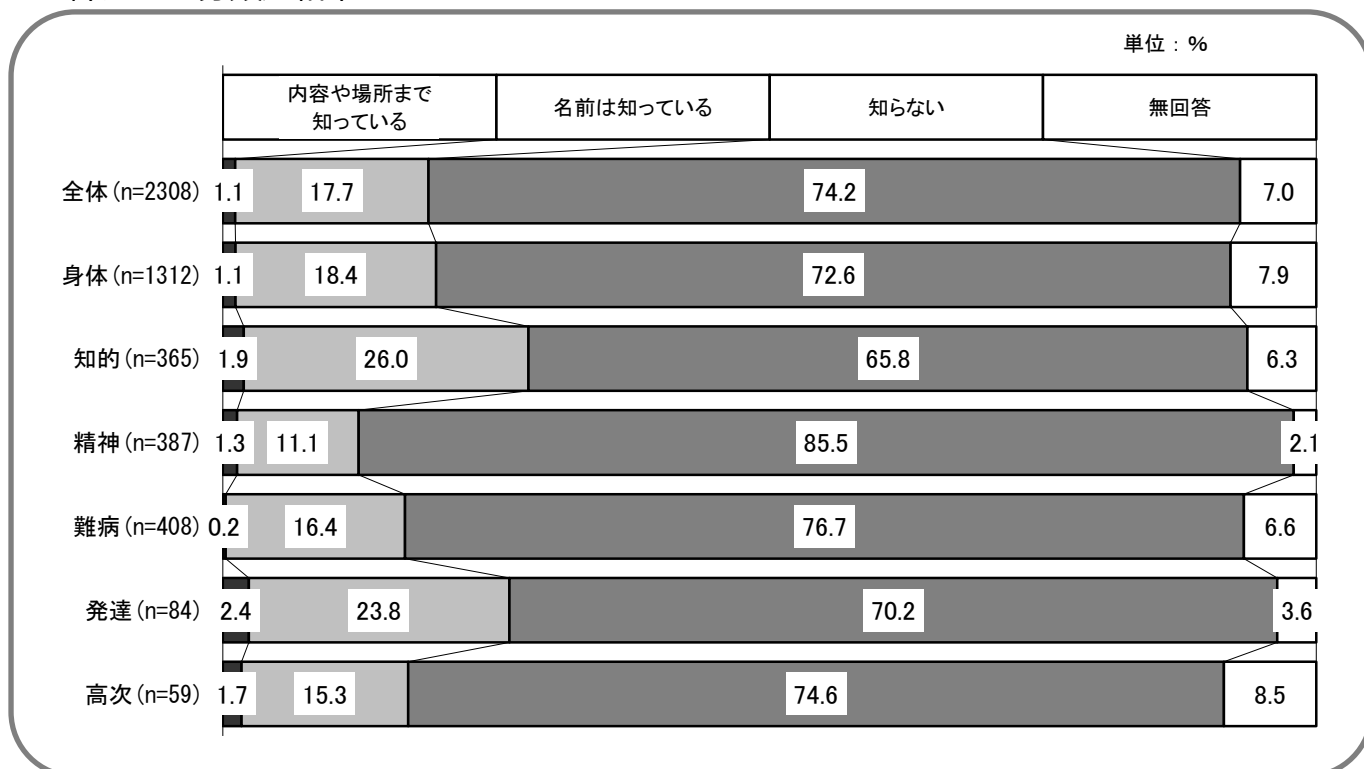
(6) 虐待防止センターの認知度 (18 歳以上 問 34/18 歳未満 問 33)

問 あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。(○は1つ)

<18 歳以上>

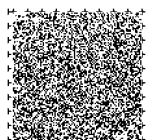
●「内容や場所まで知っている」人は全体の 1.1%

■ 障がいの分類別結果



「障害者虐待防止センター」の認知度については、18 歳以上では「内容や場所まで知っている」との回答は全体の 1.1%にとどまっています。

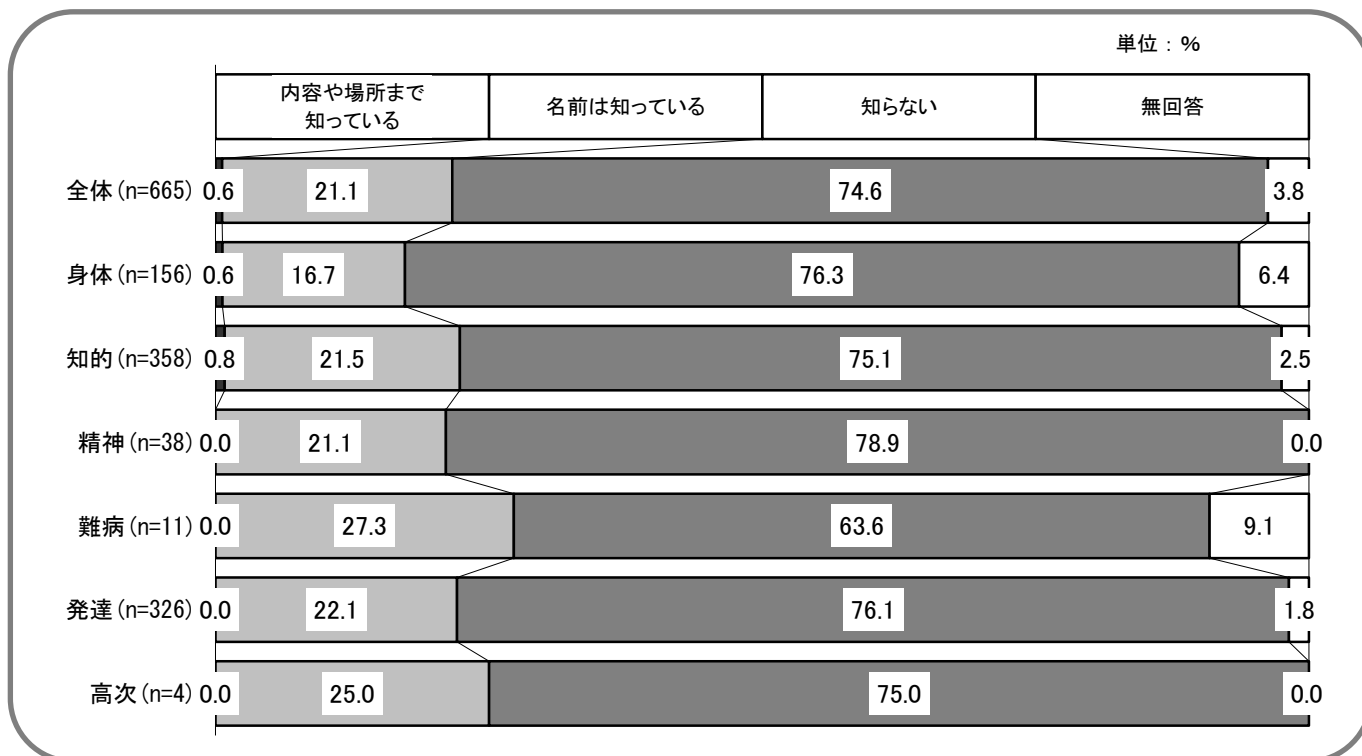
分類別にみると、「内容や場所まで知っている」と「名前まで知っている」を合わせた『知っている』層は、[知的]で 27.9%が最も高くなっていますが、いずれも 3 割を下回っています。



<18 歳未満>

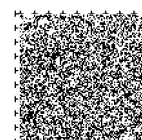
●「内容や場所まで知っている」人は全体の0.6%。

■障がいの分類別結果



18 歳未満では「内容や場所まで知っている」との回答は全体の0.6%です。

分類別にみると、「内容や場所まで知っている」と「名前まで知っている」を合わせた『知っている』層は、[難病]で27.3%が最も高くなっていますが、18 歳未満でもいずれも3割を下回っています。



7 相談や情報

(1) 福祉情報の入手方法 (18歳以上 問35/18歳未満 問34)

問 あなたは、福祉に関する情報などを、どのような方法で入手していますか。

(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●「区報」がいずれの分類でも高い。[精神]や[難病]などで「インターネット」が高い。

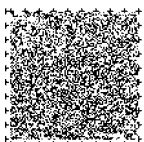
■障がいの分類別結果 (上位5回答、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
全体 (n=2308)	区報で 39.5	新聞や地域情報紙などで 17.7	区役所の職員を介して 17.0	テレビ・ラジオなどで 16.6	友人・知人を介して 15.1
身体 (n=1312)	区報で 45.6	新聞や地域情報紙などで 20.6	テレビ・ラジオなどで 19.0	区役所の職員を介して 17.8	友人・知人を介して 14.6
知的 (n=365)	区報で 33.2	障がい者団体や家族会を介して 27.1	相談支援専門員を介して 25.2	区役所の職員を介して 23.3	友人・知人を介して 21.9
精神 (n=387)	区報で 26.1	インターネットのホームページで 24.8	医療機関の相談窓口で 22.2	区役所の職員を介して 19.1	友人・知人を介して 17.6
難病 (n=408)	区報で 37.7	インターネットのホームページで 29.7	医療機関の相談窓口で 22.3	新聞や地域情報紙などで 18.4	テレビ・ラジオなどで 15.0
発達 (n=84)	区報で 26.2	友人・知人を介して 25.0	インターネットのホームページで 23.8	区役所の職員を介して/ 相談支援専門員を介して 22.6	
高次 (n=59)	区報で 35.6	区役所の職員を介して/ 相談支援専門員を介して 23.7		インターネットのホームページで 15.3	医療機関の相談窓口で/ テレビ・ラジオなどで 15.3

情報の入手方法としては、「区報」との回答が全体で39.5%と最も高くなっており、分類別にみても、いずれの分類でも「区報」が最も高くなっています。

他の選択肢では、[精神]や[難病]では「インターネットのホームページで」との回答が、[知的]では[障がい者団体や家族会を介して]が2番目に高くなっています。

(→詳細な調査結果は180ページ)

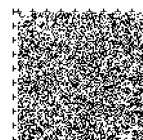


■[身体]の「手帳を取るきっかけ(問6)」別結果(上位5回答、単位:%)

分類	1 番目	2 番目	3 番目	4 番目	5 番目
身体 (n=1312)	区報で 45.6	新聞や地域情報紙などで 20.6	テレビ・ラジオなどで 19.0	区役所の職員を介して 17.8	友人・知人を介して 14.6
視覚 (n=211)	区報で 37.9	テレビ・ラジオなどで 25.1	区役所の職員を介して 18.0	友人・知人を介して 17.5	新聞や地域情報紙などで 14.7
聴覚 (n=228)	区報で 44.3	新聞や地域情報紙などで 22.8	テレビ・ラジオなどで 18.0	友人・知人を介して 17.5	区役所の職員を介して 14.5
音声 (n=110)	区報で 43.6	新聞や地域情報紙などで 24.5	テレビ・ラジオなどで 22.7	区役所の職員を介して 20.0	相談支援専門員を介して 17.3
運動 (n=462)	区報で 45.7	新聞や地域情報紙などで 24.2	テレビ・ラジオなどで 19.3	区役所の職員を介して 17.5	友人・知人を介して 15.6
内部 (n=348)	区報で 52.3	医療機関の相談窓口で 21.6	新聞や地域情報紙などで 20.4	区役所の職員を介して 18.1	テレビ・ラジオなどで 14.7

[身体]の「手帳を取るきっかけ(問6)」別にみると、いずれも「区報」との回答が最も高いものの、[内部]では「医療機関の相談窓口で」が21.6%で2番目に高くなっています。

(→詳細な調査結果は180ページ)



<18歳未満>

●「友人・知人を介して」「ホームページ」が高い。

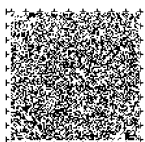
■障がいの分類別結果（上位5回答、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
全体 (n=665)	友人・知人を介して 43.6	インターネットのホームページで 37.0	区報で 28.6	区役所の職員を介して 22.1	障がい者団体や家族会を介して 16.7
身体 (n=156)	友人・知人を介して 50.0	インターネットのホームページで 35.9	区報で 32.7	区役所の職員を介して 29.5	障がい者団体や家族会を介して 15.4
知的 (n=358)	友人・知人を介して 51.4	区報で 31.3	インターネットのホームページで 29.9	障がい者団体や家族会を介して 24.3	区役所の職員を介して 23.2
精神 (n=38)	インターネットのホームページで 36.8	友人・知人を介して 26.3	区報で 21.1	医療機関の相談窓口で 18.4	新聞や地域情報紙などで 15.8
難病 (n=11)	インターネットのホームページで 45.5	医療機関の相談窓口で／障がい者団体や家族会を介して／テレビ・ラジオなどで		18.2	区役所の職員を介して 9.1
発達 (n=326)	インターネットのホームページで 43.9	友人・知人を介して 41.7	区報で 29.1	区役所の職員を介して 19.9	福祉施設の掲示板などで 16.6
高次 (n=4)	区役所の職員を介して 75.0	インターネットのホームページで 50.0	/		

18歳未満では「友人・知人を介して」との回答が43.6%で最も高くなっており、次いで「インターネットのホームページで」、「区報で」などとなっています。

分類別の結果でも[高次]での「区役所の職員を介して」を除けば、「友人・知人を介して」、「インターネットのホームページで」のいずれかが最も高くなっています。

(→詳細な調査結果は195ページ)

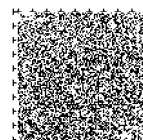


◆年齢別の傾向（上位5回答、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
0～2歳 (n=31)	インターネットのホームページで 61.3	区役所の職員を介して 35.5	友人・知人を介して 19.4	区報で 12.9	医療機関の相談窓口で 12.9
3～5歳 (n=141)	インターネットのホームページで 45.4	友人・知人を介して 42.6	区報で 33.3	区役所の職員を介して 26.2	福祉施設の掲示板などで 24.8
6～11歳 (n=225)	友人・知人を介して 50.2	インターネットのホームページで 42.2	区報で 28.9	区役所の職員を介して 23.6	障がい者団体や家族会を介して 18.2
12～14歳 (n=104)	友人・知人を介して 49.0	区報で 36.5	障がい者団体や家族会を介して 30.8	インターネットのホームページで 27.9	区役所の職員を介して 17.3
15～17歳 (n=154)	友人・知人を介して 36.4	区報で 23.4	インターネットのホームページで 22.1	区役所の職員を介して 15.6	障がい者団体や家族会を介して 14.3
18～39歳 (n=393)	インターネットのホームページで 27.7	区報で 26.5	友人・知人を介して 22.4	区役所の職員を介して 20.1	障がい者団体や家族会を介して 17.6
40～64歳 (n=772)	区報で 34.7	インターネットのホームページで 24.1	区役所の職員を介して 19.0	医療機関の相談窓口で 16.7	テレビ・ラジオなどで 13.9
65歳以上 (n=1123)	区報で 47.4	新聞や地域情報紙などで 23.0	テレビ・ラジオなどで 20.6	区役所の職員を介して 14.7	友人・知人を介して 14.2

年齢別にみると、「区報」との回答は、[40歳以上]で最も高いものの、[12～39歳]では2番目、[3～11歳]では3番目、[0～2歳]では4番目となっています。しかしたとえば[3～5歳]でも33.3%となっており、[40～64歳]（34.7%）と近い値となっておりどの世代においても重要な手段であることがうかがえます。

「インターネットのホームページで」については、回答者数は少ないものの[0～2歳]での61.3%が非常に高くなっており、[3～5歳]や[18～39歳]でも最も高い結果となっています。一方で、[65歳以上]では、上位5回答には入っておらず、世代により手段が多様化していることがうかがえます。



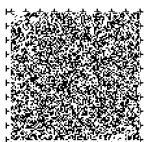
(調査結果)

<18歳未満> (単位：%)

	区役所の職員を介して	友人・知人を介して	区報で	インターネットのホームページで	福祉施設の掲示板などで	相談支援専門員を介して	医療機関の相談窓口で	障がい者団体や家族会を介して	テレビ・ラジオなどで	新聞や地域情報紙などで	その他	無回答
全体 (n=665)	22.1	43.6	28.6	37.0	12.5	9.3	8.6	16.7	6.2	7.8	13.1	2.6
0～2歳 (n=31)	35.5	19.4	12.9	61.3	6.5	6.5	12.9	3.2	0.0	0.0	12.9	0.0
3～5歳 (n=141)	26.2	42.6	33.3	45.4	24.8	18.4	14.2	9.9	5.0	9.2	4.3	1.4
6～11歳 (n=225)	23.6	50.2	28.9	42.2	12.9	8.9	8.0	18.2	6.7	7.1	8.0	2.2
12～14歳 (n=104)	17.3	49.0	36.5	27.9	10.6	6.7	4.8	30.8	10.6	11.5	13.5	2.9
15～17歳 (n=154)	22.1	43.6	28.6	37.0	12.5	9.3	8.6	16.7	6.2	7.8	13.1	2.6

<18歳以上> (単位：%)

	区役所の職員を介して	友人・知人を介して	区報で	インターネットのホームページで	福祉施設の掲示板などで	相談支援専門員を介して	医療機関の相談窓口で	障がい者団体や家族会を介して	テレビ・ラジオなどで	新聞や地域情報紙などで	その他	無回答
全体 (n=2308)	17.0	15.1	39.5	14.9	6.4	10.2	14.3	7.8	16.6	17.7	7.7	8.0
18～39歳 (n=393)	20.1	22.4	26.5	27.7	12.0	17.3	12.2	17.6	10.2	11.7	9.4	5.9
40～64歳 (n=772)	19.0	12.8	34.7	24.1	6.0	7.6	16.7	7.5	13.9	13.2	8.5	4.7
65歳以上 (n=1123)	14.7	14.2	47.4	4.4	4.8	9.5	13.3	4.6	20.6	23.0	6.4	10.6



(2) 情報入手の困りごと (18歳以上 問36/18歳未満 問35)

問 あなたは、福祉に関する情報などを入手するとき、どのようなことに困っていますか。
(○はいくつでも)

<18歳以上>

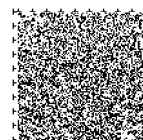
●「どこから情報を得ればよいか分からない」が最も高い。

■障がいの分類別結果 (単位：%)

	い どこから情報を得ればよいかわからな い	情 報の 内容が 難しい	点 字版 や録音 テープ、 音声コ ードな どによ る情報 提供が 少ない	パ ソコン などの 使い方 がわか らない ため、 インタ ーネッ トが利 用でき ない	パ ソコン などを 持って いない ため、 イン ターネ ットが 利用で きない	そ の他	特 に困 って いな い	無 回 答	
全体 (n=2308)	35.5	17.6	1.6	13.2	14.9	3.6	34.7	9.0	
身体 (n=1312)	33.2	14.6	2.3	13.8	16.2	3.7	35.6	9.8	
	視覚 (n=211)	36.5	15.6	12.3	13.3	14.2	4.3	28.4	7.6
	聴覚 (n=228)	35.5	14.0	0.4	18.0	21.1	6.6	31.1	10.1
	音声 (n=110)	40.0	18.2	0.9	16.4	20.0	4.5	30.0	10.0
	運動 (n=462)	36.6	14.7	0.0	12.1	14.3	3.7	33.8	11.0
内部 (n=348)	28.2	10.3	0.6	15.5	18.7	2.6	44.0	7.8	
知的 (n=365)	33.2	28.8	0.8	14.0	14.8	3.6	29.0	12.6	
精神 (n=387)	44.4	25.6	0.8	15.5	13.4	3.9	28.4	5.9	
難病 (n=408)	35.0	15.2	1.0	9.1	12.5	1.7	43.4	4.9	
発達 (n=84)	35.7	36.9	1.2	15.5	14.3	4.8	25.0	8.3	
高次 (n=59)	30.5	20.3	1.7	13.6	6.8	5.1	37.3	11.9	

福祉に関する情報入手の困りごとについては、18歳以上では、「どこから情報を得ればよいか分からない」が35.5%で最も高くなっています。

分類別では、[精神]で「どこから情報を得ればよいか分からない」との回答が、[視覚]では「点字版や録音テープ、音声コードなどによる情報提供が少ない」が、[聴覚]と[音声]では「パソコンを持っていないためインターネットが利用できない」との回答が、それぞれ全体より高くなっています。



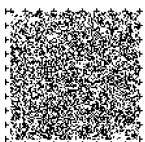
<18歳未満>

●「どこから情報を得ればよいか分からない」が半数を超えて最も高い。

■障がいの分類別結果（単位：％）

	いどこから情報を得ればよいかわからない	情報の内容が難しい	点字版や録音テープ、音声コードなどによる情報提供が少ない	パソコンなどの使い方がわからないため、インターネットが利用できない	パソコンなどを持っていないため、インターネットが利用できない	その他	特に困っていない	無回答	
全体 (n=665)	51.7	28.0	0.5	5.3	3.8	7.1	28.1	3.8	
身体 (n=156)	53.8	28.8	1.3	1.9	2.6	10.3	22.4	4.5	
	視覚 (n=8)	75.0	25.0	25.0	0.0	12.5	12.5	0.0	
	聴覚 (n=25)	60.0	40.0	4.0	0.0	4.0	8.0	20.0	0.0
	音声 (n=18)	55.6	44.4	0.0	0.0	5.6	11.1	11.1	11.1
	運動 (n=99)	57.6	22.2	0.0	3.0	1.0	10.1	22.2	5.1
内部 (n=37)	48.6	40.5	0.0	2.7	5.4	5.4	18.9	8.1	
知的 (n=358)	51.7	32.1	0.6	7.5	5.0	5.6	27.1	3.4	
精神 (n=38)	57.9	26.3	0.0	7.9	2.6	10.5	36.8	0.0	
難病 (n=11)	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	27.3	45.5	9.1	
発達 (n=326)	52.8	27.0	0.3	4.0	3.1	7.1	29.4	3.4	
高次 (n=4)	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	

18歳未満でも、「どこから情報を得ればよいかわからない」が51.7%で半数を超えて最も高くなっています。



(3) 相談者・相談先 (18歳以上 問37/18歳未満 問36)

問 現在、あなたが相談できるのは、どのようなところ(人)ですか。(〇はいくつでも)

<18歳以上>

●「家族や親族」が69.3%で最も高い。

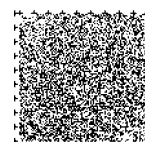
■障がいの分類別結果 (上位5回答と「特にない」、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=2308)	家族や親族 69.3	医療関係者 27.9	区役所 26.7	友人・知人 20.6	福祉施設の職員 12.6	特にない 5.7
身体 (n=1312)	家族や親族 69.2	区役所 28.4	医療関係者 23.8	友人・知人 20.1	福祉施設の職員 10.1	特にない 5.9
知的 (n=365)	家族や親族 72.9	福祉施設の職員 39.7	区役所 33.4	友人・知人 14.0	障がい者総合 サポートセン ター/医療関 係者 13.4	特にない 1.1
精神 (n=387)	家族や親族 64.9	医療関係者 45.2	区役所 27.9	友人・知人 25.6	福祉施設の職員 16.8	特にない 4.7
難病 (n=408)	家族や親族 71.8	医療関係者 39.2	区役所 22.5	友人・知人 20.6	同じ障がいをもつ仲間 4.7	特にない 8.6
発達 (n=84)	家族や親族 75.0	区役所 36.9	医療関係者 32.1	福祉施設の職員 32.1	友人・知人 22.6	特にない 1.2
高次 (n=59)	家族や親族 71.2	医療関係者 28.8	区役所 27.1	福祉施設の職員 16.9	友人・知人 11.9	特にない 1.7

相談できる場所については、「家族や親族」との回答が全体で69.3%と最も高く、分類別でもすべての分類で最も高くなっています。

分類別でも[知的]で5番目に「障がい者総合サポートセンター」が、[難病]で5番目に「同じ障がいをもつ仲間」となっている以外は、すべて全体での上位5番目までの項目となっています。

(→詳細な調査結果は181ページ)



<18歳未満>

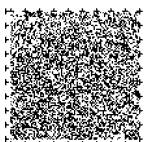
●「家族や親族」は8割を超えて高く、次いで「保育園や幼稚園、学校の先生」。

■障がいの分類別結果（上位5回答と「特にない」、単位：%）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	
全体 (n=665)	家族や親族 82.7	保育園や幼稚園、学校の先生 45.1	友人・知人 34.4	医療関係者 27.7	区役所 23.2	特にない 2.1
身体 (n=156)	家族や親族 80.8	保育園や幼稚園、学校の先生 41.0	医療関係者 40.4	友人・知人 38.5	区役所 34.0	特にない 1.9
知的 (n=358)	家族や親族 82.7	保育園や幼稚園、学校の先生 47.8	友人・知人 35.8	区役所 28.5	医療関係者 23.5	特にない 2.0
精神 (n=38)	家族や親族 89.5	医療関係者 47.4	保育園や幼稚園、学校の先生 42.1	友人・知人 31.6	区役所／福祉施設の職員／同じ障がいをもつ仲間 10.5	特にない 2.6
難病 (n=11)	家族や親族 72.7	医療関係者 45.5	保育園や幼稚園、学校の先生 36.4	友人・知人 27.3	福祉施設の職員／ホームヘルパー／同じ障がいをもつ仲間 9.1	特にない 0.0
発達 (n=326)	家族や親族 84.4	保育園や幼稚園、学校の先生 47.9	友人・知人 33.7	医療関係者 25.5	相談支援事業所 22.7	特にない 1.8
高次 (n=4)	家族や親族 75.0	友人・知人／医療関係者／同じ障がいをもつ仲間			区役所／保育園や幼稚園、学校の先生／自治会の人や民生委員・児童委員／福祉施設の職員／相談支援事業所 25.0	特にない 0.0

18歳未満でも、「家族や親族」との回答が全体で82.7%と最も高く、分類別でもすべての分類で最も高くなっています。次いで、「保育園や幼稚園、学校の先生」、「友人・知人」などとなっています。

(→詳細な調査結果は196ページ)

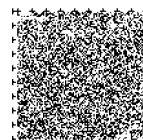


◆年齢別の傾向（上位5回答、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
0～2歳 (n=31)	家族や親族 61.3	医療関係者 41.9	区役所 35.5	友人・知人 22.6	同じ障がいをもつ仲間 16.1
3～5歳 (n=141)	家族や親族 83.7	保育園や幼稚園、学校の先生 46.8	友人・知人 33.3	相談支援事業所 31.9	医療関係者 29.8
6～11歳 (n=225)	家族や親族 82.7	保育園や幼稚園、学校の先生 52.0	友人・知人 34.2	医療関係者 32.0	区役所 20.4
12～14歳 (n=104)	家族や親族 86.5	保育園や幼稚園、学校の先生 52.9	友人・知人 40.4	区役所 26.9	医療関係者 22.1
15～17歳 (n=154)	家族や親族 82.5	保育園や幼稚園、学校の先生 36.4	友人・知人 33.8	医療関係者 20.8	同じ障がいをもつ仲間 18.8
18～39歳 (n=393)	家族や親族 74.6	医療関係者 28.5	福祉施設の職員 24.2	区役所 23.4	友人・知人 22.6
40～64歳 (n=772)	家族や親族 67.1	医療関係者 31.0	区役所 29.7	友人・知人 20.7	福祉施設の職員 13.5
65歳以上 (n=1123)	家族や親族 69.5	区役所 26.3	医療関係者 25.8	友人・知人 19.9	福祉施設の職員 8.1

年齢別にみても、「家族や親族」との回答がいずれの分類でも高くなっています。

18歳以上または18歳未満全体のそれぞれの上位5回答以外の選択肢としては、[0～2歳]と[15～17歳]では「同じ障がいを持つ仲間」が5番目、[3～5歳]では、[相談支援事業所]が4番目となっています。



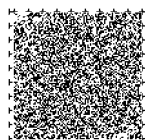
(調査結果)

<18歳未満> (単位：%)

	家族や親族	友人・知人	区役所	障がい者総合サポートセンター	保育園や幼稚園、学校の先生	自治会の人や民生委員・児童委員	医療関係者	福祉施設の職員	知的障害者相談員	身体障害者相談員や 身体障害者相談員	ホームヘルパー	相談支援事業所	同じ障がいをもつ仲間	その他	特にいない	無回答
全体 (n=665)	82.7	34.4	23.2	2.7	45.1	0.9	27.7	12.3	2.3	3.3	15.2	20.8	6.0	2.1	2.6	
0～2歳 (n=31)	61.3	22.6	35.5	0.0	9.7	0.0	41.9	12.9	3.2	3.2	12.9	16.1	9.7	0.0	0.0	
3～5歳 (n=141)	83.7	33.3	29.1	2.1	46.8	0.0	29.8	24.1	4.3	1.4	31.9	28.4	8.5	2.1	0.0	
6～11歳 (n=225)	82.7	34.2	20.4	2.2	52.0	1.3	32.0	11.6	1.8	2.7	15.1	16.9	3.1	1.8	4.0	
12～14歳 (n=104)	86.5	40.4	26.9	4.8	52.9	1.0	22.1	8.7	1.9	6.7	11.5	21.2	7.7	1.0	1.9	
15～17歳 (n=154)	82.5	33.8	18.2	3.2	36.4	1.3	20.8	5.2	1.3	3.9	3.2	18.8	6.5	3.9	3.9	

<18歳以上> (単位：%)

	家族や親族	友人・知人	区役所	障がい者総合サポートセンター	保育園や幼稚園、学校の先生	自治会の人や民生委員・児童委員	医療関係者	福祉施設の職員	知的障害者相談員	身体障害者相談員や 身体障害者相談員	ホームヘルパー	相談支援事業所	同じ障がいをもつ仲間	その他	特にいない	無回答
全体 (n=2308)	69.3	20.6	26.7	5.3	0.5	1.1	27.9	12.6	3.1	3.9	3.9	8.1	3.5	5.7	3.4	
18～39歳 (n=393)	74.6	22.6	23.4	10.7	2.5	0.5	28.5	24.2	6.1	3.3	8.1	9.9	3.6	4.6	1.8	
40～64歳 (n=772)	67.1	20.7	29.7	4.4	0.1	0.5	31.0	13.5	3.0	1.6	3.4	9.7	3.6	7.0	1.9	
65歳以上 (n=1123)	69.5	19.9	26.3	4.0	0.0	1.8	25.8	8.1	2.2	5.6	2.9	6.2	3.3	5.2	4.5	



8 将来の暮らし方

(1) 将来の生活設計 (18歳未満 問37)

問 あなたは、今後(5年後)の進路や生活設計をどのようにしたいと考えていますか。

(○は3つまで、現在の生活を継続する場合も含める)

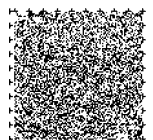
- 「小学校・中学校・高校に通いたい」が最も高い。

■ 障がいの分類別結果 (単位：%)

	幼稚園・保育園に通いたい	特別支援学校に通いたい	小学校・中学校・高校に通いたい	大学・専門学校などに進学したい	就労に向けた支援を受けた	会社などに就職したい	就労継続支援A・B型施設に通いたい	生活介護施設に通いたい	機能訓練や生活訓練の施設に通いたい	その他	無回答
全体 (n=665)	4.8	20.9	49.5	10.1	15.3	18.2	11.4	5.3	6.3	3.0	2.6
身体 (n=156)	5.1	28.2	44.9	8.3	8.3	11.5	7.1	9.0	11.5	1.9	2.6
知的 (n=358)	2.2	27.4	30.4	6.4	22.1	22.6	20.9	9.2	8.4	3.4	3.4
精神 (n=38)	0.0	5.3	21.1	36.8	21.1	42.1	10.5	2.6	7.9	7.9	0.0
難病 (n=11)	9.1	0.0	63.6	45.5	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1
発達 (n=326)	7.1	22.7	58.9	10.1	14.1	15.3	8.6	3.7	4.9	3.4	2.1
高次 (n=4)	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0

今後(5年後)の進路や生活設計については、「小学校・中学校・高校に通いたい」との回答が49.5%で最も高くなっています。

分類別では、「特別支援学校に通いたい」との回答では[身体]や[知的]が、「就労に向けた支援を受けたい」では[知的]や[精神]が、「大学・専門学校などに進学したい」では[精神]や[難病]が、それぞれ高くなっています。

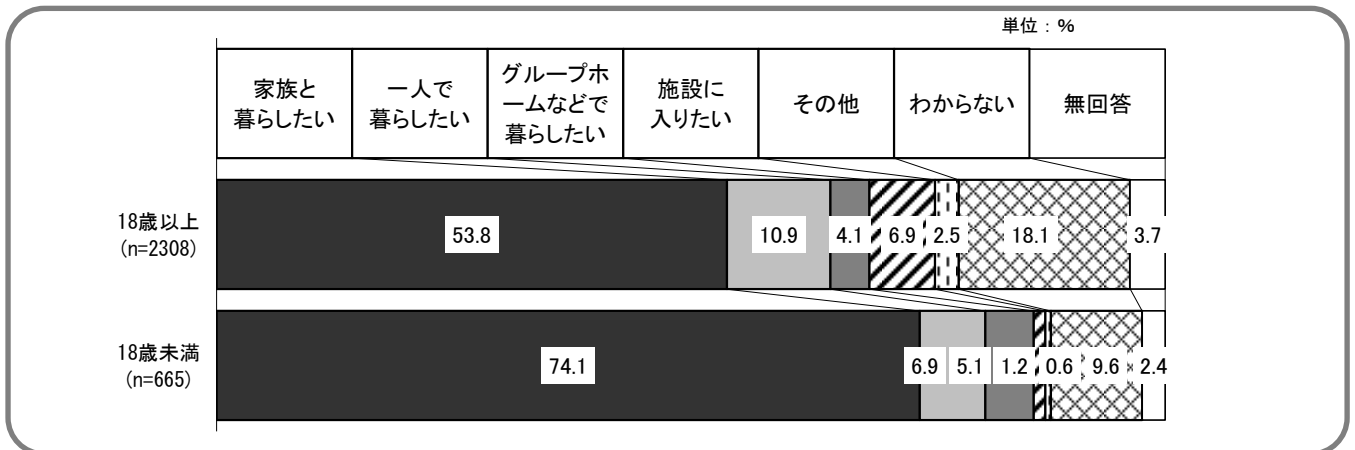


(2) 将来の暮らし方 (18歳以上 問38 / 18歳未満 問38)

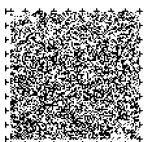
問 将来 (5~10年後)、あなたはどのように暮らしたいと思っていますか。(〇は1つ)

●「家族と暮らしたい」が最も高い。18歳以上で「一人で暮らしたい」は10.9%。

■ 調査結果



将来の暮らし方については、「家族と暮らしたい」との回答が18歳以上では53.8%、18歳未満では、74.1%と高くなっています。

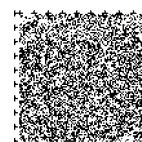


■年齢別に見た傾向（単位：％）

	家族と暮らしたい	一人で暮らしたい	グループホームなどで暮らしたい	施設に入りたい	その他	わからない	無回答
0～2歳 (n=31)	90.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7	0.0
3～5歳 (n=141)	90.1	1.4	0.0	0.0	0.7	7.8	0.0
6～11歳 (n=225)	80.9	2.7	4.4	0.4	0.4	8.0	3.1
12～14歳 (n=104)	65.4	12.5	6.7	2.9	0.0	10.6	1.9
15～17歳 (n=154)	51.9	16.2	10.4	2.6	1.3	13.0	4.5
18～39歳 (n=393)	53.2	12.5	8.4	4.1	4.3	15.3	2.3
40～64歳 (n=772)	54.3	13.3	3.1	5.1	2.6	19.0	2.6
65歳以上 (n=1123)	54.1	8.6	3.4	9.2	1.9	18.4	4.4

18歳未満での、年齢別の傾向を見ると、[11歳以下]の分類では「家族と暮らしたい」との回答が8割を超えて高くなっています。

[12～64歳]では、「一人で暮らしたい」との回答が1割台と高くなっています。また、[15～17歳]では、「グループホームなどで暮らしたい」との回答も10.4%と高くなっています。

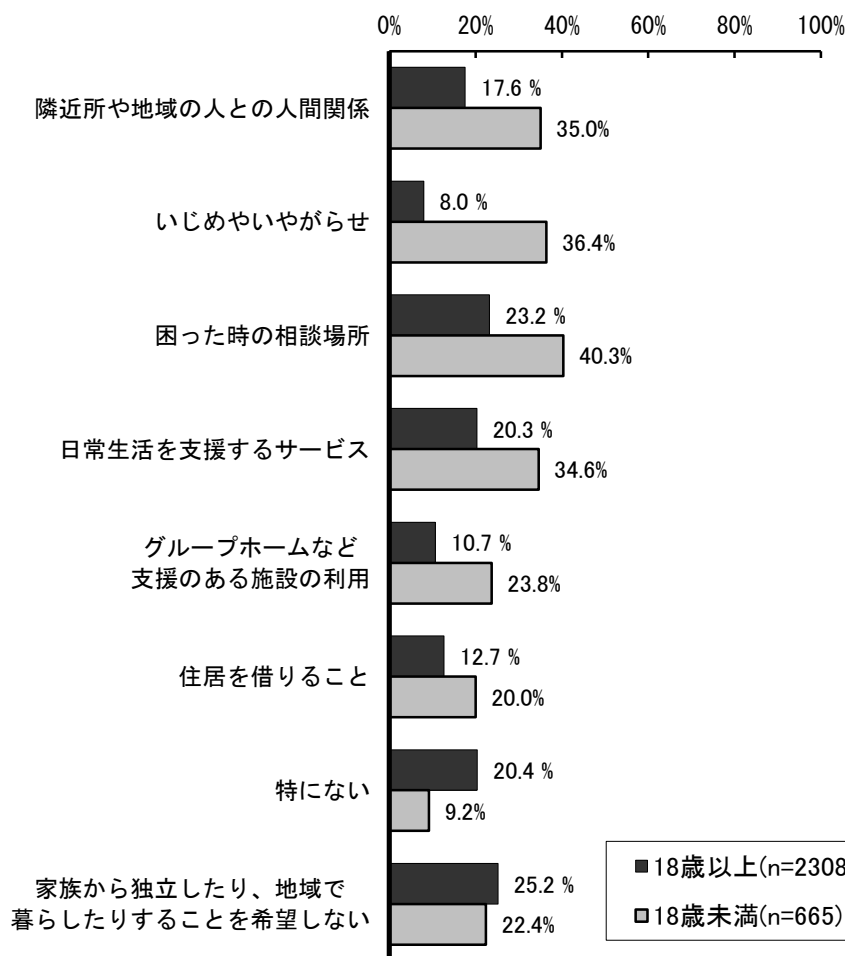


(3) 地域生活に対する不安 (18歳以上 問39 / 18歳未満 問39)

問 あなたが、家族から独立して暮らす場合や、施設や病院から出て地域で暮らす場合に不安に思う(思った)ことは何ですか。(〇はいくつでも)

●不安の内容としては「困った時の相談場所」が最も高い。

■調査結果 (グラフは主な選択肢)



地域で暮らすための不安については、18歳以上では「家族から独立したり、地域で暮らしたりすることを希望しない」が25.2%で最も高くなっています。不安の内容として挙げられている内容では、「困った時の相談場所」が23.2%で最も高くなっています。

18歳未満では、「困った時の相談場所」が40.3%で最も高いものの、次いで「いじめやいやがらせ」、「隣近所や地域の人との人間関係」、「日常生活を支援するサービス」とこれらが3割半ばで続いています。

(→詳細な調査結果は18歳以上181ページ、18歳未満197ページ)



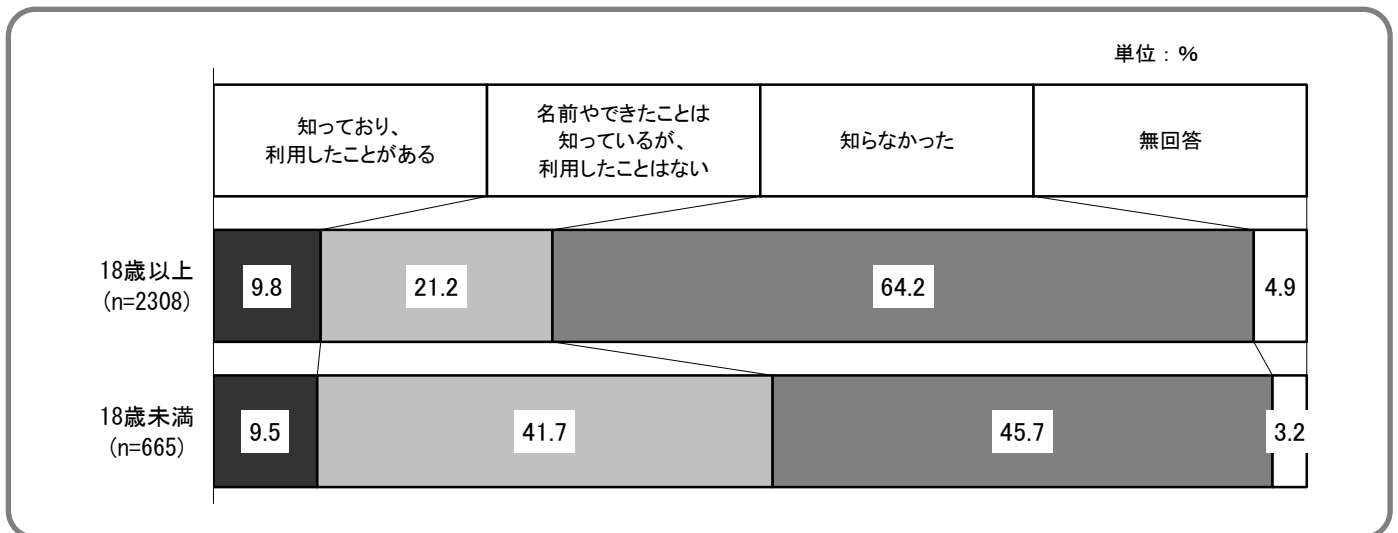
9 区の施策

(1) さぼーとぴあの認知度（18歳以上 問40／18歳未満 問40）

問 区では、平成27年3月に、障がいのある人をサポートする中核的な施設として、相談支援や就労支援、地域交流支援等の機能を持った「障がい者総合サポートセンター さぼーとぴあ」を開設し、障がいのある人の地域における自立した生活を支援する取り組みを進めています。あなたは、このさぼーとぴあを知っていますか。（○は1つ）

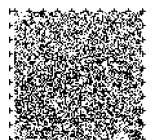
●18歳未満では『知っている』層が半数を超えている。

■調査結果

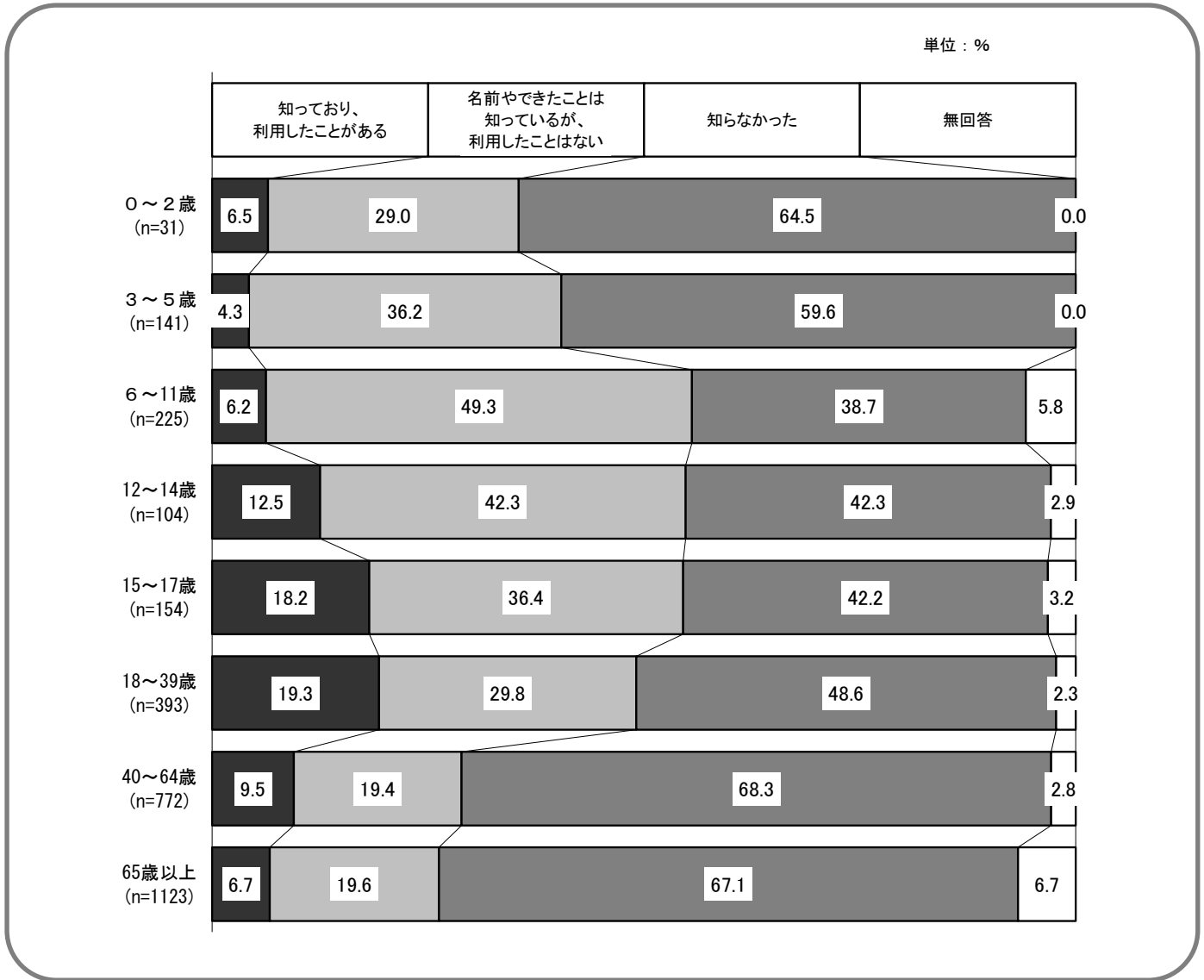


「さぼーとぴあ」については、18歳以上では「知っており、利用したことがある」方は9.8%となっています。「知っており、利用したことがある」と「名前やできたことは知っているが、利用したことはない」を併せた『知っている』層は31.0%となっています。

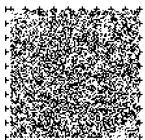
18歳未満では、「知っており、利用したことがある」方は9.5%ですが、『知っている』層は51.2%と半数を超えています。



■ 年齢別の傾向〈18歳以上／18歳未満〉



年齢別の傾向としては、[12～39歳]で「知っている、利用したことがある」との回答が1割を超えて高くなっています。また、『知っている』層についても、[6～39歳]で、5割前後と高くなっています。



(2) さぽーとぴあに期待すること (18歳以上 問41/18歳未満 問41)

問 さぽーとぴあでは、第二期工事として、重度の障がいのある方に対応できる緊急時の受け入れ機能や学齢期の発達障がい児の支援の機能を持った施設を建設する予定になっています。あなたは、今後このさぽーとぴあにどのようなことを期待しますか。具体的にお書きください。

■記述内容として寄せられた主な意見

<18歳以上>

【さぽーとぴあで提供されるサービスについて】

○緊急時の受け入れ

- ・緊急時にはすぐに対応してほしい。24時間受付してほしい。
- ・軽度の障がい者でも夜間等一人では置いておけないので緊急時の受け入れの支援をお願いしたいです。
- ・現在加療中の病院と緊急時にうまくパイプ役をしていただけるか予め打ち合わせが必要と考えます。

○一時預かりの場

- ・重度の障がい者の緊急時の受け入れと同時に保護者のレスパイトなどにも利用できる様にしてほしい
- ・緊急時の受け入れだけでなく、冠婚葬祭など、必要と感じた時に利用できるような施設を希望しています。

○短期入所の役割

- ・短期入所、自立訓練が出来る施設を作ってほしい。
- ・短期入所の施設が遠方にしかなかったため、近いところに行けるのは嬉しいけれど、ベッド数など緊急に対応してもらえるのか不安

○障がい児

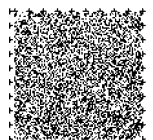
- ・障がい児をしっかり守ってほしい。
- ・先天的、後天的なハンディキャップが教育機会の損失につながらないサポート

○重度の方

- ・重度の障がい者に対応できる緊急時の受け入れは大変ありがたいです。できれば最低限の薬、処方箋が必要な薬も含めて対応いただきたいです。
- ・重度障害があり他の人(家族も含め)とコミュニケーションがとれません。それでも何かあった場合に簡単に受け入れて下さる様なシステムになる様に期待します。

○精神障がい者

- ・精神疾患の分野にも手をひろげてほしい。ほかに精神障がいをサポートするところが無いから。
- ・精神障がい者にも特化したサポート



○医療面の充実

- ・医療ケアのある人の日中一時預かりやショートステイできる施設が近くにないため、そのような施設ができることを希望しています。
- ・医療機関も含んだ施設にしてほしい。いつでも入れる体制を整えてほしい

○交流の場

- ・健常者と障がい者の垣根のない施設でお互いを尊重したりサポートしあえるイベントなどの企画。
- ・同じ様な障がいのある人達と一緒に生活をして会話・食事・運動などコミュニケーションを取り同じ場所で生活がしたい。
- ・発達障がい児の支援の施設に健常の子どもとふれあえる機能も含まれるといいと思う。

○余暇活動の場

- ・社会人が余暇を過ごすスペースと、プログラムがあるといいなと思います。
- ・雨天や時間のある時に自由に体を動かせるスペースや遊具、器具があるといいと思う

○その他

- ・もし寝たきりになった時サポートをしていただきたい。
- ・親なき後のケア
- ・働けなくなった時のサポート。(生活保護や破産手続きなど)

【利用しやすい施設に向けて】

○十分な受け入れ態勢

- ・受け入れ人数を増やして本当に困っている時、利用できるようにしてほしい。
- ・各種の受け入れ機能が定員一杯で受け入れ不能であるというような状況が生じない様確保して頂きたい
- ・利用したい時に待ち時間無しで利用できる態勢であってほしい。

○気軽な利用

- ・明るく元気な雰囲気の良い施設
- ・人や物が移動できるスペースを狭すぎず広すぎずにするストレスを感じにくいのではと思う。段差はなるべく無いと安全。
- ・軽度の障がい者でももっと気軽に利用できるようなになればいいなと思う

○一人ひとりの特性に合った対応

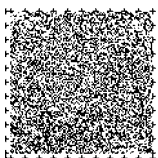
- ・障がいの程度による個別対応、軽度の障がいでも重度の方と一緒にいてもストレスに感じる
- ・いきいきと前向きになれる施設にしてほしく、人間として認められる生活をしてくれる場所。

○施設の安全・安心

- ・セキュリティ強化で充実した支援の施設であってほしい
- ・障がいのある方々が安心して利用しやすいように宣伝してほしい。

○その他

- ・ヒアリングをしっかりとって、本当に必要な支援施設を作ってほしい



- ・現在、特養に入居中ですが、現在と同様、同等レベルの施設（ハード、ソフト共）にしてほしい

【職員や相談について】

○職員の質の向上

- ・個々の障がいに対して柔軟に対応できる施設、職員である事を願います。
- ・担当者以外にも個人的な事を話しているので守秘義務を守ってほしい。同じ「人間」として見てほしい。
- ・施設で働く方のモラル。スタッフの人たちそれをきちんと管理してくれるシステム。要は人だと思えます。

○職員の数の確保

- ・施設に関わって下さる方々が大勢いてほしい。働く時間帯をいろいろにして、細かな配慮をして下さることを期待します。
- ・充実した職員体制

○相談体制

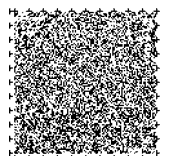
- ・緊急時に受け入れてくれるところがあるという安心感がほしい。平日で役所が開いていないと、相談すらできない。
- ・さぽーとぴあに行けばいろいろな相談ができたり、スポーツクラブを作ったり、あわおどりのチームを作ったり、さぽーとぴあを中心にいろいろな活動ができる場所になってほしいです。
- ・家族が私を支えるために家族の相談になってもらいたい

【情報の提供】

- ・さぽーとぴあについてももう少し案内をしてもらいたい。こちらから調べないとわからないとなるとなかなか利用できないと思います。
- ・今は軽度の難病ですが今後の事を思うと”さぽーとぴあ”がどこにあってどんなサービスがあるか知りたい思いです。近くの区役所で聞けば良いのでしょうか？
- ・手帳補持者にはダイレクトメールで知らせてもらえたら嬉しいです。何故ならば情報を得る手段がわからないから。
- ・情報をもっと知らせる事が重要だと思う。障害者の家族にも知ってもらえる事で障害者本人に伝わると思う。
- ・もっとそういった資料を送ったりしてほしい（区役所にて手続きした時など）

【災害時の対応】

- ・緊急時（大震災など）に人工透析を安心して受けられる施設など。
- ・緊急用にストマ用具を備蓄しておいてほしい。
- ・災害時の対応として投薬・治療についてどの程度確保されるかなど
- ・災害時に体の不自由な人の避難場所にしてほしい。



【交通の便】

- ・私の住んでいる場所からさぽーとぴあまでちょっと遠いのであまり期待できない
- ・バスがあるが、本数が少なくて利用しにくい。もっと数を増やしたり、路線を増やして欲しい
- ・施設の場所が利用しにくい。身体的に問題がある利用者の方も多いのではと思います。駅近ですと利用しやすい。

【その他】

○施設自体の増加

- ・大田区4地区の障がい者数に見合った規模と数（施設）
- ・大いに賛成である。公的施設をもっともっと造ってほしい
- ・自宅から近場で数を増やしていただきたいです。

○その他

- ・「建設」というハード面のみならず、「心の通う」このとソフト面の充実を望みます。
- ・ボランティアの方に活動してもらおう
- ・中途障がい者への理解、高次脳機能障がい者の支援

<18歳未満>

【さぽーとぴあで提供されるサービスについて】

○緊急時の受け入れ

- ・全ての障害（軽度、中度の知的障害も）者が、緊急時（親が倒れたなど）に、確実に保護（次の支援先が決まるまで）してもらえる場所と体制（365日24h体制）
- ・緊急時の一時受け入れ、本人に関する医療。服薬情報が日頃から管理されていて緊急時でもスムーズに受け入れて頂けると安心です。

○短期入所の役割

- ・ショートステイ。重心の障害の子が預かってくれる場所。相談するところ。
- ・身体に障がいのある(知的も伴っている)児童のためのショートステイ場所が大田区にはほとんどないため、その機能を持たせてほしい。

○放課後デイサービス

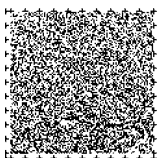
- ・放課後等デイサービスを利用することをとても楽しみにしています。高校を卒業してからも利用できるようなサービスを作してほしい。
- ・放課後デイサービスの時間が少なすぎるのもっと利用できる様に代替となる内容のプログラムがほしい。

○療育

- ・専門的な療育(ST, OT, PT など)の提供
- ・働いてる人も困らない様に、朝～夕方までの療育にしてほしい。

○学習支援

- ・障害による学業の選択が少なくなってしまう事がなくなるような支援。授業の遅れの取り戻し。



・療育の視点を取り入れ一般生活を送るスキルトレーニングと本人の知能に合った教育を受けられる場を希望しています。

○障害の有無や程度がかはっきりしない児童への対応

・普通級と支援級の上に位置づけられる層の子どもたちへの支援を(学習面、友達つきあい)受けられる制度があるといいです。

・グレーゾーンの子どもの居場所が無く普通級ではむずかしく、支援学級ではもう普通級に戻れない。通級では時間が短すぎる。

○医療面の充実

・医療的ケアがある障がいの方も利用できる作業所、ショートステイの場があるといいと思います。

・医療的な事も重度の子が利用した場合にすぐ対応が施設内でできる事。

○交流の場

・大人になったら夜みんなで集まり話をしたりお酒を飲んだりしたい

・障害者・児本人の利用のほか支援者の為の勉強会や交流会なども行って欲しいです。

・子どもたちが気軽に集える場所。仲間と楽しめる場所。

○余暇活動の場

・学齢期…水泳、和太鼓、その他、余暇を楽しむ定期的な教室、サークル活動の充実。成人も同じ、そういう情報の発信元。

・放デイを利用し、余暇を健常者と同じように安心できる場で過ごせているのに高校を卒業したあとの安心できる余暇の居場所(小集団での活動の場)を早急に作ってほしい。

○その他

・聴覚障害児についての支援をしてほしい。

・日中一時支援を利用できるようにしてほしい。なぜなら応募が殺到しそうで不安。

【利用しやすい施設に向けて】

○十分な受け入れ態勢

・必要な人間が必要な時間受けられるように定員を多く設定してほしい。

・支援を受けたい時にすぐ対応できる環境にして欲しい。(行政の施設は入所待ちに時間を要する事が多い為)

○気軽な利用

・障害児が気軽に行く事ができて、周りを気にせず楽しめる施設

・1人でも行けるような仕組み、行きたくなるような支援内容、どのような事をしているのか、どのような団体が活動しているのか等の情報公開

○一人ひとりの特性に合った対応

・どういうレベルの障がいの人や子でも利用できる施設が出来る事

・支援をうたうなら本人の特性を見極め、きめ細やかに対応できる人員を確保してほしい。

○施設の安全・安心

・中で働くスタッフやボランティアの方々の質の向上と気軽に出入りができるような雰囲気づくり、ただ、中には、どんな人がいるかもわからないので適度なセキュリティ

・多くの障がい者が利用しやすく、安心して過ごせる場所を提供して欲しい。

○その他

- ・「障がい」とデカデカとうたっている時点で利用への心理的ハードルが上がる。
- ・利用者が長期継続して利用できるように構築してほしい
- ・手続きの簡素化

【職員や相談について】

○職員の質の向上

・これまでいわゆる専門的機関でもあまり知識ない方が多かったのでしっかりと知識あり子どもの助けとなる場所になってくれる事を期待します。

- ・「差別・いやがらせ（いじめ）」が存在しないこと。スタッフの理解・知識・勉強

○相談体制

・予約不要でいつでも気軽に遊びに行ける、そして相談もできて同じ境遇の保護者同士が交流できるスペースがほしいです。

・すべての窓口を1本化してほしい。いつもたらいまわしにされてとても手間。そして知識がなく一度で話がおわらない。

・何歳になっても障害のある本人、家族の相談の場や余暇活動のできる場をつくってほしい。

【情報の提供】

- ・知名度を上げてほしい。障害者への理解を広めてほしい。会社や学校での説明会とか。
- ・障害のある方、障害児の為に、沢山の方々に理解してもらえる場所になってもらいたいです。携わる（サポートする）方の研修なども行ってほしいです。
- ・利用できる情報が入ってこないのが自動的に分かるサイトを作ってほしいです。

【交通の便】

- ・家から遠いのでなかなか行くことができない。期待はしていません。
- ・近所なので施設の外観等をよく知っています。さぼーとぴあ前の道路の整備はできませんか？狭いのでは…。
- ・さぼーとぴあまで行ける手段を増やしてほしい。バスやタクシー（福祉）など。

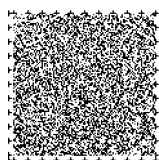
【その他】

○施設自体の増加

・一ヶ所でなく小さくてもいいから沢山作って下さい。障害者の行動範囲はとても狭く、地元での支援が必要なのです。 ・施設が増える事。通いやすい場所にできてほしい。

○その他

- ・災害時の受け入れとその際の医療ケアや投薬が受けられるようになったら嬉しいです。（てんかんがあるため薬は必要なので）避難先で足りなくなったら…と不安なので。
- ・地域の子どもたちが「障害のあることが特別な事ではない、皆同じ仲間なんだ」と自然に感じられるようなソフト面での働きかけ。（課外授業や講師を招いての学校での授業など）



(3) 就労のための環境整備として必要なこと (18歳以上 問42/18歳未満 問42)

問 あなたは、障がいのある方が働くためには、特にどのような環境が整っていることが大切だと思いますか。(〇は2つまで)

<18歳以上>

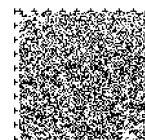
●「健康状態にあわせて働ける」と「職場の人の障がいへの理解」が高い。

■障がいの分類別結果 (上位5回答、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
全体 (n=2308)	健康状態にあわせて働ける 34.6	職場の人の障がいへの理解 29.7	自分の家や、家の近くで働ける 27.0	障がい者の利用に配慮された設備や職場 22.3	就労の場の紹介や相談が受けられる 9.9
身体 (n=1312)	健康状態にあわせて働ける 30.9	職場の人の障がいへの理解 26.1	自分の家や、家の近くで働ける 25.0	障がい者の利用に配慮された設備や職場 22.6	就労の場の紹介や相談が受けられる 8.2
知的 (n=365)	職場の人の障がいへの理解 38.6	自分の家や、家の近くで働ける 31.2	障がい者の利用に配慮された設備や職場 25.2	健康状態にあわせて働ける 18.9	就労の場の紹介や相談が受けられる 10.7
精神 (n=387)	健康状態にあわせて働ける 50.6	職場の人の障がいへの理解 38.2	自分の家や、家の近くで働ける 32.6	障がい者の利用に配慮された設備や職場 18.1	就労の場の紹介や相談が受けられる 14.2
難病 (n=408)	健康状態にあわせて働ける 43.4	職場の人の障がいへの理解 28.7	自分の家や、家の近くで働ける 26.2	障がい者の利用に配慮された設備や職場 25.7	就労の場の紹介や相談が受けられる 11.3
発達 (n=84)	職場の人の障がいへの理解 41.7	健康状態にあわせて働ける 32.1	自分の家や、家の近くで働ける 29.8	就労の場の紹介や相談が受けられる 23.8	障がい者の利用に配慮された設備や職場 22.6
高次 (n=59)	健康状態にあわせて働ける 33.9	職場の人の障がいへの理解 30.5	自分の家や、家の近くで働ける 28.8	障がい者の利用に配慮された設備や職場 20.3	就労の場の紹介や相談が受けられる 10.2

障害がある方が働くための環境としては、「健康状態にあわせて働ける」が全体の34.6%で最も高く、分類別の結果でも[身体]、[精神]、[難病]、[高次]で最も高くなっています。[知的]と[発達]では、「職場の人の障がいへの理解」が最も高くなっており、[知的]では、2番目に「自分の家や家の近くで働ける」となっています。

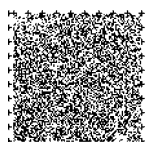
(→詳細な調査結果は182ページ)



■地域別に見た傾向（単位：％）

	自分の家や、家の近くで働ける	健康状態にあわせて働ける	就労の場の紹介や相談が受けられる	職業訓練ができる施設の充実	企業への雇用の働きかけ	職場の人の障がいへの理解	障がい者の利用に配慮された設備や職場	その他	わからない	無回答
全体 (n=2308)	27.0	34.6	9.9	4.5	6.4	29.7	22.3	2.3	13.5	10.3
大森地域 (n=640)	26.7	36.6	10.6	5.3	5.9	30.5	21.9	2.5	12.3	8.9
調布地域 (n=545)	22.4	35.0	9.4	4.0	7.2	28.4	25.5	1.8	14.7	11.7
蒲田地域 (n=673)	28.5	33.1	10.5	3.0	6.2	32.2	22.0	3.0	12.0	10.1
糀谷・羽田地域 (n=344)	32.8	35.2	9.3	5.2	6.1	27.6	17.2	0.9	15.4	9.9

地域別に見たところ、[糀谷・羽田地域]では、「自分の家や家の近くで働ける」との回答が 32.8%と全体より高くなっています。



<18歳未満>

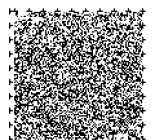
●「職場の人の障がいへの理解」が半数を超えて高い。

■障がいの分類別結果（上位5回答、単位：％）

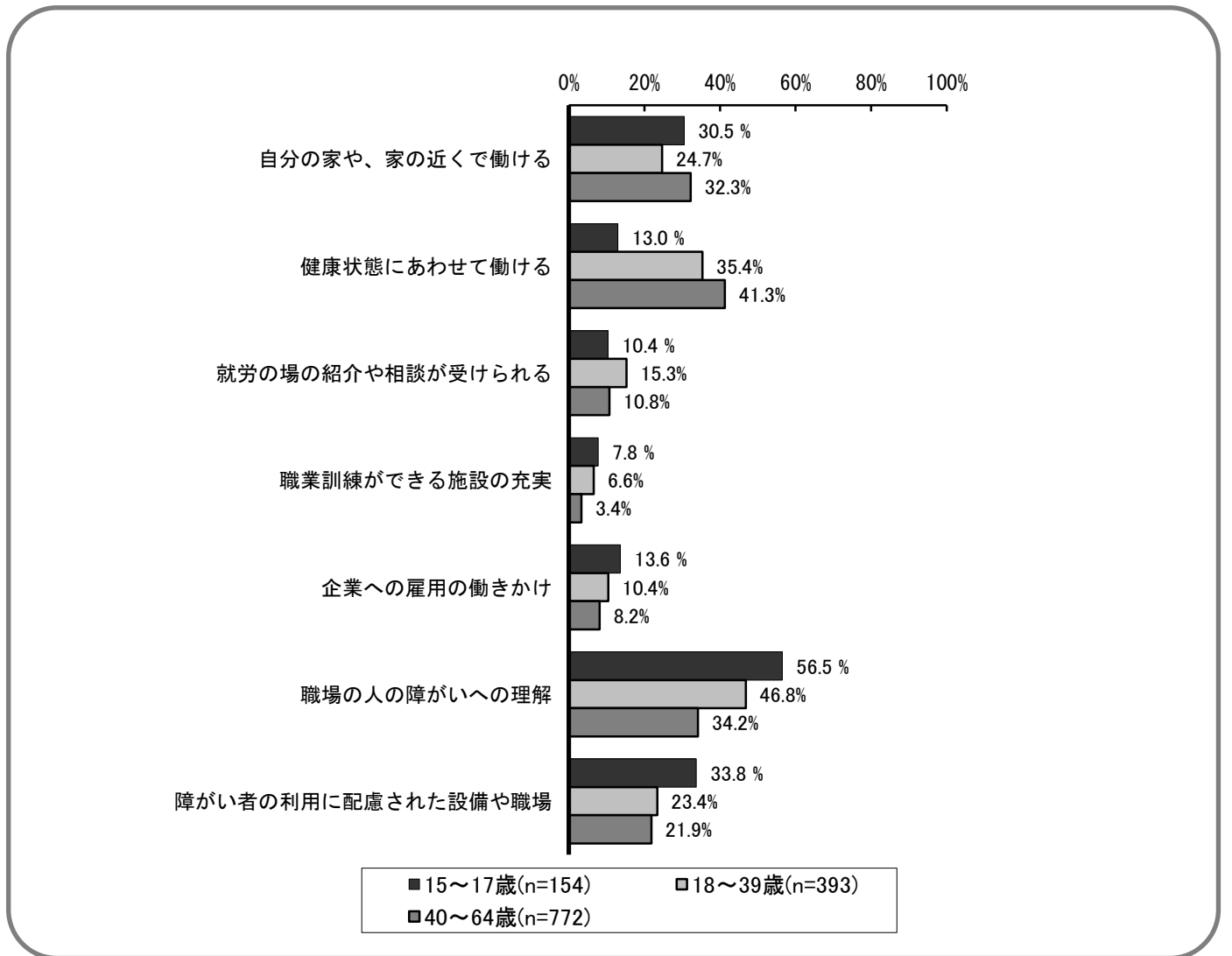
分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
全体 (n=665)	職場の人の障がいへの理解 54.9	自分の家や、家の近くで働ける 29.2	障がい者の利用に配慮された設備や職場 28.6	就労の場の紹介や相談が受けられる 19.2	健康状態にあわせて働ける 15.6
身体 (n=156)	職場の人の障がいへの理解 46.2	自分の家や、家の近くで働ける 31.4	障がい者の利用に配慮された設備や職場 30.1	健康状態にあわせて働ける 27.6	就労の場の紹介や相談が受けられる／企業への雇用の働きかけ 14.1
知的 (n=358)	職場の人の障がいへの理解 53.9	自分の家や、家の近くで働ける 36.6	障がい者の利用に配慮された設備や職場 33.2	就労の場の紹介や相談が受けられる 15.1	企業への雇用の働きかけ 13.4
精神 (n=38)	職場の人の障がいへの理解 55.3	自分の家や、家の近くで働ける／健康状態にあわせて働ける 31.6		障がい者の利用に配慮された設備や職場 15.8	就労の場の紹介や相談が受けられる／企業への雇用の働きかけ 13.2
難病 (n=11)	健康状態にあわせて働ける 63.6	職場の人の障がいへの理解 45.5	自分の家や、家の近くで働ける 27.3	就労の場の紹介や相談が受けられる／職業訓練ができる施設の充実／企業への雇用の働きかけ／障がい者の利用に配慮された設備や職場 9.1	
発達 (n=326)	職場の人の障がいへの理解 57.4	障がい者の利用に配慮された設備や職場 28.5	自分の家や、家の近くで働ける 23.9	就労の場の紹介や相談が受けられる 23.3	職業訓練ができる施設の充実 14.7
高次 (n=4)	自分の家や、家の近くで働ける／健康状態にあわせて働ける 50.0		職業訓練ができる施設の充実／職場の人の障がいへの理解／障がい者の利用に配慮された設備や職場 25.0		

18歳未満では「職場の人の障がいへの理解」が全体の54.9%で最も高くなっています。次いで「自分の家や、家の近くで働ける」、「障害者の利用に配慮された設備や職場」となっています。

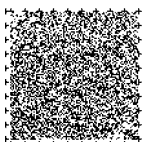
(→詳細な調査結果は198ページ)



◆15～64歳の年齢別の傾向（グラフは主な選択肢） <18歳以上/18歳未満>



いわゆる「生産労働人口」と呼ばれる15～64歳の、就労と関係の深い年齢に特化して、年齢別の傾向を見たところ、「職場の人の障がいへの理解」など多くの選択肢については、年齢が高くなるにつれて割合が低くなる傾向が見られますが、「健康状態に合わせた働ける」については、年齢が高くなるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。

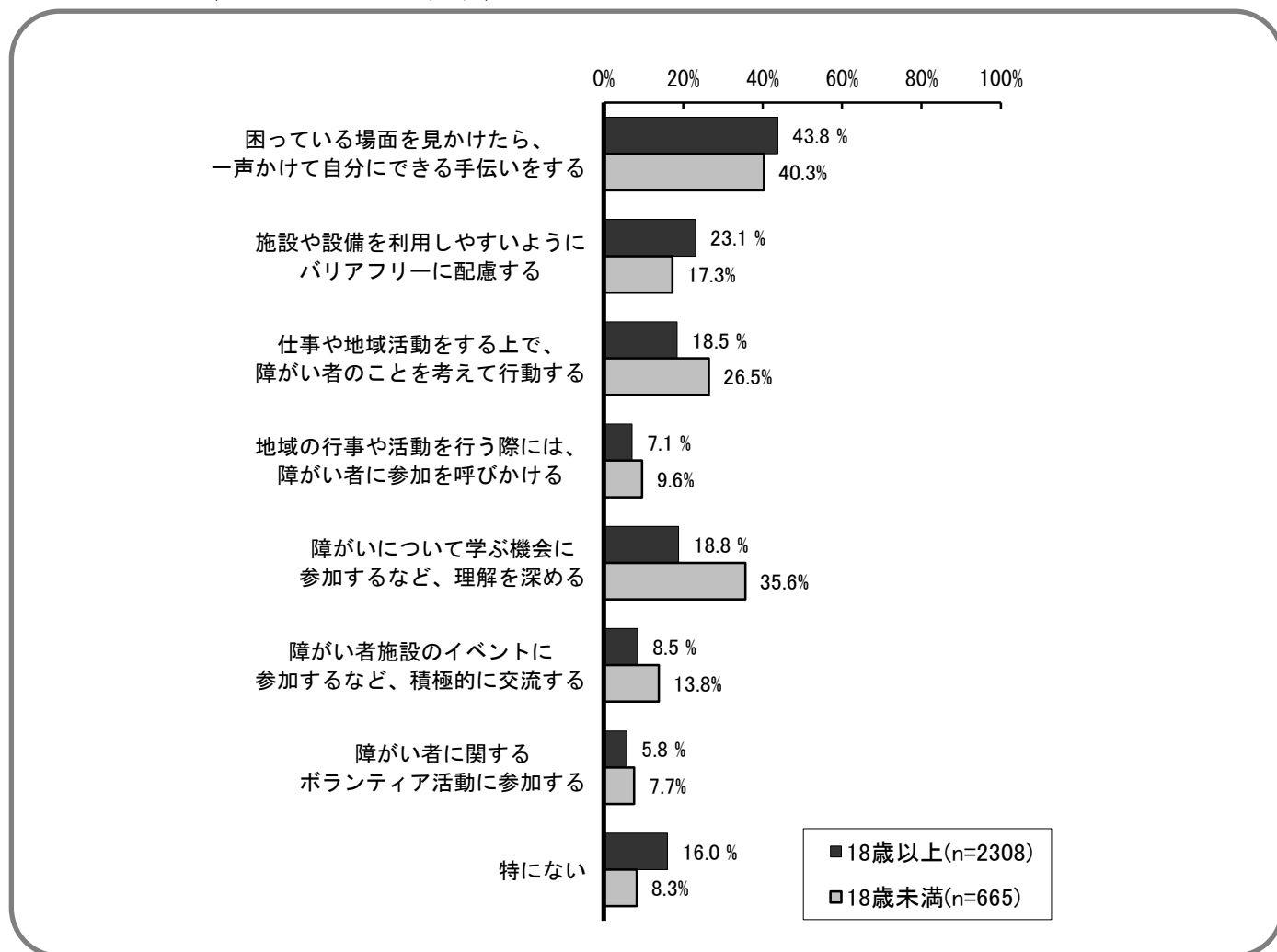


(4) 社会参加で地域の人に望むこと (18歳以上 問43/18歳未満 問43)

問 あなたは、障がいのある方の社会参加の機会を広げるために、特にどのようなことを地域の人に実行してほしいと思いますか。(〇は2つまで)

●「困っている場面を見かけたら、一声かけて自分にできる手伝いをする」が最も高い。

■調査結果 (グラフは主な選択肢)

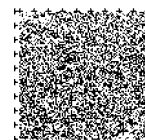


地域の人に実行してほしいこととしては、「困っている場面を見かけたら、一声かけて自分にできる手伝いをする」が18歳以上では43.8%、18歳未満では40.3%で共に、最も高くなっています。

18歳以上では、次いで、「施設や設備を利用しやすいようにバリアフリーに配慮する」、「障がいについて学ぶ機会に参加するなど、理解を深める」となっています。

18歳未満では、次いで、「障がいについて学ぶ機会に参加するなど、理解を深める」、「仕事や地域活動をする上で、障がい者のことを考えて行動する」となっています。

(→詳細な調査結果は18歳以上182ページ、18歳未満198ページ)

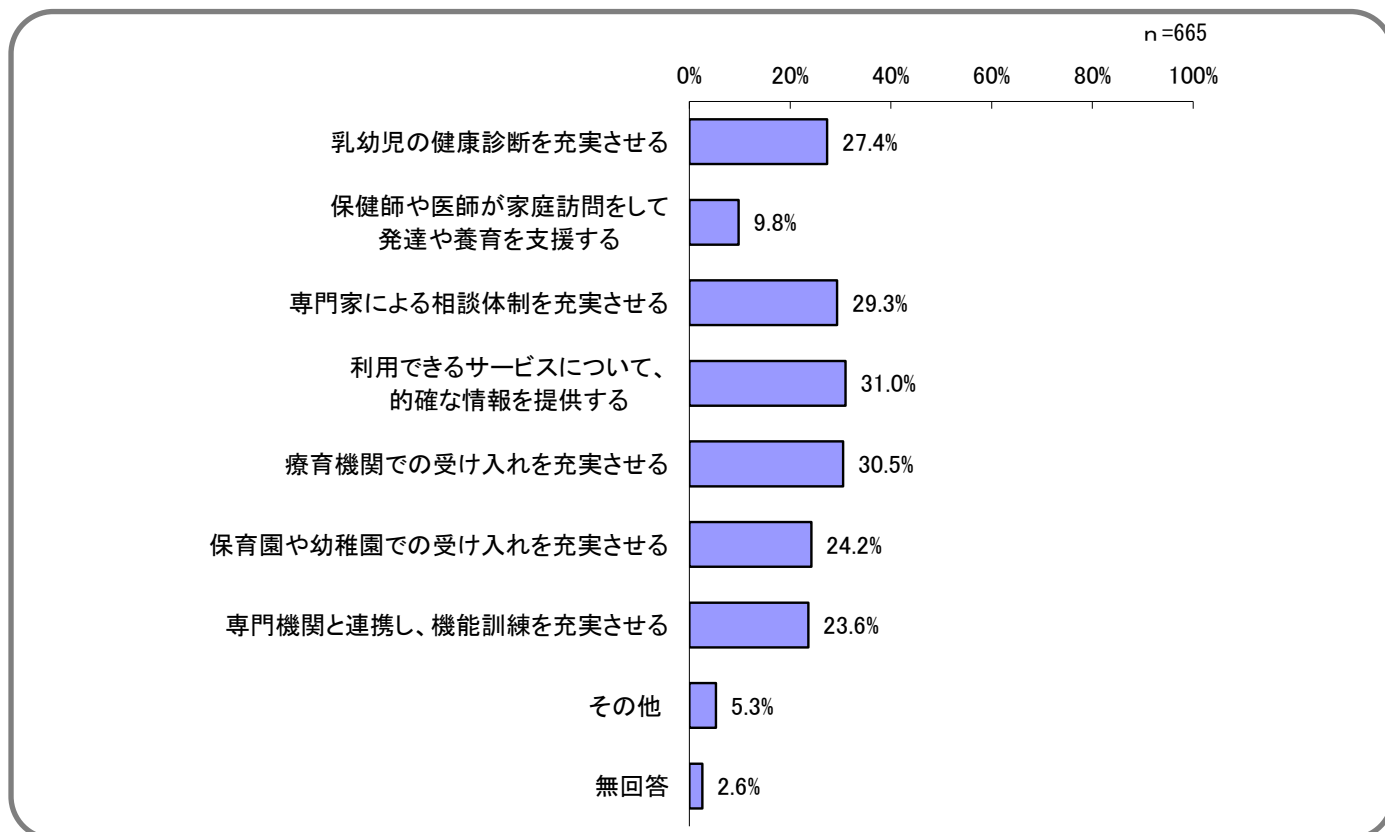


(5) 早期訓練・早期支援のために必要なこと（18歳未満 問44）

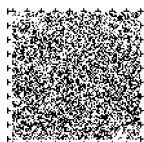
問 あなたは、障がいの早期発見、早期訓練を充実させるために、特にどのようなことが必要だと思いますか。（〇は2つまで）

●「的確な情報提供」が最も高いが、6項目が2割から3割程度。

■ 調査結果



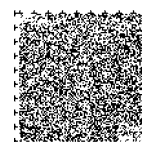
障がいの早期発見、早期訓練を充実に必要なこととしては、「利用できるサービスについて、的確な情報を提供する」との回答が31.0%で最も高いものの、次いで「療育機関での受け入れを充実させる」、「専門家による相談体制の充実させる」、「乳幼児の健康診断を充実させる」、「保育園や幼稚園での受け入れを充実させる」、「専門機関と連携し、機能訓練を充実させる」の6項目がそれぞれ2割から3割程度と近い値となっています。



■年齢別に見た傾向（単位：％）

	乳幼児の健康診断を充実させる	保健師や医師が家庭訪問をして発達や養育を支援する	専門家による相談体制を充実させる	利用できるサービスについて、確な情報を提供する	療育機関（わかばの家を含む）での受け入れを充実させる	保育園や幼稚園での受け入れを充実させる	専門機関と連携し、機能訓練を充実させる	その他	無回答
全体 (n=665)	27.4	9.8	29.3	31.0	30.5	24.2	23.6	5.3	2.6
0～2歳 (n=31)	16.1	9.7	25.8	35.5	29.0	41.9	29.0	9.7	0.0
3～5歳 (n=141)	28.4	11.3	24.8	26.2	41.1	32.6	17.7	2.8	2.8
6～11歳 (n=225)	27.6	9.8	28.9	33.3	32.4	22.2	27.6	5.3	1.8
12～14歳 (n=104)	26.9	9.6	32.7	30.8	26.9	21.2	25.0	6.7	0.0
15～17歳 (n=154)	29.2	8.4	33.1	31.2	20.8	18.8	20.8	5.2	5.2

年齢別にみると、[3～5歳]では、「療育機関（わかばの家を含む）での受け入れを充実させる」と「保育園や幼稚園での受け入れを充実させる」が、[0～2歳]では、「保育園や幼稚園での受け入れを充実させる」と「専門機関と連携し、機能訓練を充実させる」との回答がそれぞれ高くなっています。



(6) 今後充実を希望する障がい者施策 (18歳以上 問44/18歳未満 問45)

問 今後、区が障がい者施策を進めていくにあたって、あなたは、特にどのようなことを充実させていけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

<18歳以上>

●いずれの分類でも「経済的な支援」が高い。

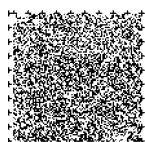
■障がいの分類別結果 (上位5回答、単位：%)

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
全体 (n=2308)	手当や年金などの経済的な支援 40.8	相談支援や情報提供の充実 33.8	在宅で受けられるサービスの充実 18.5	医療やリハビリの充実 18.4	障がいについての理解の促進 17.8
身体 (n=1312)	手当や年金などの経済的な支援 38.0	相談支援や情報提供の充実 32.9	在宅で受けられるサービスの充実 22.3	医療やリハビリの充実 20.3	災害時の支援体制の整備 17.0
知的 (n=365)	手当や年金などの経済的な支援 35.1	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備 34.5	入所施設の整備 31.2	相談支援や情報提供の充実 27.7	障がいについての理解の促進 22.5
精神 (n=387)	手当や年金などの経済的な支援 50.4	相談支援や情報提供の充実 39.5	障がいについての理解の促進 30.2	働きやすい環境づくり 25.1	医療やリハビリの充実 15.0
難病 (n=408)	手当や年金などの経済的な支援 44.9	相談支援や情報提供の充実 33.8	医療やリハビリの充実 26.5	在宅で受けられるサービスの充実 20.1	入所施設の整備 16.4
発達 (n=84)	手当や年金などの経済的な支援 45.2	障がいについての理解の促進 40.5	相談支援や情報提供の充実 33.3	働きやすい環境づくり 26.2	入所施設の整備 22.6
高次 (n=59)	手当や年金などの経済的な支援 40.7	医療やリハビリの充実 35.6	相談支援や情報提供の充実 32.2	入所施設の整備 20.3	障がいについての理解の促進 18.6

施策で充実すべきこととしては「手当や年金などの経済的な支援」との回答が40.8%で最も高く、分類別でもすべての分類で最も高くなっています。

他の選択肢では、[知的]で「地域で暮らせる場の整備」が2番目となっています。

(→詳細な調査結果は183ページ)



<18歳未満>

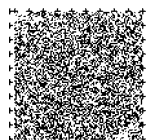
●「療育や教育の充実」が最も高い。

■障がいの分類別結果（上位5回答、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
全体 (n=665)	療育や教育の充実 45.4	相談支援や情報提供の充実 31.4	手当や年金などの経済的な支援 30.1	働きやすい環境づくり 29.5	障がいについての理解の促進 29.3
身体 (n=156)	療育や教育の充実 35.3	障がいについての理解の促進 28.2	相談支援や情報提供の充実/ 手当や年金などの経済的な支援 25.0		医療やリハビリの充実 21.8
知的 (n=358)	手当や年金などの経済的な支援/ 療育や教育の充実 33.5		働きやすい環境づくり 32.4	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備 28.8	障がいについての理解の促進 27.9
精神 (n=38)	障がいについての理解の促進 44.7	手当や年金などの経済的な支援 39.5	療育や教育の充実 28.9	相談支援や情報提供の充実 26.3	働きやすい環境づくり 23.7
難病 (n=11)	働きやすい環境づくり 45.5	手当や年金などの経済的な支援 36.4	医療やリハビリの充実/療育や教育の充実/ 障がいについての理解の促進 27.3		
発達 (n=326)	療育や教育の充実 58.3	相談支援や情報提供の充実 37.7	障がいについての理解の促進 31.9	働きやすい環境づくり 29.4	手当や年金などの経済的な支援 27.9
高次 (n=4)	障がいについての理解の促進 75.0	グループホームなどの地域で暮らせる場の整備/ 入所施設の整備 50.0		在宅で受けられるサービスの充実/ 医療やリハビリの充実/手当や年金などの経済的な支援/ 療育や教育の充実/災害時の支援体制の整備 25.0	

18歳未満では、「療育や教育の充実」との回答が全体の45.4%で、最も高くなっています。

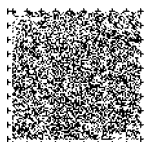
(→詳細な調査結果は199ページ)



◆年齢別の傾向（上位5回答、単位：％）

分類	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
0～2歳 (n=31)	療育や教育の充実 64.5	相談支援や情報提供の充実／ 手当や年金などの経済的な支援 32.3		働きやすい環境 づくり 25.8	障がい者に配慮 された住まいの 整備 22.6
3～5歳 (n=141)	療育や教育の充実 71.6	相談支援や情報 提供の充実 44.0	障がいについて の理解の促進 31.2	働きやすい環境 づくり 20.6	手当や年金など の経済的な支援 15.6
6～11歳 (n=225)	療育や教育の充実 53.3	相談支援や情報 提供の充実 31.6	手当や年金など の経済的な支援 30.7	障がいについて の理解の促進 29.3	働きやすい環境 づくり 24.9
12～14歳 (n=104)	働きやすい環境 づくり 38.5	療育や教育の充 実 31.7	手当や年金など の経済的な支援 29.8	グループホーム などの地域で暮 らせる場の整備 28.8	相談支援や情報 提供の充実 27.9
15～17歳 (n=154)	手当や年金など の経済的な支援 40.3	働きやすい環境 づくり 37.7	障がいについて の理解の促進 35.1	グループホーム などの地域で暮 らせる場の整備 28.6	相談支援や情報 提供の充実 22.1
18～39歳 (n=393)	手当や年金など の経済的な支援 40.5	相談支援や情報 提供の充実 34.4	障がいについて の理解の促進 29.0	働きやすい環境 づくり 27.5	グループホーム などの地域で暮 らせる場の整備 21.4
40～64歳 (n=772)	手当や年金など の経済的な支援 46.8	相談支援や情報 提供の充実 35.6	障がいについて の理解の促進 21.4	医療やリハビリ の充実 18.4	働きやすい環境 づくり 16.7
65歳以上 (n=1123)	手当や年金など の経済的な支援 36.7	相談支援や情報 提供の充実 32.8	在宅で受けられ るサービスの充 実 24.4	医療やリハビリ の充実 21.1	入所施設の整備 15.0

年齢別にみると、[11歳以下]では「療育や教育の充実」が5割を超えて高くなっています。一方、[15歳以上]では、「手当や年金などの経済的な支援」との回答が最も高くなっています。



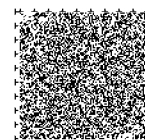
(調査結果)

<18歳未満> (単位：%)

	相談支援や情報提供の充実	地域で暮らせる場の整備	入所施設の整備	障がい者に配慮された住まいの整備	日中活動の場の整備	在宅で受けられるサービスの充実	医療やリハビリの充実	手当や年金などの経済的な支援	療育や教育の充実	働きやすい環境づくり	障がいについての理解の促進	権利擁護や虐待防止の取り組み	災害時の支援体制の整備	余暇活動や趣味の講座などの充実	ボランティア活動の充実	ユニバーサルデザイン	バリアフリー、ユニバーサルデザイン	その他	無回答
全体 (n=665)	31.4	17.9	11.6	5.3	12.0	5.3	9.2	30.1	45.4	29.5	29.3	5.9	11.6	10.7	2.6	5.1	2.3	1.8	
0～2歳 (n=31)	32.3	6.5	9.7	22.6	6.5	19.4	12.9	32.3	64.5	25.8	19.4	0.0	16.1	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	
3～5歳 (n=141)	44.0	4.3	9.9	2.8	13.5	4.3	8.5	15.6	71.6	20.6	31.2	7.1	12.1	3.5	2.1	5.7	1.4	0.7	
6～11歳 (n=225)	31.6	14.7	13.8	3.1	14.2	4.0	9.3	30.7	53.3	24.9	29.3	5.8	13.3	11.1	2.7	4.4	3.1	2.2	
12～14歳 (n=104)	27.9	28.8	8.7	8.7	10.6	8.7	10.6	29.8	31.7	38.5	22.1	8.7	5.8	16.3	1.9	5.8	3.8	1.0	
15～17歳 (n=154)	22.1	28.6	12.3	5.2	9.7	2.6	8.4	40.3	16.2	37.7	35.1	4.5	12.3	15.6	3.9	5.2	1.3	2.6	

<18歳以上> (単位：%)

	相談支援や情報提供の充実	地域で暮らせる場の整備	入所施設の整備	障がい者に配慮された住まいの整備	日中活動の場の整備	在宅で受けられるサービスの充実	医療やリハビリの充実	手当や年金などの経済的な支援	療育や教育の充実	働きやすい環境づくり	障がいについての理解の促進	権利擁護や虐待防止の取り組み	災害時の支援体制の整備	余暇活動や趣味の講座などの充実	ボランティア活動の充実	ユニバーサルデザイン	バリアフリー、ユニバーサルデザイン	その他	無回答
全体 (n=2308)	33.8	13.1	15.0	9.7	5.3	18.5	18.4	40.8	2.9	13.6	17.8	4.5	14.6	7.2	3.2	9.7	2.0	8.2	
18～39歳 (n=393)	34.4	21.4	16.3	8.4	8.1	10.2	10.2	40.5	7.9	27.5	29.0	5.3	13.7	9.4	2.8	4.3	4.1	3.3	
40～64歳 (n=772)	35.6	12.7	14.5	10.4	6.7	14.4	18.4	46.8	2.6	16.7	21.4	6.1	15.0	6.5	2.3	12.0	1.2	4.4	
65歳以上 (n=1123)	32.8	10.5	15.0	9.6	3.5	24.4	21.1	36.7	1.5	6.5	11.6	3.0	14.7	7.1	4.0	10.1	1.8	12.3	

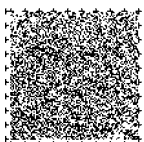


(7) 区の障がい者施策について (18 以上 問 45/18 歳未満 問 46)

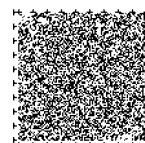
問 区の障がい者施策について、ご意見などがございましたらご自由にご記入ください。

<18 歳以上>

主な意見		件数 (総数 544 件)
サービス		139
	入所施設の充実、負担の減少	40
	サービスの充実 (時間や期間の延長、家事の支援、移動支援、重度障がいや精神障がい向け支援等)	37
	個々の障がいに合わせた支援	13
	自立した暮らしを送るための支援	10
	高齢者への支援	8
	衣食住を含めた、安心して暮らせる場の確保	7
	交流の場の設定	6
	自宅で過ごすための支援	5
	余暇活動の充実	4
	家族への支援や交流会	4
	就労者への支援	3
	サービスレベルの質の確保	2
インフラ・設備・交通		26
	道路、公園の整備	12
	駅やトイレ、建物、バスのバリアフリー化	6
	駐輪場、駐車場の増加	4
	案内板や看板の改善、音響付信号機の設置	4
医療・健康		8
	医療の質の向上/訪問医療の充実	4
	医療内容、薬代の見直し	2
	病院からの情報提供の充実	1
	リハビリ期間の延長	1
情報・相談		43
	情報提供の充実	31
	相談しやすい環境の整備	7
	相談の 24 時間対応、休日対応	3
	法律、施策の周知	2
行政の制度		11
	制度の充実、整備	5
	障害者のためのわかりやすい施策を	4
	プライバシー管理の徹底	2
行政の対応		19
	職員の対応の改善	10
	職員の知識、スキルの向上	4
	親切で柔軟な対応をしてほしい	3
	視覚障がい者への連絡、表示の工夫	2

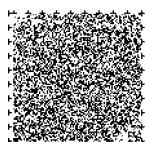


行政の手続き		19
	事務手続きの簡略化	11
	手続き場所を便利な場所に／手続きの土日対応	5
	手続き期間の延伸	2
	書類作成の費用が高い	1
経済的支援・経済的事情		60
	経済的支援の充実	23
	交通費の補助・割引	15
	医療費の負担の軽減	7
	税金、保険料等の免除	5
	補助具購入の経済的援助	3
	手当の充実、要件の見直し	2
	年金の充実、増額	2
	スポーツ施設の無料化	2
	給料が安い	1
将来の不安		17
	親なき後のサービスの整備	15
	仕事の不安	2
障がいへの理解等		34
	理解の促進、教育	26
	配慮や援助が必要	3
	バリアフリーの推進	2
	人としてのあり方が大切	1
	障がい者の車両を示すものがほしい	1
	差別ではなく、区別が必要	1
就労		16
	就労支援	8
	就労条件・環境の改善	4
	障がいにあった職場、仕事の提供	3
	職場の理解	1
防災		6
	防災体制の整備	4
	災害時が不安	2
生活について		3
	地域活動をしたい	2
	家族と同居をしたい	1
アンケートについて		23
	内容や量について	17
	表記について	4
	実施時期や対象者について	2
支援者について		12
	スキル等の向上	10
	待遇の改善	2
その他		108



<18歳未満>

主な意見		件数 (総数 293 件)
療育・教育		94
	療育施設の増加、整備	15
	幼稚園、保育園の受け入れ体制の整備	15
	特別支援学級の増設、充実	13
	先生、教師の質の向上	8
	就学後の療育の充実	7
	学校での支援の充実	6
	グレーゾーンの子供の教育、支援の充実	6
	療育体制、療育プログラムの充実	6
	普通学級への入学	3
	学習支援の充実	3
	高等学校の充実	3
	早期療育の充実	2
	健常児と学べる環境	2
	近くに通える学校がない(視覚障がい、軽度障がい)	2
	親子療育が必要	1
	就学前相談の充実	1
	学校と教育委員会の情報の共有	1
サービス		85
	サービスの充実、整備	15
	卒業後の居場所、余暇活動の充実	15
	スポーツや余暇活動の場の充実	12
	障がい種別による支援の不平等の解消	9
	入所施設、ショートステイの増加、充実	9
	親亡き後のサービスの整備	4
	サービスの利用基準、所得制限の見直し	4
	医療的ケア児の預け先、居場所	4
	個々の障がいに合わせた支援	3
	移動支援の充実	2
	健常児との交流の場が不足	2
	地域で暮らせる環境	2
	自助努力できる支援	1
	重度障がい児向けサービスの充実	1
	プライバシーの保護	1
	発達障がいの講演会、訓練等の実施	1
インフラ・設備・交通		11
	歩道、公共機関、公共交通のバリアフリー	4
	就労先までの送迎支援	3
	屋内の遊び場がほしい	2
	福祉施設までのアクセスの改善	1
	駐輪場の整備	1



医療・健康		4
	発達障がいの検査、医療の充実	3
	出産時の受け入れ体制の整備	1
情報・相談		23
	情報提供の充実	20
	相談体制の充実／相談しやすい環境づくり	3
障がいへの理解等		22
	理解の促進、教育	19
	健常者との交流の場が必要	1
	偏見のない環境づくり	1
	必要な支援の周知	1
行政の制度		13
	共生社会、支え合う社会づくり／交流を促す施策	7
	制度の充実、整備	2
	制度の周知	1
	民間事業者の活用	1
	民間サービスの利用を促進する施策	1
	障害安心できる政策を望む	1
行政の対応		7
	職員の対応の改善	5
	職員の知識、スキルの向上	2
行政の手続き		6
	事務手続きの簡略化	4
	手続きの土日対応	1
	各機関の情報の共有	1
経済的支援		3
	交通費の補助・割引	1
	医療費の負担の軽減	1
	手当の支給方法の見直し	1
就労		3
	就労場所の増加、充実	3
防災		1
	災害時が不安	1
アンケートについて		6
	内容が難しい	4
	封筒の表記について	1
	対象者について	1
支援者について		5
	事業者、職印の質の向上	2
	人材育成	2
	待遇の改善	1
その他		10

